

アーキトレンドをはじめてお使いになる方へ



＼後で困らないための初めの 1 歩／

ARCHITREND ZERO 設定ガイド

～設定の根拠～ 自社仕様に合わせる極意！

本マニュアルは、ARCHITREND ZERO Ver.9 で制作しています。
お使いのプログラムと一部画面と操作が異なる場合があります。

本書をご覧いただくにあたって

【本書の解説内容について】

本書では、物件データを入力していく上で、建物仕様、図面仕様など押さえておくよい初期設定のポイントをご紹介します。これらのポイントを押さえて、物件マスタ、専用初期設定マスタを自社仕様用に構築することで、設定変更の手間を省くことができます。

●本書で解説する図面

平面図、立面図、平面詳細図、矩計図、図面印刷（図枠）

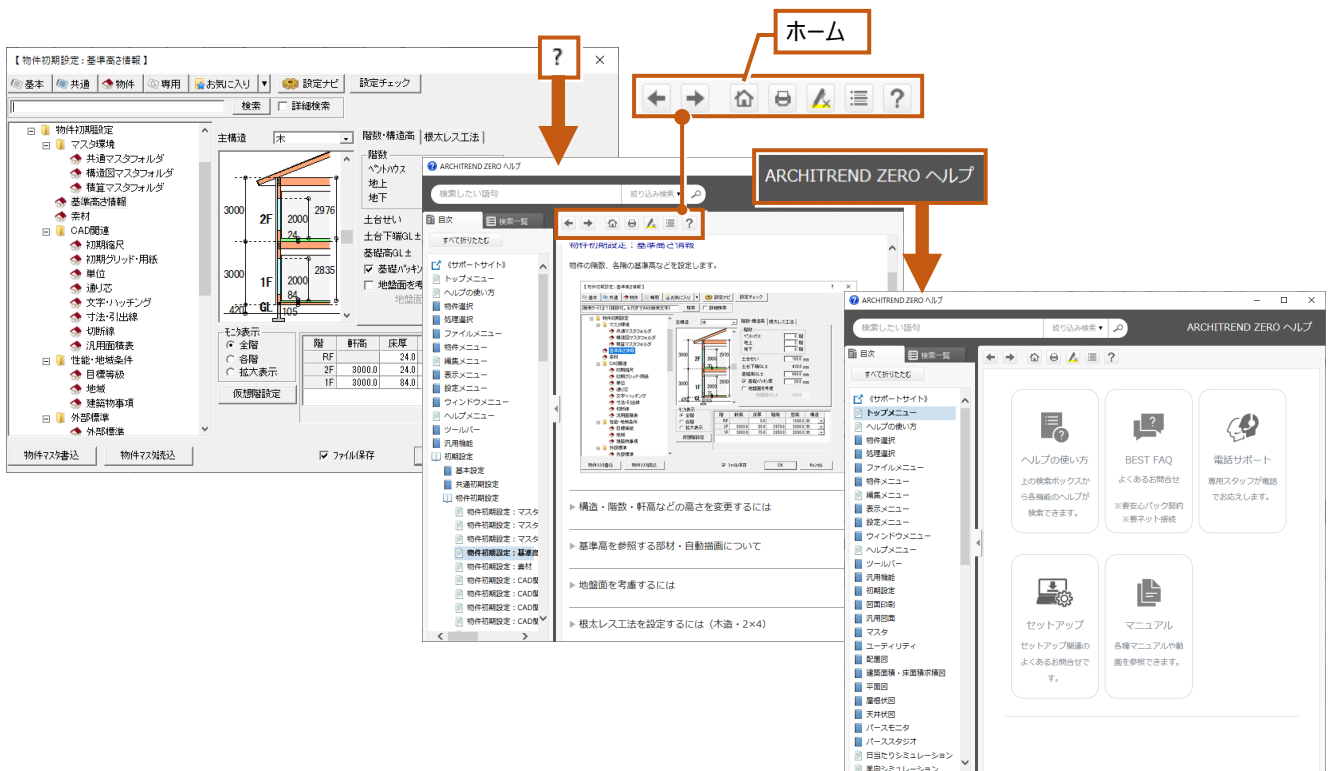
※ 平面図などのデータの入力方法や他図面の設定については、お客様サポートページの各操作ガイドをご覧ください。関連するマニュアルは本書内でもリンク先を掲載していますのでご参照ください。

<https://archi.fukuicompu.co.jp/user/products/architrendzero/manual.html>

※ 本書以外にも様々な設定がありますが、そちらについては ARCHITREND ZERO のヘルプをご参照ください。

●ヘルプの開き方

表示中のダイアログ右上の「？」をクリックする、またはコマンドにカーソルを合わせてキーボードの F1 キーを押すことで、そのコマンドに関連するヘルプを確認することができます。また、「ARCHITREND ZERO ヘルプ」または「ホーム」をクリックしてヘルプのトップ画面を開くと、その他の各種サポートコンテンツもご利用いただけます。



建物概要と解説一覧

本書では、物件データを入力していく上で、建物仕様、図面仕様など押さえておくよい初期設定のポイントをご紹介します。これらのポイントを押さえて、物件マスタ、専用初期設定マスタを自社仕様用に構築していくことで、設定変更の手間を省くことができます。

建物のサンプルプランを使って、1章で建物概要の設定、2章で内外装の仕上登録、3章でメーカー建材・設備（3Dカタログマスタ）の使用登録について解説します。該当する解説ページをご参照ください。

1-2 建物構造 P.6
 構造：木造
 階数：2階建
 モジュール：910mm

1-4 建物性能 P.7
 長期優良住宅

1-3 施主情報 P.7
 氏名：福井花子
 建設場所：福井県坂井市丸岡町磯部

1-7 物件マスタの登録 P.10
 プランの設定を初期値に登録

●引き出し項目

章 No	項目名と掲載ページ
	各項目の詳細

1-5 軒高 P.8
 2階：3000mm
 1階：3000mm

1-5 窓高 P.8
 窓高：FL+2000mm

1-5 床厚 P.8
 2階：30mm
 1階：75mm

1-5 基礎 P.8
 基礎高：GL+400mm
 基礎パッキン厚：20mm

1-6 柱サイズ P.9
 管柱：105mm
 通し柱：120mm
 隅柱：120mm

1-5 土台 P.8
 土台せい：105mm

1-5 根太 P.8
 根太せい：60mm

1-6 束 P.9
 束タイプ：鋼製束

2-1~2-4
 外装仕上の登録 P.16~P.21

2-1、2-5
 内装仕上の登録 P.16、P.24~P.26

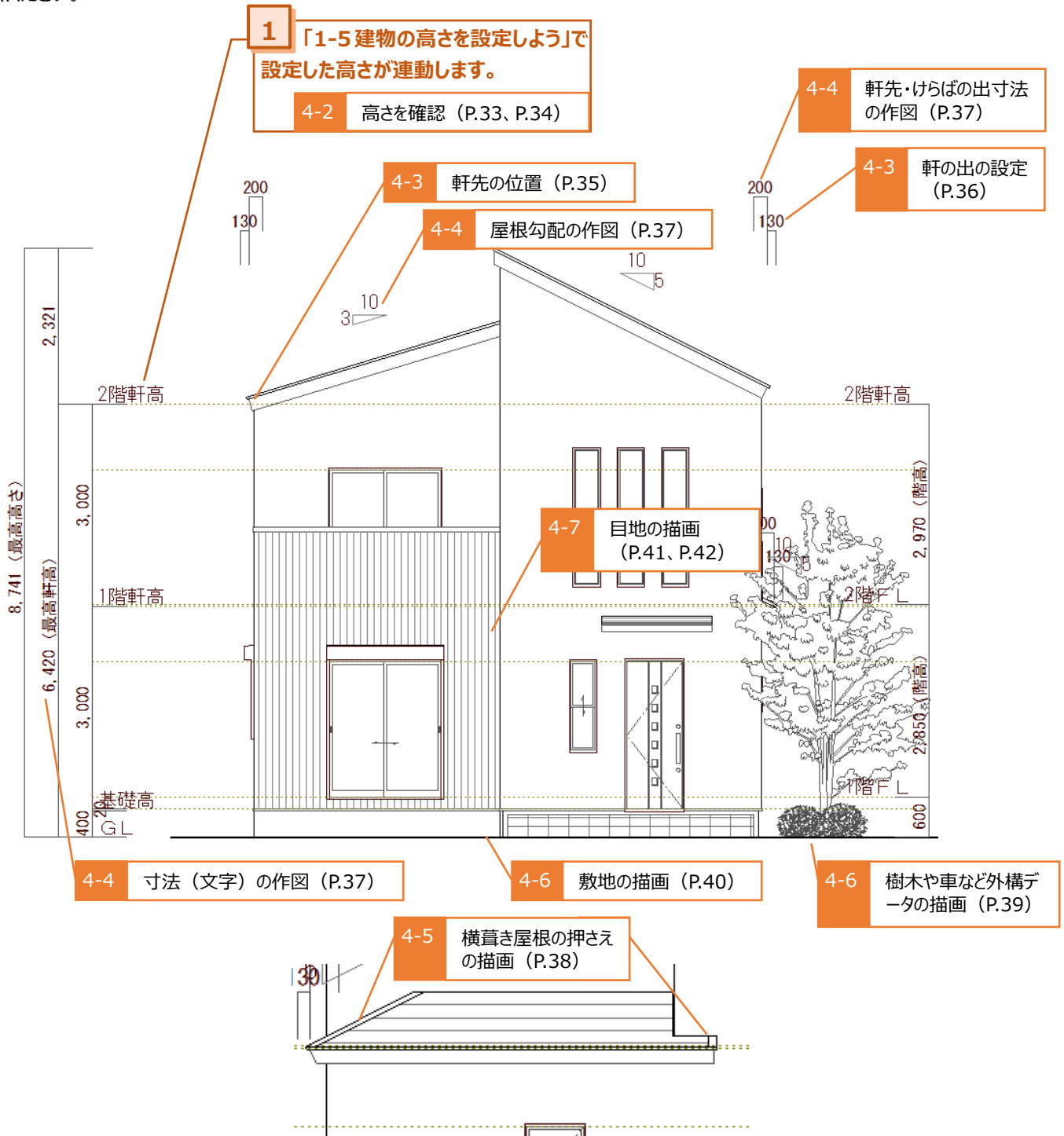
3-1、3-2
 メーカー建材・設備 P.28~P.30

※ 本書では平面図などのデータの入力方法は解説していません。操作解説についてはお客様サポートページの各操作ガイドをご覧ください。

※ 本書以外の設定については ARCHITREND ZERO のヘルプをご参照ください。

立面図 サンプル

立面図のサンプルを使って「自動作成」で作図されるデータの設定や連動元などについて解説します。該当する解説ページをご参照ください。

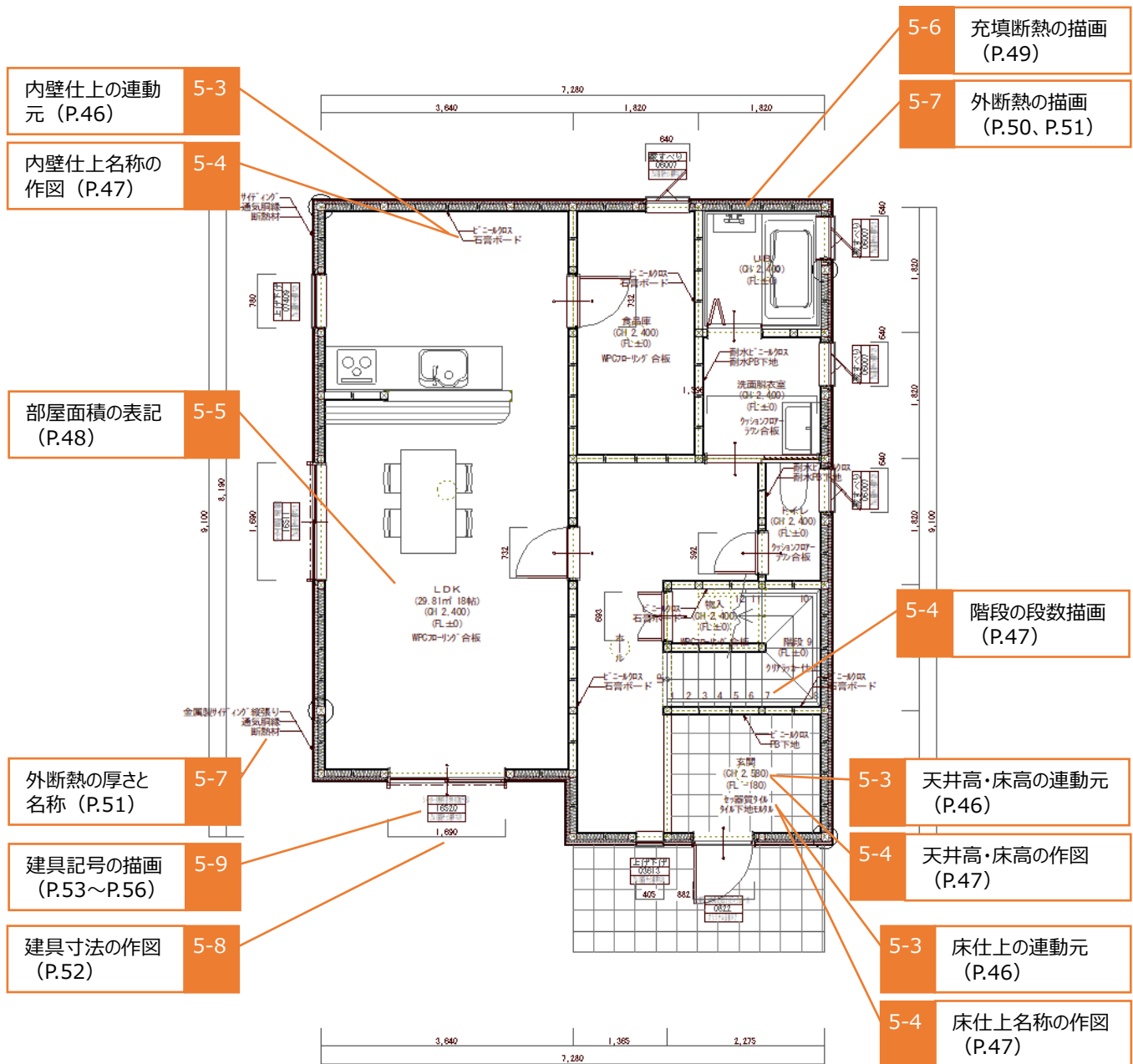


立面図専用初期設定・物件初期設定を変更した場合

- 設定を変更した場合は、立面図を再作成する必要があります。
 - 設定を変更してその内容を自社用マスタとして登録する場合は、「自社用マスタの登録方法を確認しましょう」をご参照ください。
- ⇒ P.43、P.44 参照

平面詳細図 サンプル

平面詳細図のサンプルを使って「自動作成」で作図されるデータの設定や連動元などについて解説します。該当の解説ページをご参照ください。

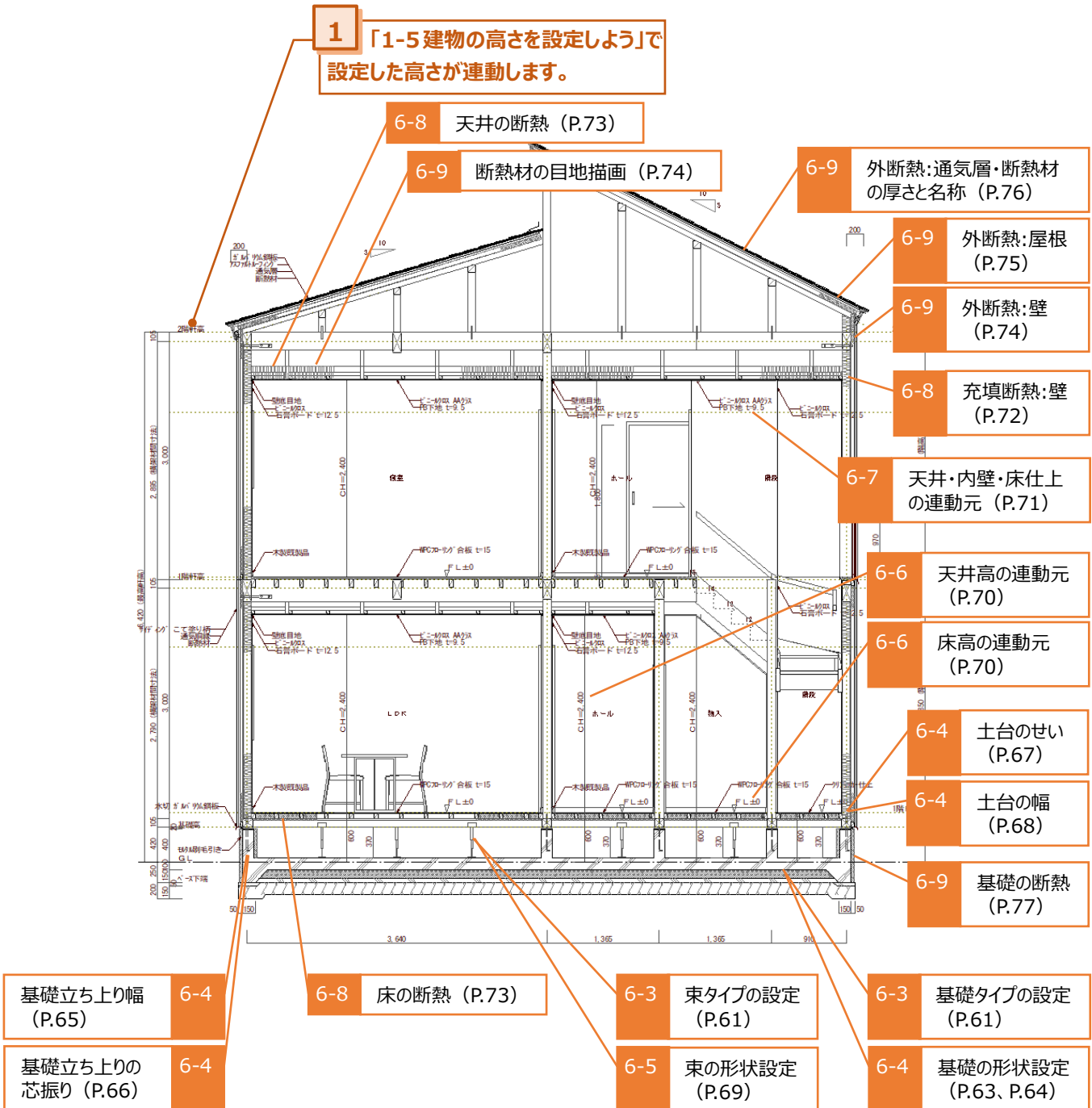


平面詳細図専用初期設定・物件初期設定を変更した場合

- 設定を変更した場合は、平面詳細図を再作成する必要があります。
 - 設定を変更してその内容を自社用マスタとして登録する場合は、「自社用マスタの登録方法を確認しましょう」をご参照ください。
- ⇒ P.43、P.44 参照

矩計図 サンプル

矩計図のサンプルを使って「自動作成」で作図されるデータの設定や連動元などについて解説します。該当の解説ページをご参照ください。



矩計図専用初期設定・物件初期設定を変更した場合

- 設定を変更した場合は、矩計図を再作成する必要があります。
 - 設定を変更してその内容を自社用マスタとして登録する場合は、「自社用マスタの登録方法を確認しましょう」をご参照ください。
- ⇒ P.43、P.44 参照

図枠 サンプル

図面印刷時の図枠の編集と登録、各図面項目の連動について解説します。

7-1 図枠作成モードに切り替える (P.79)

7-2 図枠の用紙サイズを設定しよう (P.80)

7-4 自社用の図枠を保存しよう (P.87、P.88)



1階 平面図 S:1/100



2階 平面図 S:1/100

7-3 物件名の連動元を確認する (P.86)

7-3 ・会社情報の項目を設定する (P.84)
・会社情報を登録する (P.85)

7-3 担当者を設定する (P.81、P.82)

7-3 日付を設定する (P.82~P.84)

7-3 図面名の連動を確認する (P.86)

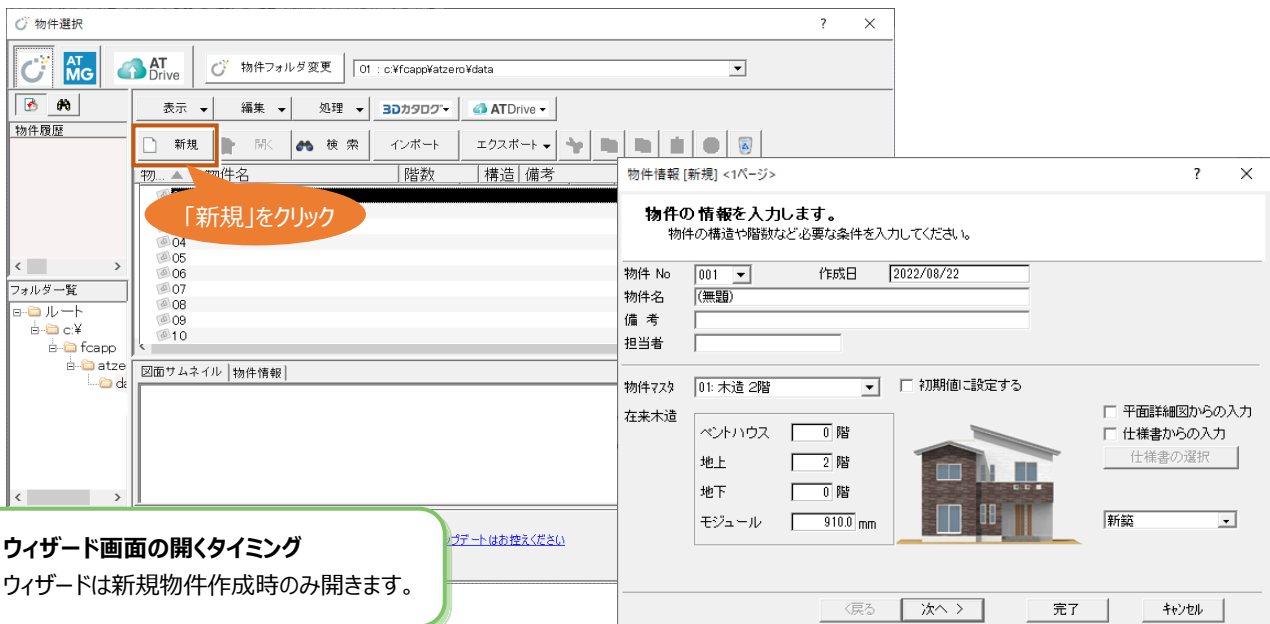
工事名 福井様邸新築工事	フクイホーム一級建築士事務所	管理者	設計者	担当者 丸岡太郎	図面名 1階 平面図, 2階 平面図	図面No. 1
備考 福井県坂井市丸岡町磯部	福井県福井市〇〇1-1-1 TEL 0776-00-0000 FAX 0776-00-1111	日付	日付	日付 2022/08/20	縮尺 1/100	

1

建物概要の設定

1-1 ウィザードでプランを簡単に設定しよう

ウィザードは表示された画面に沿って進めていくだけで、簡単にプランの情報を設定できる機能です。ARCHITREND ZERO 起動後の物件選択画面で「新規」をクリックするとウィザードが開きます。



ウィザード画面の開くタイミング
ウィザードは新規物件作成時のみ開きます。

1-2 物件名、担当者、建物構造を設定しよう

物件名、担当者、物件マスタ、階数、モジュールを設定します。

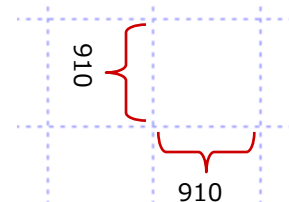
ARCHITREND Manager で「お客様の登録」を作成済みの場合は、物件名、階数が連動するため、ここでの入力是不要です。



地下 10 階、地上 100 階、ペントハウス 10 階
まで設定できます。

モジュールの値について

尺モジュール (910mm) やメートルモジュール (1000mm) など、柱や通り芯の基本となる寸法の間隔を設定します。設定したモジュールによって、図面を入力する際のグリッド (方眼のマス目) の間隔が設定されます。



【モジュール：910mmの場合】

1-3 施主情報と建築物事項を設定しよう

住所や氏名など施主に関する情報と建設地の設定をします。

物件情報 [新規] <2ページ>

物件の情報を入力します。
施主情報及び、その他の建築物事項を入力してください。

建築地の場所や工事種別、施主の情報を入力します。

地名地番 福井県坂井市丸岡町磯部
 工事場所/住居表示 福井県坂井市丸岡町磯部
 工事種別 新築
 施主氏名 福井花子
 氏名フリガナ フカイハコ
 住所 福井県坂井市高木
 電話番号 0776-12-3456

地域区分設定

都市計画区域の内外の別等
 都市計画区域内
 市街化区域
 市街化調整区域
 区域区分非設定

防火地域 指定なし

敷地面積 0.00 m²
 用途地域 第1種低層住居専用地域

建築可能建築率 60.00
 建築可能容積率 100.00
 建て方 一戸建ての住宅
 積雪の地域 一般地域
 積雪量 1.00 m
 屋根重さ 重い屋根
 地震地域係数 1.0
 地域基準風速 30 m/s

目標等級確認 <現在選択中の等級> 性能表示

敷地面積は配置図入力後に、自動で取得できるため、こちらで入力する必要はありません。

工事場所から地域区分を設定する ? ×

以下の地域区分を割り当てますか？
 省エネ地域 : 5 地域
 年間日射地域 : A3区分
 暖房期日射地域 : H2区分
 パッシブ地域 : い(旧)地域

※異なる地域区分が割り当たる場合があります。
 各地域区分は各市区町村研究開発法人、建築研究所の資料を確認してください。

はい いいえ

設定した「工事場所/住居表示」から地域区分を自動取得できます。

工事場所/住居表示・地域区分設定 ? ×

工事場所/住居表示 福井県坂井市丸岡町磯部

工事場所/住居表示から地域を設定する

地域区分
 省エネ地域 5 地域
 年間日射地域 A3区分
 暖房期日射地域 H2区分
 パッシブ地域 い(旧)地域

・物件情報 - [工事場所/住居表示]
 ・物件初期設定 - [性能・地域条件(地域)] が変更されます。

OK キャンセル

建築物事項が影響する図面について

設定する条件により、他図面への連動や各種計算結果や判定に影響します。
 ⇒ ヘルプ「物件初期設定：性能・地域条件－建築物事項」の「建築物事項を変更するには」参照

地域区分が影響する図面について

外皮性能計算、省エネナビ、パッシブデザインで使用する係数や基準値に影響します。

1-4 目標等級を設定しよう

「目標等級確認」をクリックして等級の設定を行います。「性能表示」は物件マスタに登録されている目標等級が設定されます。「フラット 35S」と「長期優良住宅」は、クリックで必要な等級に設定されます。「お気に入り」は自社用の等級パターンに登録して設定することができます。

目標等級確認 <現在選択中の等級> 長期優良

性能表示 フラット35S **長期優良** お気に入り

「次へ」をクリック

「長期優良」を選択

目標等級が未定の場合

目標等級が未定の場合は、設定せず進めても問題ありません。後から、設定を変更することができます。⇒ P.11～P.13 参照

目標等級が影響する図面について

設定する条件により、平面図の性能表示チェック、木造壁量計算、2×4 壁量計算、外皮性能計算に影響します。
 ⇒ ヘルプ「物件初期設定：性能・地域条件－目標等級」の「目標等級を変更するには」参照

目標等級設定 ? ×

<現在選択中の等級> 長期優良

1. 構造の安定
 長期 耐震等級 3等級
 耐風等級 1等級
 耐積雪等級 1等級

2. 火災時の安全
 感知警報装置設置等級 1等級
 耐火等級(開口部) 1等級
 耐火等級(開口部以外) 1等級

3. 劣化の軽減
 長期 構造躯体劣化対策等級 3等級

4. 維持管理への配慮
 長期 維持管理対策等級 3等級

5. 音環境
 透過損失等級
 北 1等級 東 1等級
 南 1等級 西 1等級

6. 高齢者等への配慮
 高齢者等配慮対策等級 3等級
 階段勾配 22/21

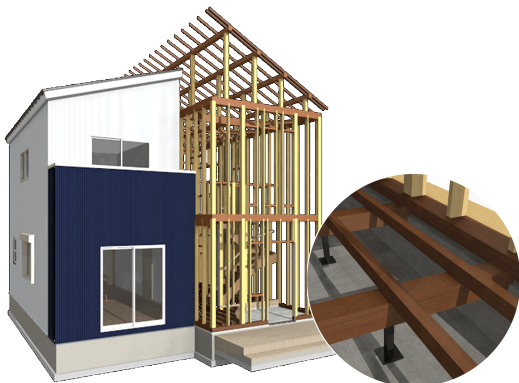
性能ナビマスタ
 1木造一戸建て住宅(2階建て)

【長期優良必要面積・高さ】
 合計床面積 75.00 m² 以上
 一の階の床面積 40.00 m² 以上
 床下空間有効高 380.00 mm 以上

OK キャンセル

1-5 建物の高さを設定しよう

軒高、窓高、2階以上の床厚、1階の床厚、基礎の高さを設定します。



【軒高】
2階：3000mm
1階：3000mm

【窓の取付高】
窓高：FL+2000mm

【土台】
土台せい：105mm

【基礎】
基礎高：GL+400mm
基礎パッキン厚：20mm

【床厚】
2階：30mm
1階：75mm（根太せい60mm含む）

物件情報 [新規] <3ページ> ? X

物件の情報を入力します。
図面入力の基本情報を入力してください。

階数 1階建 2階建 3階建

軒高の高さについて
2階軒高は「下階胴差上端～軒桁上端」、
1階軒高は「土台下端～胴差上端」の高さを設定します。

窓の高さについて
窓高は窓を取り付ける基準位置の高さです。
「FL～窓上端」の高さを設定します。窓高を「2000mm」と設定した場合、FL+2000mmが建具の上端となります。

基礎高さについて
「GL～布基礎上端」の高さを設定します。
基礎パッキンを設定すると、断面図と矩計図において土台と立ち上がりの間にパッキンが描画されます。

床厚の厚さについて
2階の床厚は「下階胴差上端～床仕上天端」、
1階の床厚は「土台上端～床仕上天端」の厚さを設定します。

軒桁上端
R階窓高 1000.0 mm
床厚 30.0 mm
2階FL
窓高 2000.0 mm
床厚 30.0 mm
1階FL
窓高 2000.0 mm
床厚 75.0 mm
土台上端
土台下端 420.0 mm
基礎高さ
基礎パッキン
土台せい

2階以上床厚
床天～梁天
根太レス工法
梁天～床天 30.0 mm
床厚 30.0 mm

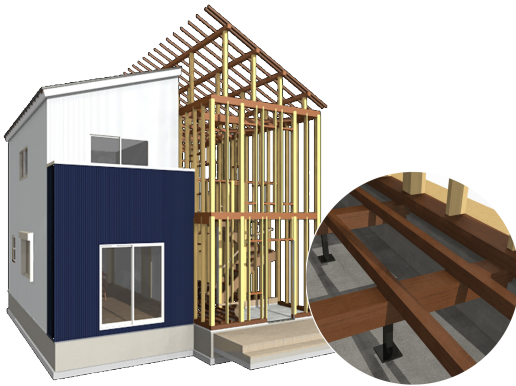
1階床厚・基礎高さ
根太レス工法
土台天～床天 75.0 mm
床厚 75.0 mm
土台せい 105.0 mm
基礎パッキン 20.0 mm
基礎高さ 400.0 mm
土台下端 420.0 mm

物件マスター書込 <戻る> 次へ > 完了 キャンセル

高さ情報の設定について
建物高さの設定については、ヘルプに図解が掲載されています。
⇒ ヘルプ「物件初期設定：基準高さ情報」の「構造・階数・軒高などの高さを変更するには」参照

1-6 柱のサイズ、基礎と束のタイプを決めよう

柱サイズ、基礎タイプ、束タイプを設定します。



【柱サイズ】
管柱：105mm 通し柱：120mm 隅柱：120mm

【基礎】
基礎タイプ：べた基礎

【束】
束タイプ：鋼製束

断面図および矩計図の基礎表現
選択した基礎タイプは断面図および矩計図で描画されます。

●断面図の場合（鋼製束）

【べた基礎・スラブオングレード】

【布基礎】

物件情報 [新規] <4ページ>

物件の情報を入力します。
図面入力の基本情報を入力してください。

ウザード 1 ページ目 (P.6) で設定した「モジュール」の値が連動します。

在来木造の壁は管柱の柱サイズと同じ厚さで配置されます。

【基本モジュール】 910.0 mm

【柱サイズ】 管柱 105.0 mm 通し柱 120.0 mm 隅柱 120.0 mm

【基礎タイプ】

べた基礎・スラブオングレード (選択済み) 布基礎

【束タイプ】

木製束 プラ束 鋼製束 (選択済み)

物件マスター書込 <戻る 次へ> 完了 キャンセル

断面図および矩計図の束表現
選択した束タイプは断面図および矩計図で描画されます。

●断面図の場合（べた基礎）

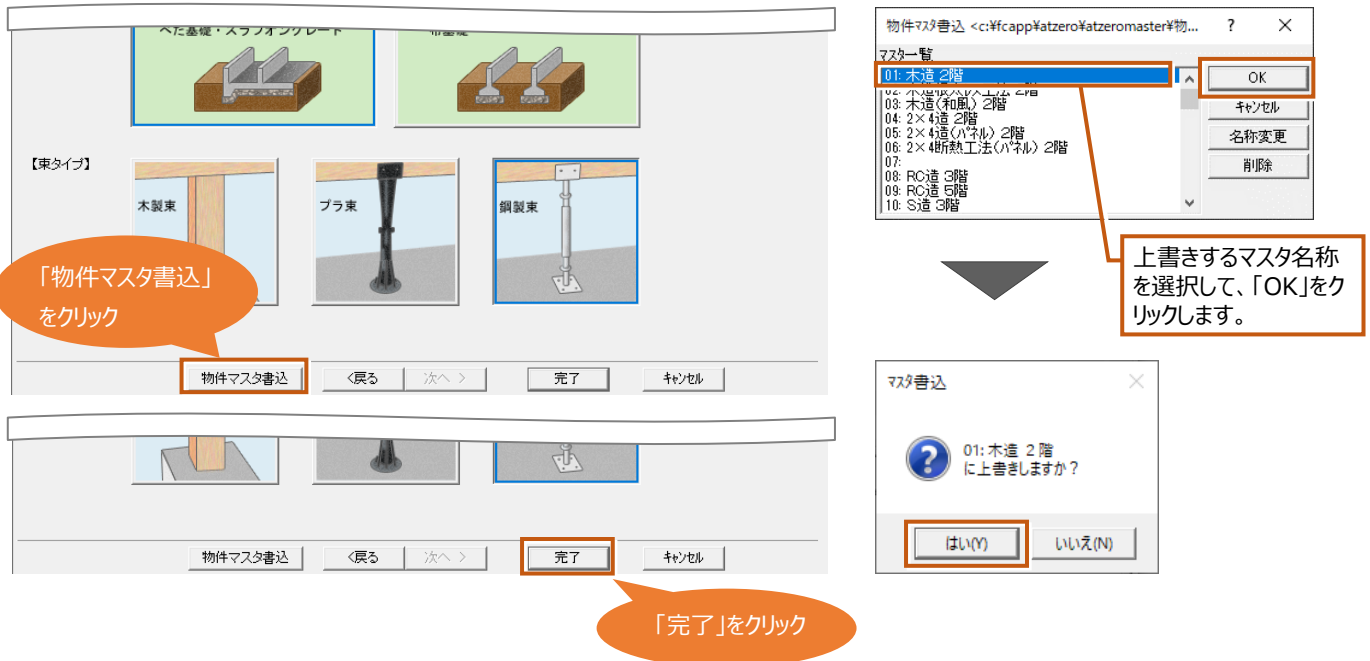
【木製束】

【プラ束】

【鋼製束】

1-7 プランの設定を初期値に登録しよう

よく使用するプランの設定は、「物件マスタ」に登録することで新規物件を作成する際の初期値として使用することができます。



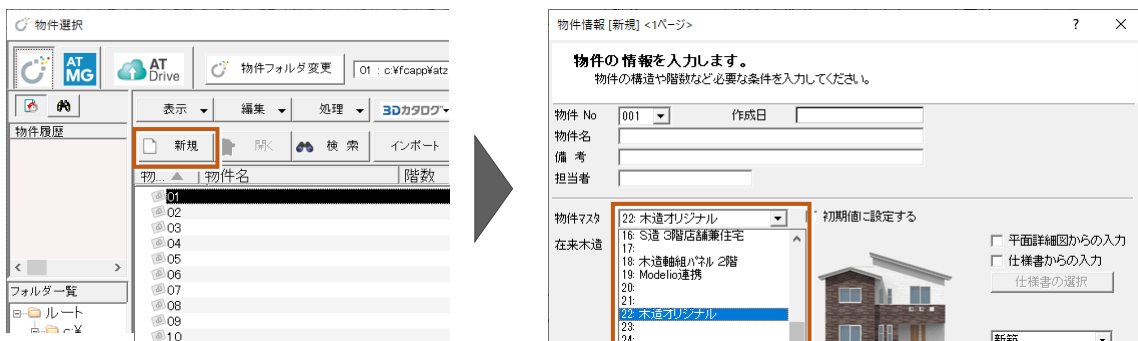
物件マスタの新規保存について

物件マスタ書込で空欄を選択した場合、新規マスタとして保存することができます。




登録した物件マスタを使用するには

新規物件作成のウィザード画面「物件情報 [新規]」ダイアログで登録した物件マスタを選択します。



補足

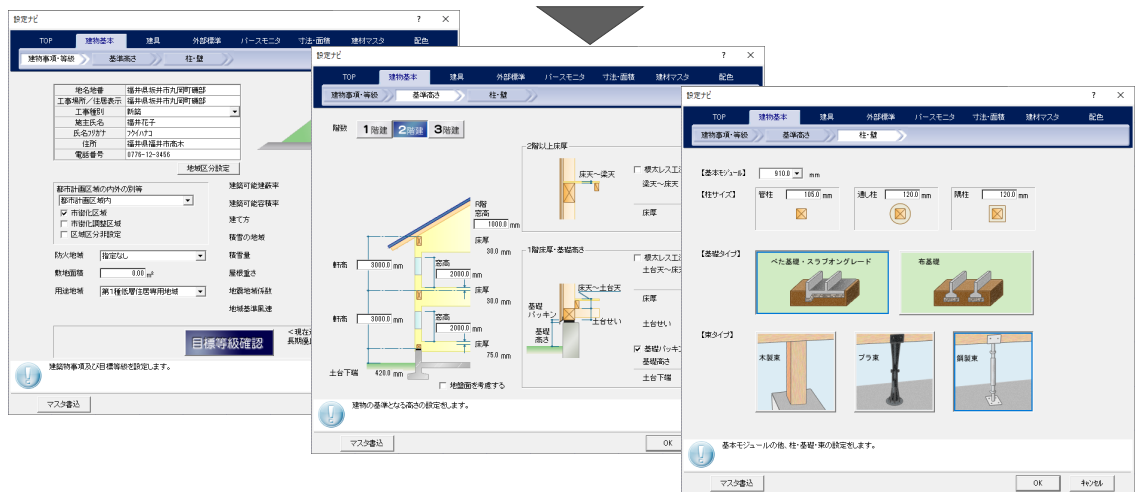
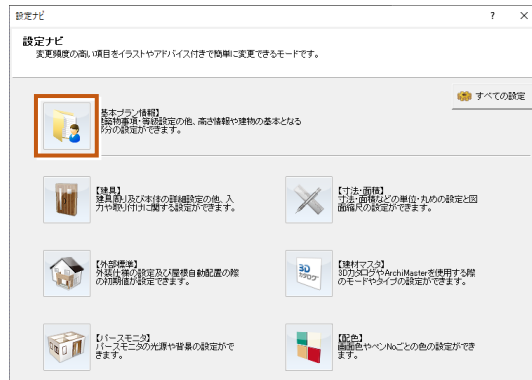
設定の確認や変更したい場合

ウィザードの設定内容は変更することができます。ウィザードの項目以外の設定もあり、これらを正しく設定しておくことにより、効率よく操作し、図面作成時の作業の手間を軽減できます。設定方法は「設定ナビ」と「すべての設定」の2種類あります。どちらもARCHITREND ZERO 起動後の  「設定」から開きます（一部の設定は「物件」メニューの「物件情報」から変更します）。

設定ナビ

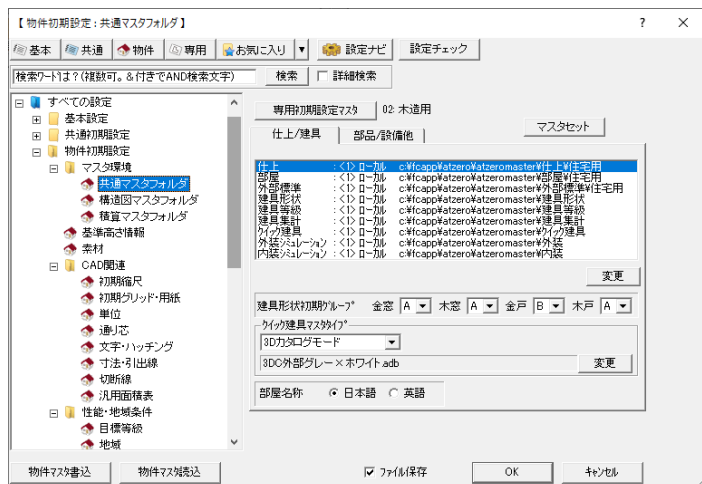
設定ナビは使用頻度が高い設定を集め、イラストとアドバイスを確認して設定できます。

「設定」の「設定ナビ」をクリックします。「基本プラン情報」を選択すると、ウィザードと同じ内容を確認、編集することができます。

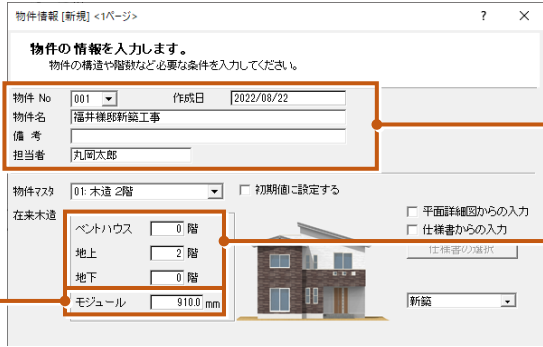


すべての設定

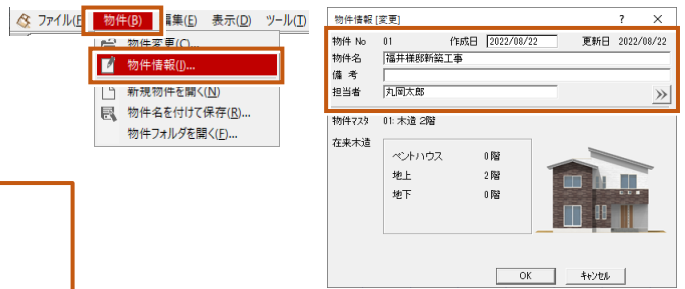
「設定ナビ」にはすべての設定は表示されません。設定ナビにない項目は「すべての設定」で設定します。



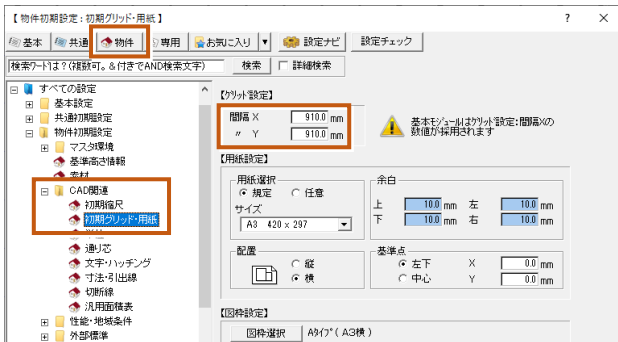
ウィザード：1 ページ目



「物件」メニューの「物件情報」



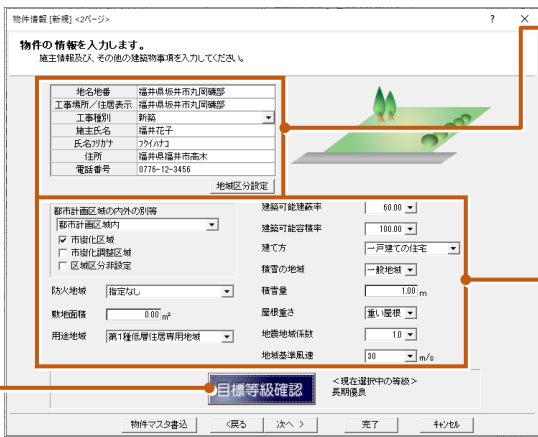
「物件初期設定」の「CAD 関連-初期グリッド・用紙」



「物件初期設定」の「基準高さ情報」



ウィザード：2 ページ目



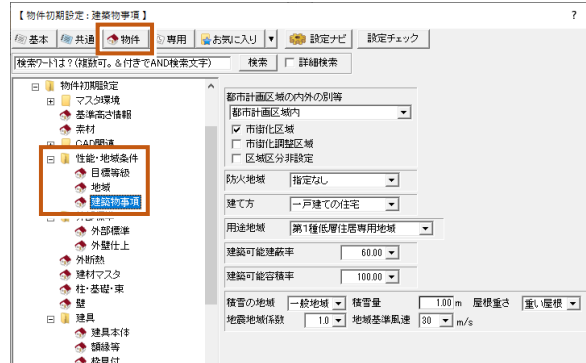
「物件」メニューの「物件情報」の拡張メニュー



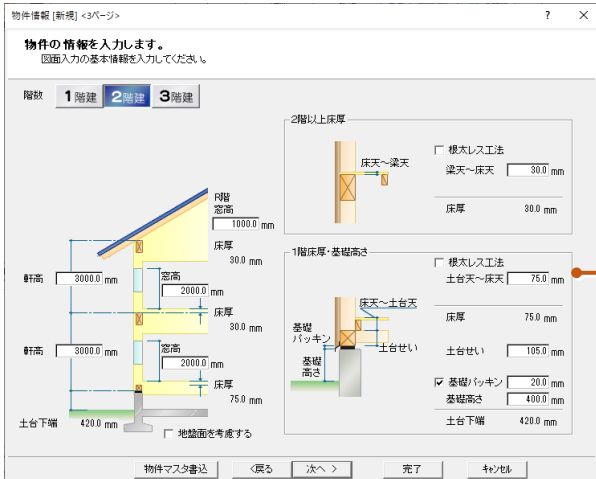
「物件初期設定」の「性能・地域条件-目標等級、地域」



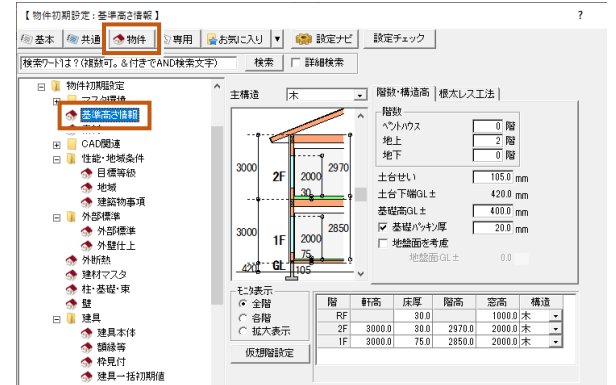
「物件初期設定」の「性能・地域条件-建築物事項」



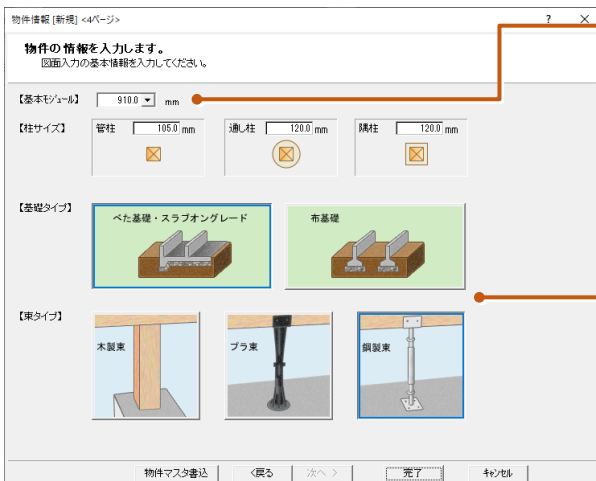
ウィザード : 3 ページ目



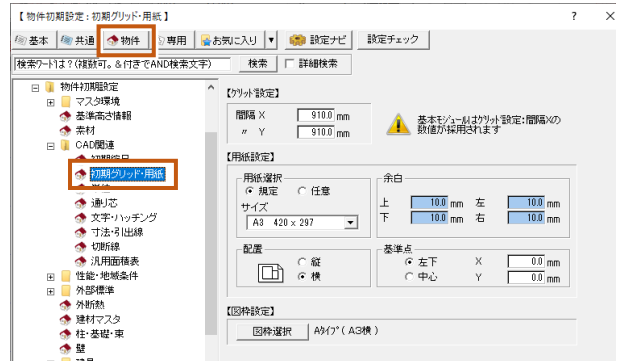
「物件初期設定」の「基準高さ情報」



ウィザード : 4 ページ目



「物件初期設定」の「CAD 関連-初期グリッド・用紙」



「物件初期設定」の「柱・基礎・束」



設定画面からも「物件マスタ書込」ができます。
⇒ P.10 参照

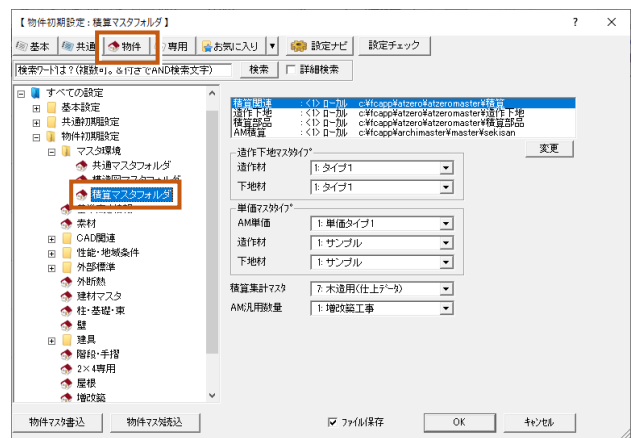
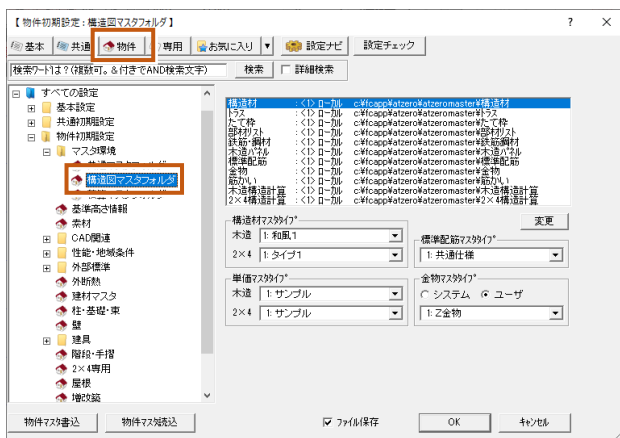
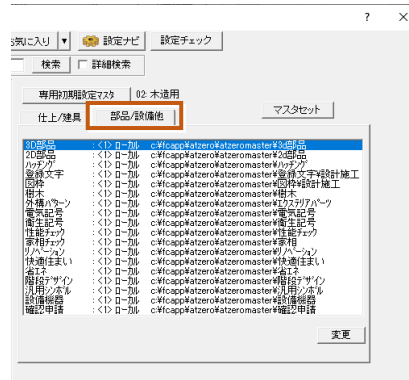
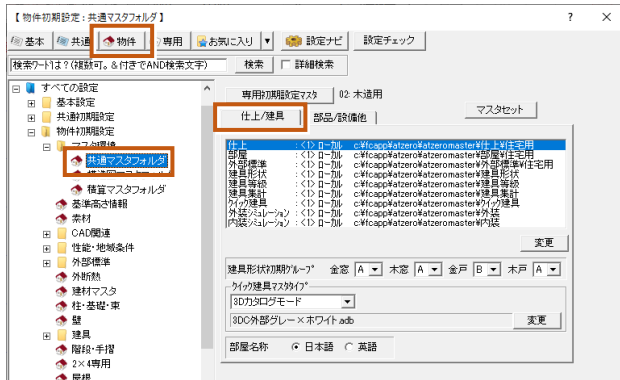
ZERO の仕組みについてもチェック！

👍 木造初級編 1-2 ZERO の特徴 P.2~P.6

<https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/ZERO/Ver9/guide/uss/m-syokyu.html>

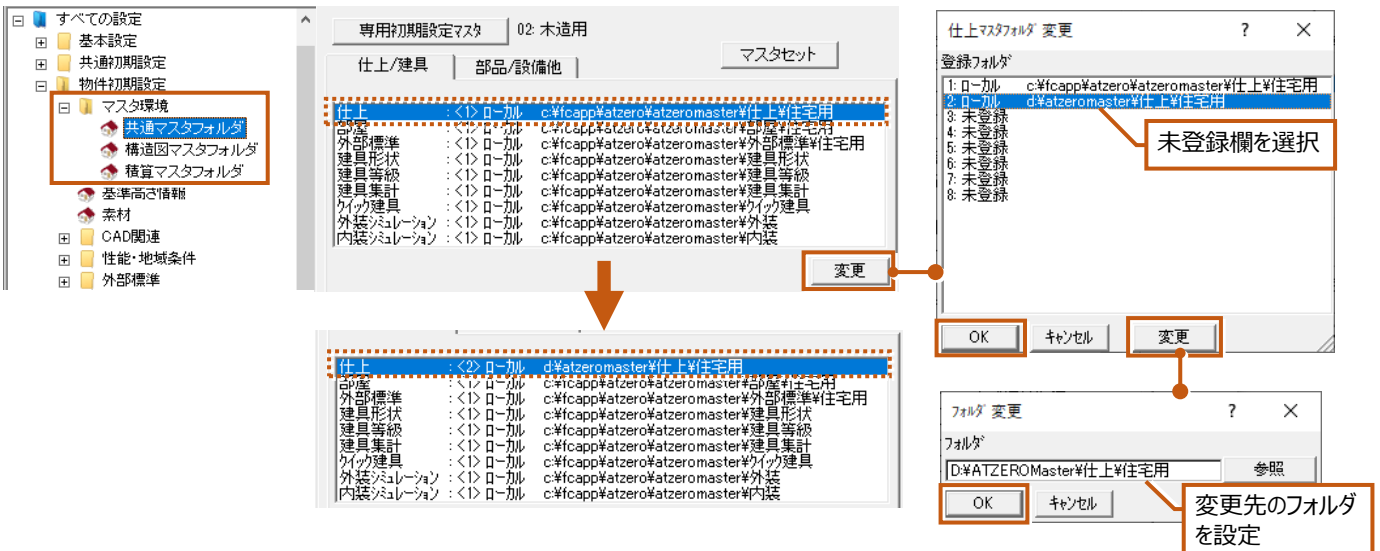
設定の保存先（マスタフォルダ）について

設定が保存されているフォルダを「マスタフォルダ」といいます。初期状態ではインストール時に設定されているフォルダが保存先となります。マスタフォルダは「物件初期設定」の「マスタ環境-共通マスタフォルダ、構造図マスタフォルダ、積算マスタフォルダ」で確認・変更できます。



設定の保存先（マスタフォルダ）を変更する場合

マスタフォルダを変更する場合は、「物件初期設定」の「マスタ環境-共通マスタフォルダ、構造図マスタフォルダ、積算マスタフォルダ」の「変更」から参照先を変更します。



マスタのバックアップについて

ハードディスクの故障や誤操作によるファイルの削除など、予期せぬファイル破損に備え、マスタは定期的にバックアップしましょう。
⇒ https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/log/uss/a_01ze/ze_01i_02_010.html P.12~P.13 参照

根太レス工法の場合の設定について

根太レス工法の場合は、ウィザード画面で「**根太レス工法**」を ON にして、「**床仕上+下地**」、「**構造用合板**」の厚さを設定します。ウィザード画面で設定した根太レスの設定は、「**物件初期設定**」の「**基準高さ情報**」にある「**根太レス工法**」で確認・変更できます。「**床仕上マスタ**」にて設定した床厚になるように、仕上の厚さを設定します。

● ウィザード画面 ●

物件の情報を入力します。
図面入力の基本情報を入力してください。

階数 **1階建** 2階建 3階建

「**根太レス工法**」ON

「**床仕上+下地**」の厚さと「**構造用合板**」の厚さを設定します。これらの合計の厚さが「**床厚**」となります。

● **物件初期設定** ●

共通マスタフォルダ
構造図マスタフォルダ
積算マスタフォルダ
● **基準高さ情報** ●
CAD関連
初期縮尺
初期グリッド・用紙
単位
通り芯
文字・ハッチング
寸法・引出線
切断線
汎用面積表
性能・地域条件
地域
建築物事項

主構造 木

階数・構造高 **根太レス工法**

根太レス工法
 2階以上・地下階
 構造用合板 28.0 mm
 1階
 構造用合板 28.0 mm

階	軒高	床厚	階高	窓高	構造
RF		40.0		1000.0	木
2F	3030.0	40.0	2990.0	2000.0	木
1F	3150.0	40.0	3045.0	2000.0	木

● 床仕上マスタ ●

チェック No. 008 識別名 無垢フローリング

床

ウィザードで設定した「**床仕上+下地**」の厚さを、「**床仕上マスタ**」で設定します。

タイプ 一般

仕上厚 12.0 mm 名称 無垢材 摘要 t=12
 下地厚 12.0 mm 名称 床下地合板 摘要

根太
 材質 木製 せい 60.0 mm ピッチ 303.3 mm
 幅 45.0 mm モジュール寸法 1.00 / 3.00

大引
 材質 木製 せい 105.0 mm ピッチ 910.0 mm
 幅 105.0 mm モジュール寸法 1.00 / 1.00

積算名称取込
OK キャンセル 上書 空気環境 積算情報

床仕上マスタの「根太」について

床仕上マスタの「根太」の ON・OFF に関わらず、「物件初期設定：基準高さ情報」で「根太レス工法」が ON の場合、根太は配置されません。「根太レス工法」が OFF の場合にのみ、床仕上マスタの「根太」の設定で根太が配置されます。

仕上げマスタについて

仕上げマスタについては別ページで解説しています。
⇒ P.16~P.27 参照

2

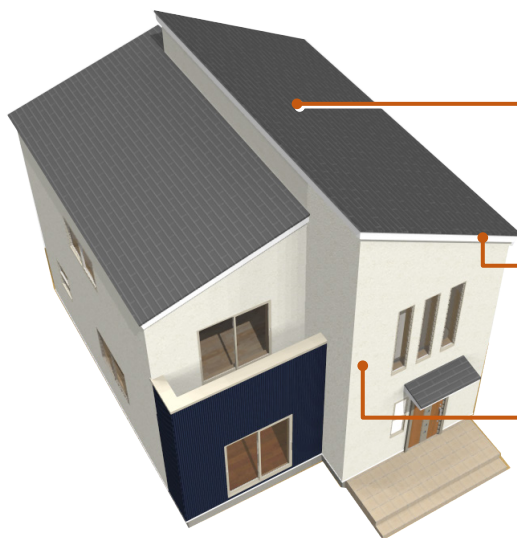
自社用の内外装仕上を登録しよう

思い通りの内装仕上、外装仕上にするためには「仕上マスタ」の作成が必要です。マスタの登録方法を覚えて、自社用のマスタを作成しましょう。

2-1 仕上マスタとは

外部標準マスタ

外装仕上には「屋根仕上」、「外部天井仕上」、「外壁仕上」の3つの仕上マスタがあります。それぞれで使用する仕上材や厚さなどを設定します。そして、3つを組み合わせ「外部標準仕様マスタ」を作成します。



●外部標準マスタ

【屋根仕上マスタ】



仕上名称：ガルバリウム鋼板
素材：ガルバリウム鋼板横葺 灰

【外部天井仕上マスタ】



仕上名称：軒天井ボード
素材：ケイカル板 ホワイト

【外壁仕上マスタ】



仕上名称：サイディング
素材：こて塗り柄 ホワイト

部屋マスタ

内装仕上には「内壁仕上」、「床仕上」、「内部天井仕上」の3つの仕上マスタがあります。それぞれで使用する仕上材や厚さなどを設定します。そして、3つを組み合わせ「部屋マスタ」を作成します。



●部屋マスタ

【内部天井仕上マスタ】



仕上名称：クロス 木製
素材：キャンバス ベージュ

【内壁仕上マスタ】



仕上名称：ビニールクロス A
素材：キャンバス ベージュ

【床仕上マスタ】



仕上名称：無垢フローリング
素材：無垢フローリング カリン

仕上マスタの開き方

「仕上マスタ」では内外装の仕上の素材や厚さなどを登録します。あらかじめ自社でよく使用する仕上をマスタに登録しておくことで、ARCHITREND ZERO で自動作成を行ったとき、自動で登録した仕上マスタが割り当たり効率的に作業が行えます。

「建材マスタ起動」メニューの「共通マスタ起動」をクリック

「内外装・部屋」をクリック

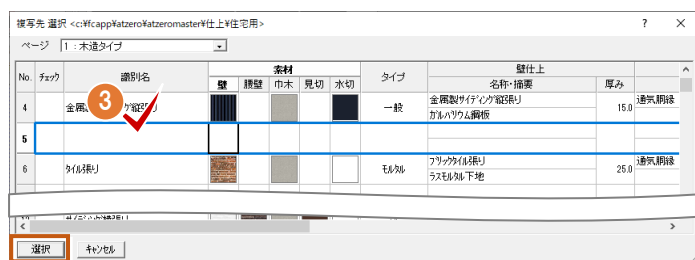
【外部標準仕様】
屋根、外部天井、外壁仕上を登録し、3つを組み合わせると外部標準マスタを作成します。

【部屋】
内部天井、内壁、床仕上を登録し、3つを組み合わせると部屋マスタを作成します。

仕上マスタを編集する前に

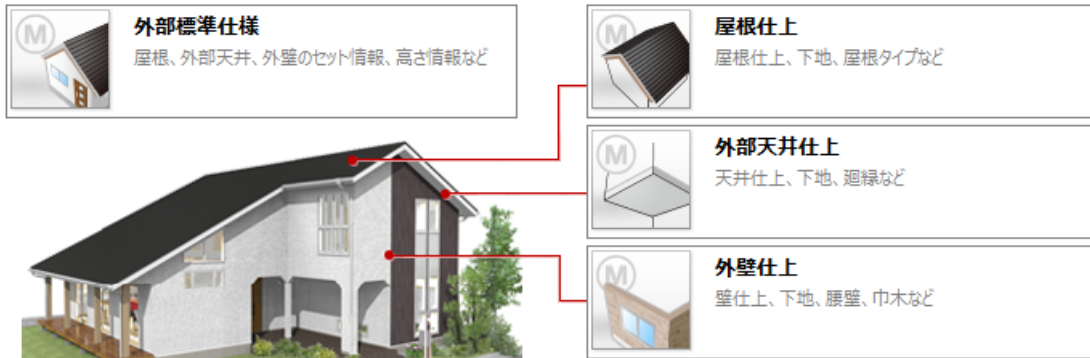
ここでは、既存の仕上マスタを編集しています。仕上マスタを上書き保存した場合は、元に戻すことはできないためご注意ください。既存の仕上マスタを残しておく場合は、仕上マスタを複製して編集してください。

- 複製する仕上マスタを選択します。
- 「複製」メニューから「複製」を選びます。
- 空欄を指定し、「選択」をクリックします。



2-2 外装仕上を登録しよう

下記のマニュアルを参考に次のサンプルの仕上仕様または自社の仕上仕様を登録してみましょう。



仕上マスタの登録方法はこちらでチェック！

- 👍 自社マスタ作成編 2.外部標準マスタを自社用に編集する P.11~P.15
- 👍 自社マスタ作成編 5.マスタ設定 P.36~P.47

http://www.fukuicompu.co.jp/mnl/ZERO/Ver9/guide/manual/81_master.html

外壁仕上

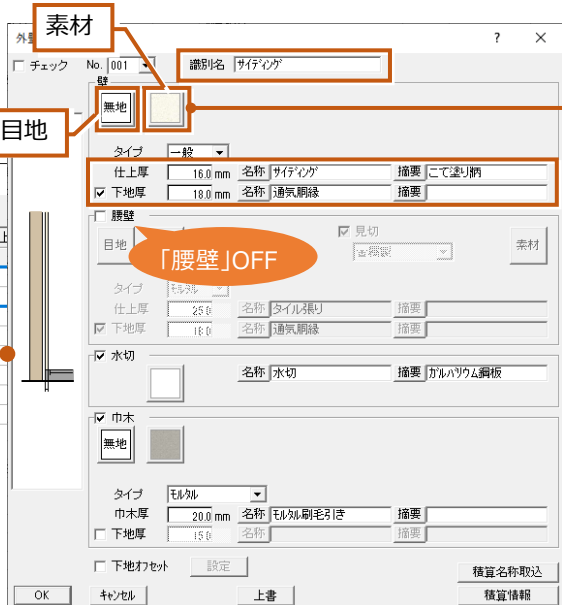
外壁仕上のマスタ No.1 の仕様を編集します。



外壁仕上マスタ選択 <c:\fapp\atzero\atzeromaster\仕上\住宅用>

ページ 1: 木造タイプ

No.	チェック	識別名	壁	腰壁	巾木	見切	水切	タイプ	壁仕上 名称・摘要
1	<input checked="" type="checkbox"/>	サイディング						一般	サイディング こて塗り柄
2	<input type="checkbox"/>	サイディング縦張り						一般	サイディング縦張り 塗装済み
3	<input type="checkbox"/>	金属製サイディング縦張り						一般	金属製サイディング縦張り ガルバリウム鋼板
4	<input type="checkbox"/>	金属製サイディング縦張り						一般	金属製サイディング縦張り ガルバリウム鋼板



[識別名] サイディング

[目地] 無地

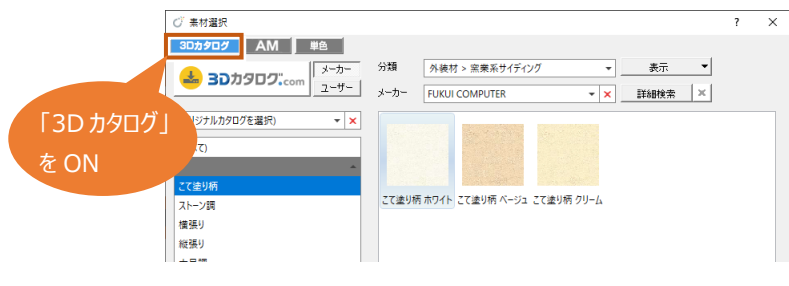
[素材] こて塗り柄 ホワイト

[仕上厚] 16.0mm、名称：サイディング、摘要：こて塗り柄

[下地厚] 18.0mm、名称：通気胴縁

[腰壁] OFF

「素材」ボタンをクリックすると「素材選択」ダイアログが開きます。内外装材や屋根材などの素材を自由に設定できます。👉 [3Dカタログ.com](http://3dcatalog.com) からメーカーの実建材データをダウンロードして使用することもできます。⇒ P.28~P.31 参照



屋根仕上

屋根仕上のマスタ No.3 の仕様を編集します。



屋根仕上マスタ選択 <c:\fcapp\atzero\atzeromaster\仕上\住宅用>

ページ 1: 木造タイプ

No.	チェック	識別名	素材 屋根	屋根タイプ	仕上 名称・摘要	厚み
1	<input type="checkbox"/>	加工アルミ		加工アルミ	加工アルミ	20.0
2	<input type="checkbox"/>					
3	<input checked="" type="checkbox"/>	ガルバリウム鋼板		加工アルミ	ガルバリウム鋼板	20.0

屋根マスタ

チェック No. 003 識別名 [ガルバリウム鋼板]

屋根

タイプ 加工アルミ

仕上厚 20.0 mm 名称 [ガルバリウム鋼板] 摘要

下地厚 20.0 mm 名称 [アスファルトルーフィング] 摘要

OK キャンセル 上書 積算名称取込 積算情報

- [識別名] ガルバリウム鋼板
- [素材] ガルバリウム鋼板横葺 灰
- [仕上厚] 20.0mm、名称：ガルバリウム鋼板
- [下地厚] 20.0mm、名称：アスファルトルーフィング

外部天井仕上

外部天井仕上のマスタ No.1 の仕様を編集します。



外部天井仕上マスタ選択 <c:\fcapp\atzero\atzeromaster\仕上\住宅用>

ページ 1: 木造タイプ

No.	チェック	識別名	素材 天井 廻縁	タイプ	仕上 名称・摘要	厚み
1	<input checked="" type="checkbox"/>	軒天井ボード		木天地下	EP塗装	
2	<input type="checkbox"/>	軒天井ルーフィング		木天地下	防水ルーフィング	
3	<input type="checkbox"/>					
4	<input type="checkbox"/>	サイディング		木天地下	サイディング横張り 塗装済み	
5	<input type="checkbox"/>	リソウ吹付		木天地下	アクリルリソウ吹付	

外部天井マスタ

チェック No. 001 識別名 [軒天井ボード]

天井

タイプ 木天地下

仕上厚 0.0 mm 名称 [EP塗装] 摘要

下地厚 20.0 mm 名称 [防火軒天井ボード] 摘要 [有孔ボード]

板厚ピッチ 150.0 吊材ピッチ 910.0 mm 野縁ピッチ 455.0 mm

モジュール寸法 1.00 / 6.00 モジュール寸法 1.00 / 1.00 モジュール寸法 1.00 / 2.00

廻縁

タイプ 木製1重 名称 [伏図表現用] 摘要

上段 せい 30.0 mm 幅 30.0 mm 出 25.0 mm

下段 せい 30.0 mm 幅 30.0 mm 出 25.0 mm

OK キャンセル 上書 空気環境 積算情報

- [識別名] 軒天井ボード
- [素材] ケイカル板 ホワイト
- [下地厚] 20.0mm、名称：防火軒天井ボード、摘要：有孔ボード
- [廻縁] ON、名称：伏図表現用

外部標準仕様

外部標準仕様のマスタ No.14 の仕様を編集します。作成した、屋根仕上、外部天井仕上、外壁仕上を割り当てます。



外部標準マスタでは、仕上の他に軒先、勾配、垂木、鼻隠、破風といった屋根の形状や構造に関わる内容が設定ができます。

外部標準マスタ選択 <c:\fcapp\zzero\zzeromaster\外部標準\住宅用>

ページ 1: 木造タイプ

No.	チェック	識別名	外壁(1階)				外壁(1階以外)				アクセント壁	軒
			壁	腰壁	巾木	見切	水切	壁	腰壁	見切		
14	<input checked="" type="checkbox"/>	木造ガルバリウム_サイディング	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
15	<input type="checkbox"/>	横葺_サイディング横	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16	<input type="checkbox"/>	瓦葺葺_サイディング横	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18	<input type="checkbox"/>	ガルバリウム_サイディング横	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

外部標準マスタ

チェック No. 014

識別名 木造ガルバリウム_サイディング

仕上 3. ガルバリウム鋼板

軒先形状 直角 軒先厚 180.0 mm

軒天形状 勾配 勾配 5.00/10

構造 木 構造高 0.0 mm

垂木せい 60.0 mm

垂木幅 45.0 mm 垂木ピッチ 455.0 mm

鼻隠/破風 種別 木製 鼻隠 1段 破風 1段

破風優先 破風優先

軒天 1. 軒天井ボード

外壁(1階以外) 1. サイディング

腰壁高 0.0 見切高 25.0

水切高 0.0 mm

外壁(1階) 1. サイディング

腰壁高 0.0 見切高 25.0

水切高 30.0 mm 巾木高 ***

巾木高が別添設定基準高さを参照

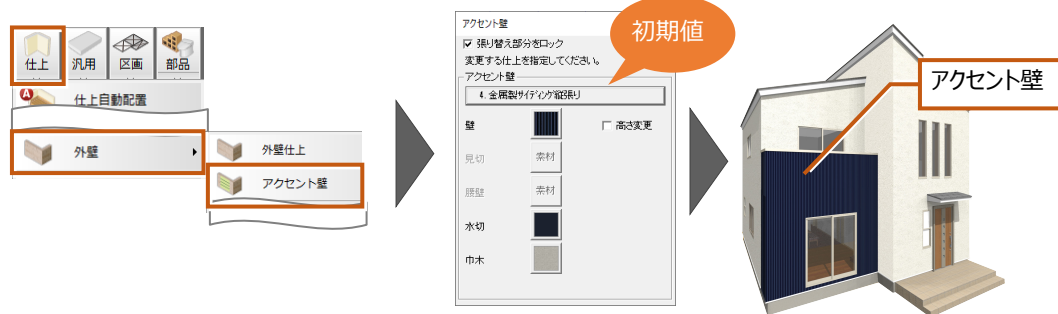
アクセント壁 4. 金属製サイディング縦張り

OK キャンセル 上書 備考設定 複製情報

- [識別名] 木造ガルバリウム_サイディング
- [屋根] 軒先厚 : 180mm、勾配 : 5/10
- [屋根仕上] 3.ガルバリウム鋼板
- [軒天井仕上] 1.軒天井ボード
- [外壁 (1階以外)、(1階)] 1.サイディング
- [アクセント壁] 4.金属製サイディング縦張り

アクセント壁について

平面図の「仕上」メニューの「外壁-アクセント壁」で外壁仕上を部分的に貼り分けることができます。外壁仕上マスタにアクセント壁を設定しておくことで、貼り分け時の初期値になります。



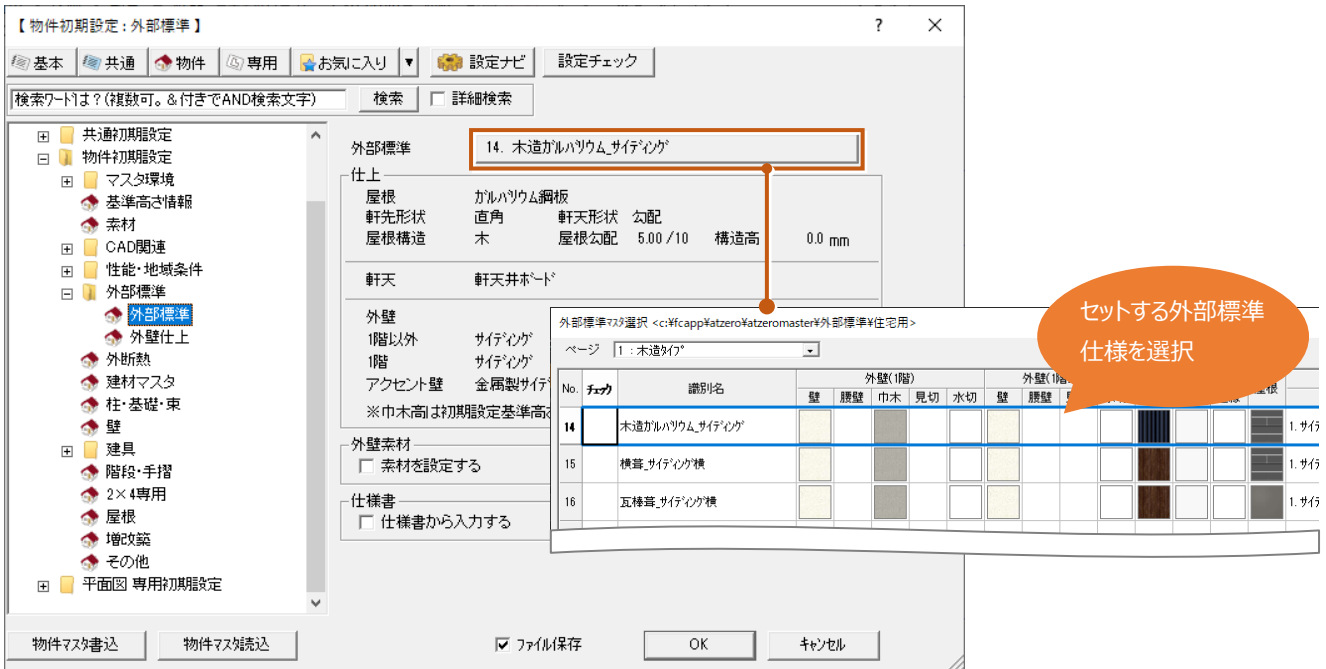
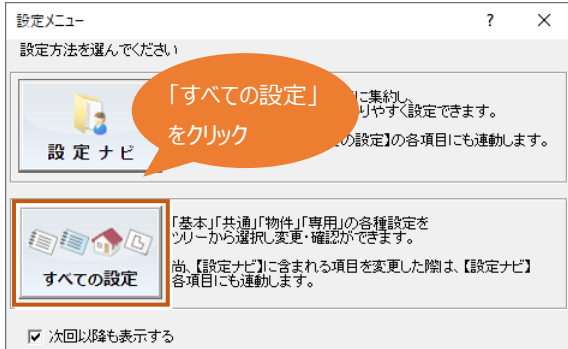
仕上の張り替え操作についてはヘルプをご覧ください。

⇒ ヘルプ「平面図:外壁仕上/アクセント壁/仕上張り替え」の「アクセント壁を入力する」参照

⇒ ヘルプ「立面図:アクセント壁」の「アクセント壁を入力する」参照

2-3 登録した外装仕上を活用しよう

外部標準仕様は「物件初期設定」の「外部標準」で設定します。ここで設定した仕様は、外壁、屋根、外部天井の自動作成および個別入力の初期値となり、効率的に作業が行えます。



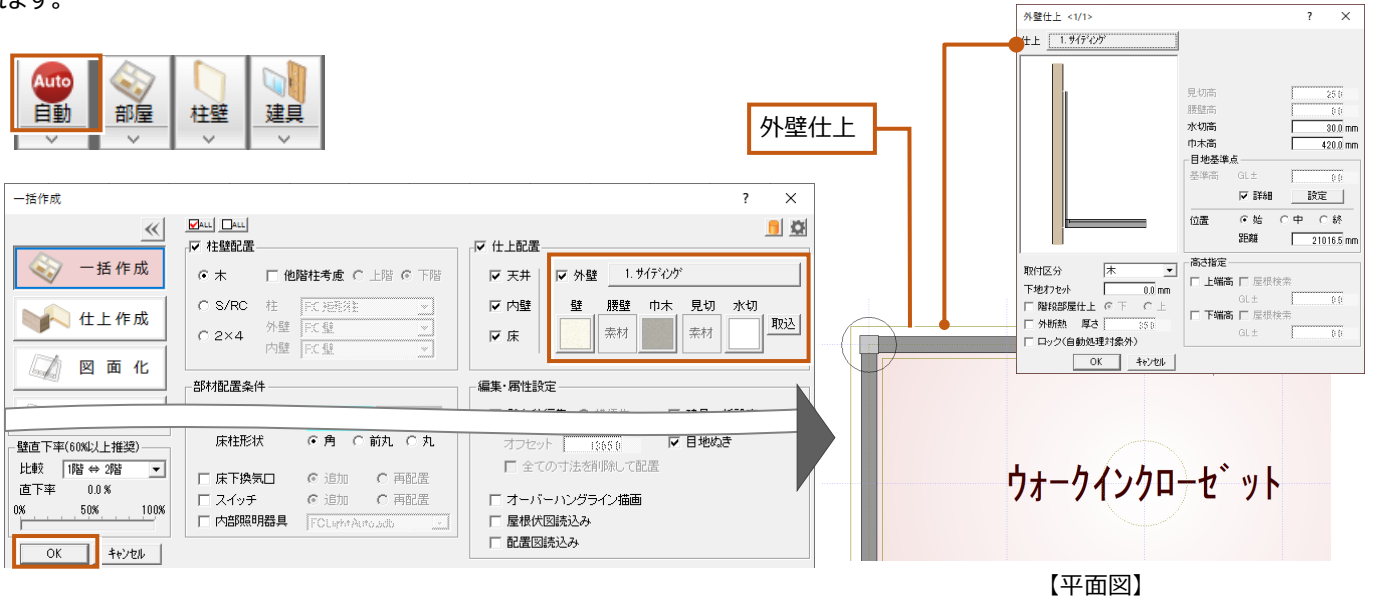
補足

外部標準マスタで設定した仕上の自動作成について

各仕上を自動作成した際に、外部標準仕様が初期値として設定されます。

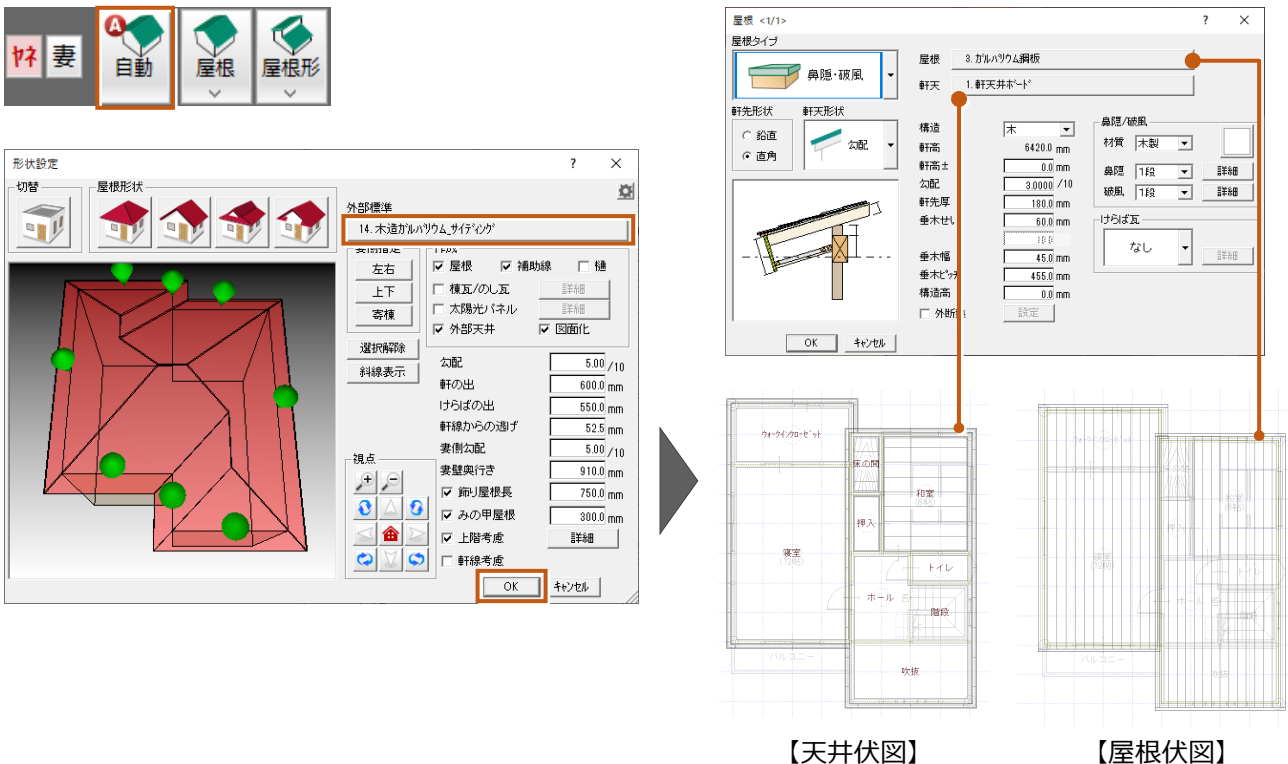
外壁仕上

平面図の「一括作成」または「仕上作成」の「仕上配置」に、外部標準マスタで設定した外壁仕上が初期値に設定され自動作成されます。



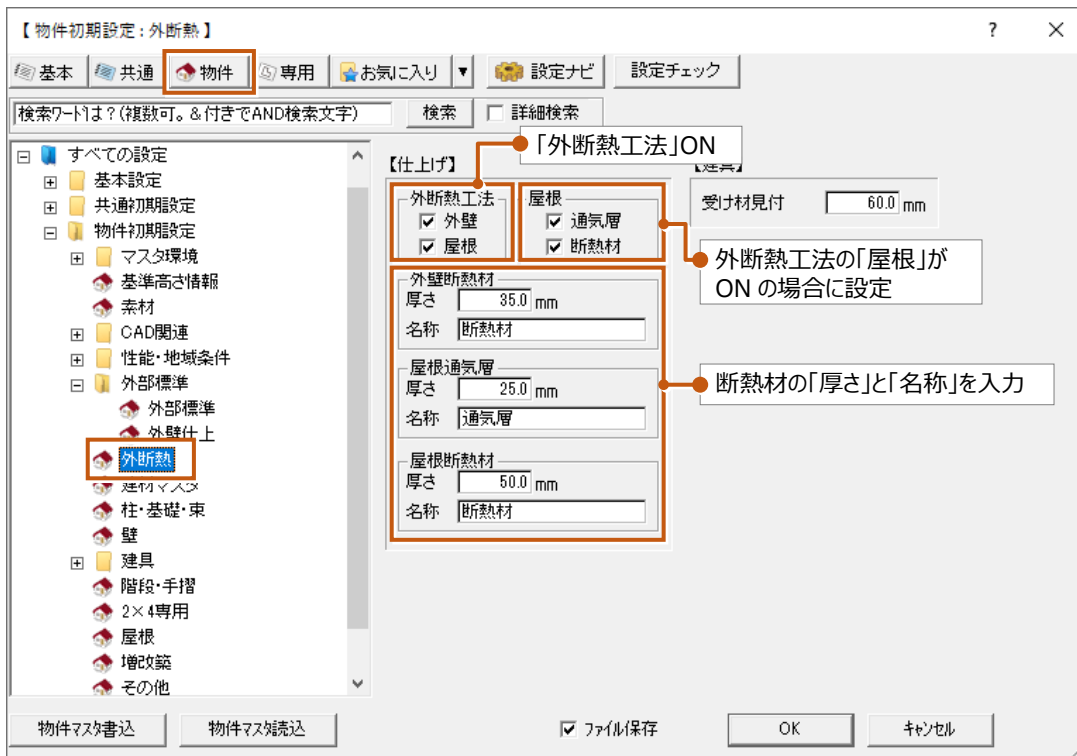
屋根仕上、外部天井仕上

屋根伏図の「屋根自動配置」の「外部標準」に、外部標準マスタで設定した屋根仕上と外部天井仕上が初期値に設定されます。「OK」をクリックで仕上りが作成されます。（外部天井仕上は天井伏図でも作成できます。）



2-4 外断熱の厚さを設定しよう

外断熱の厚さや名称は仕上マスタではなく、「物件初期設定」の「外断熱」にて設定します。ここで設定した外断熱の厚さは矩計図、平面詳細図にて描画されます。



外断熱の仕様について


物件初期設定では外断熱の有無と厚さ、名称のみ設定します。外皮計算を行う場合は、断熱材の材料などの設定が必要なため、「外皮性能計算」の「専用初期設定」で設定してください。

外断熱の他図面での描画について


外断熱の描画については別ページにて解説しています。
 ⇒ 平面詳細図 P.50~P.51 参照
 ⇒ 矩計図 P.74~P.26 参照

2-5 内装仕上を登録しよう


下記のマニュアルを参考に、次のサンプルの仕上仕様または自社の仕上仕様を登録してみましょう。




部屋
内部天井、内壁、床のセット情報、高さ情報など




内部天井仕上
天井仕上、下地、廻縁など





内壁仕上
壁仕上、下地、腰壁、巾木など



床仕上
床仕上、下地、根太、大引きなど

仕上マスタの登録方法はこちらでチェック！

👍 自社マスタ作成編 1.部屋マスタを自社用に編集する P.2~P.6

👍 自社マスタ作成編 5.マスタ設定 P.25~P.35、P.44~P.47

http://www.fukuicompu.co.jp/mnl/ZERO/Ver9/guide/manual/81_master.html

内壁仕上

内壁仕上マスタ No.1 の仕様を編集します。



内壁仕上
壁仕上、下地、腰壁、巾木など

内壁仕上マスタ選択 <c:\f\capp\atzero\atzeromaster\仕上\住宅用>

ページ 1: 未選択*

No.	チェック	識別名	素材				タイプ	壁仕上 名称・摘要
			壁	腰壁	巾木	巻居		
1	<input checked="" type="checkbox"/>	ビニールクロスA					一般	ビニールクロスA
2	<input type="checkbox"/>	ビニールクロス(耐水)					一般	耐水ビニールクロス AAクラス
3	<input type="checkbox"/>	ビニールクロス(巾木タイル)					一般	ビニールクロス AAクラス
4	<input type="checkbox"/>	ビニールクロス(巾木モルタル)					一般	ビニールクロス AAクラス
5	<input type="checkbox"/>	ビニールクロス(腰板)					一般	ビニールクロス AAクラス
6	<input type="checkbox"/>	ビニールクロス(腰タイル)					一般	ビニールクロス AAクラス

内壁マスタ

No. 001 識別名: ビニールクロス

壁

無地 長押 せい 100.0 付巻居 せい 40.0 素材

タイプ: 一般

仕上厚 0.0 mm 名称: ビニールクロス 摘要

下地厚 12.5 mm 名称: 石膏ボード 摘要: t=12.5

腰壁

目地 素材 見切

目地 目地 素材

タイプ: 一般

仕上厚 20.0 mm 名称 摘要

下地厚 15.0 mm 名称 摘要

巾木

無地

タイプ: 木製(規格品)

巾木 木製製品 名称 摘要

下地 名称 摘要

下地打セット 設定

OK キャンセル 上書 空気環境 積算情報

【識別名】ビニールクロス A

【素材】キャンバス ベージュ

【仕上厚】0.0mm、名称：ビニールクロス

【下地厚】12.5mm、名称：石膏ボード、摘要：t=12.5

床仕上

床仕上マスタ No.8 に仕様を作成します。



床仕上マスタ選択 <c:\fcapp\atzero\atzeromaster\仕上\住宅用>

ページ 1 : 木造1階タイプ 名称設定 個別編集 一覧編集

No.	チェック	識別名	素材 床	床タイプ	仕上 名称・摘要
7		玉砂利洗い出し		モルタル(土間コン)	玉砂利洗い出し
8		無垢フローリング		一般	無垢材 t=12
9		フローリング		一般	WPCフローリング合板 t=15
10		クッションフロア		一般	クッションフロア t=2.3

床マスタ ? X

チェック No. 1008 識別名 無垢フローリング

床

タイプ 一般

仕上厚 12.0 mm 名称 無垢材 摘要 t=12

下地厚 12.0 mm 名称 床下地合板 摘要

根太
材質 木製 せい 60.0 mm 巾 45.0 mm 仕様 モジュール寸法 1.00 / 3.00

大引
材質 木製 せい 105.0 mm 巾 105.0 mm 仕様 モジュール寸法 1.00 / 1.00

積算名称取込

OK キャンセル 上書 空気環境 積算情報

[識別名] 無垢フローリング

[目地] 単線タテ (3.縦目地素材用)

[素材] 無垢フローリング カリン

[仕上厚] 12.0mm、名称：無垢材、摘要：t=12

[下地厚] 12.0mm、名称：床下地合板

内部天井仕上

内部天井仕上マスタ No.2 の仕様を編集します。



内部天井仕上マスタ選択 <c:\fcapp\atzero\atzeromaster\仕上\住宅用>

ページ 1 : 木造タイプ 名称設定 個別編集 一覧編集

No.	チェック	識別名	素材 天井 廻縁 竿縁	タイプ	名称
1		ビニルクロス		木天下地	ビニルクロス AAクロス
2		クロス 木製		木天下地	ビニルクロス
3		珪藻土塗り		木天下地	珪藻土塗り

内部天井マスタ ? X

チェック No. 002 識別名 クロス 木製

天井

無地

タイプ 木天下地

仕上厚 0.0 mm 名称 ビニルクロス 摘要

下地厚 9.5 mm 名称 石膏ボード 摘要 t=9.5

和風天井
 竿縁 市松 素材 せい 30.0 巾 30.0 仕様 モジュール寸法 1.00 / 3.00

廻縁
タイプ 木製(規格品) 名称 木製製品 摘要

上段 せい 30.0 mm 巾 9.0 mm 出 9.0 mm

下段 せい 30.0 mm 巾 30.0 mm 出 25.0 mm

積算名称取込

OK キャンセル 上書 空気環境 積算情報

[識別名] クロス 木製

[素材] カンバス ベージュ

[仕上厚] 0.0mm、名称：ビニルクロス

[下地厚] 9.5mm、名称：石膏ボード、摘要：t=9.5

部屋

部屋マスタ No.14 に仕様を作成します。作成した内部天井仕上、内壁仕上、床仕上を割り当てます。



部屋マスタでは仕上の他に、天井高、床高増減などの設定ができます。

- [部屋名] 洋室
- [天井高] 床高+2400mm
- [部屋タイプ] 洋室
- [天井仕上] 2.クロス 木製
- [内壁仕上] 1.ビニールクロスA
- [床仕上] 8.無垢フローリング

部屋タイプについて

部屋タイプは以下の図面およびコマンドに影響します。

平面図	自動作成		カマチ、開口、畳、床の間の配置の判定で使用されます。
	クイック建具入力		外部・内部に建具を入力する際の玄関・勝手口などの判定、隣接する部屋の判定で使用されます。
	確認申請—性能チェック—防犯開口		侵入開口部の判定に使用されます。
	チェック—収納率チェック—収納エリア		収納率の計算に使用されます。
外皮性能計算			居室区画（床面積）の居室タイプ（主たる居室、その他の居室、非居室）に影響します。
シックハウスチェック			「読込」で読み込まれる部屋データの種別（住宅等の居室、住宅等以外の居室、天井裏など）に影響します。
その他			他社製品ソフトなどへ連動を行う場合に使用されます。

補足

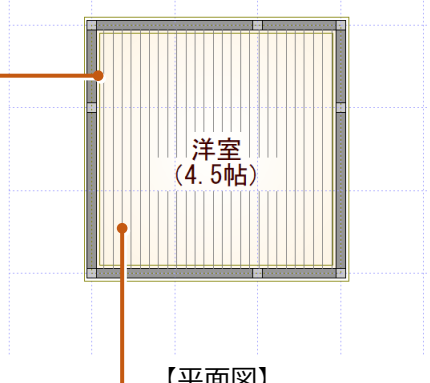
部屋マスタで設定した仕上の自動作成について

平面図で「部屋」を入力すると、登録した仕上や天井高などの属性を保持した状態で入力されます。その情報をもとに「一括作成」で内壁仕上、内部天井仕上、床仕上が作成されます。

The diagram illustrates the process of creating finishes for a room. It starts with the '部屋' (Room) master menu, where a room is selected. A callout box points to the '詳細' (Details) tab, stating: 「詳細」で部屋マスタの情報を確認できます。 (You can check the room master information in the 'Details' tab.)

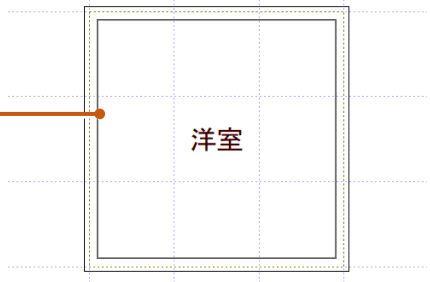
Next, the '一括作成' (Bulk Create) dialog is shown. The '仕上配置' (Finish Configuration) section is highlighted, showing the '仕上' (Finish) dropdown set to '1. ガイキング' (1. Gai King). Other options include '天井' (Ceiling), '外壁' (Exterior Wall), '内壁' (Interior Wall), and '床' (Floor). The '部屋' (Room) dropdown is also highlighted, showing the selected room.

The '内壁仕上 <1/1>' (Interior Wall Finish <1/1>) dialog is shown. The '仕上' (Finish) dropdown is set to '1. ビニール加スA' (1. Vinyl Gass A). The '部屋を参照' (Reference Room) section is checked, showing the room's dimensions: 付帯居高 (Attached Room Height) 1660.0, 見切高 (Overhang Height) 25.0, 腰壁高 (Waist Wall Height) 860.0, and 巾木高 (Baseboard Height) 60.0. The '目地基準点' (Joint Reference Point) is set to '部屋床高±' (Room Floor Height ±) 0.0. The '位置' (Position) is set to '始' (Start) with a distance of 0.0 mm. The '高速指定' (High Speed Designation) section is also visible.



The '床仕上 <1/1>' (Floor Finish <1/1>) dialog is shown. The '仕上' (Finish) dropdown is set to '8. 無垢フローリング' (8. Solid Flooring). The '根本方向' (Root Direction) is set to '縦' (Vertical). The 'ロック' (Lock) checkbox is unchecked.

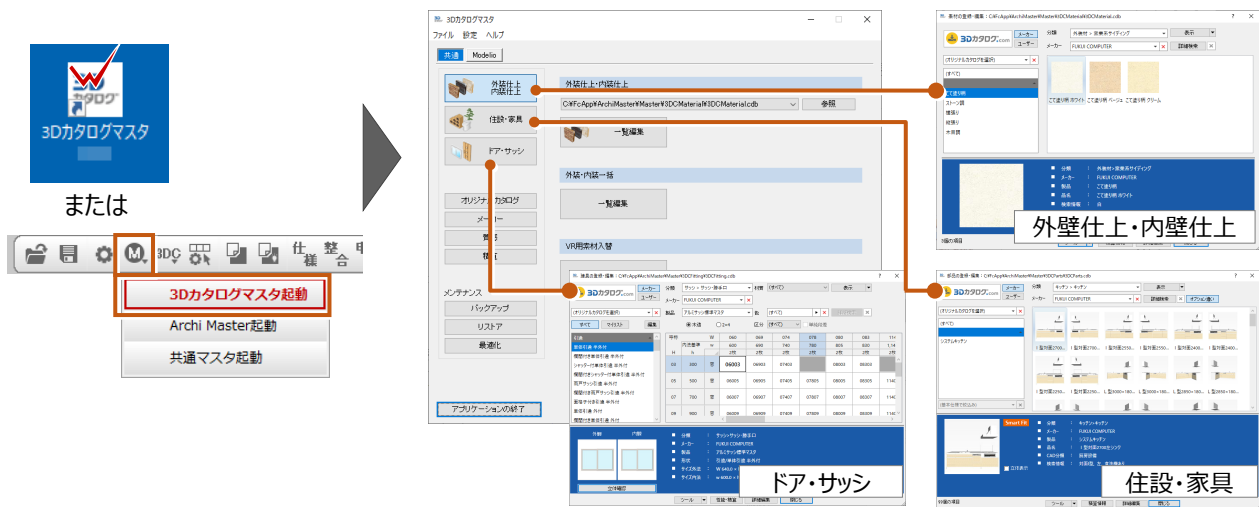
The '内部天井仕上 <1/1>' (Internal Ceiling Finish <1/1>) dialog is shown. The '仕上' (Finish) dropdown is set to '2. 加ス木製' (2. Gass Wood). The '基準増減' (Reference Increase/Decrease) is set to '天井高±' (Ceiling Height ±) 0.0 mm. The '勾配' (Slope) is set to 0.0000 / 10. The '和風天井方向' (Japanese Style Ceiling Direction) is set to '縦' (Vertical).



3 3D カタログでメーカー 建材・設備を使おう

3-1 3D カタログマスタについて

3D カタログには仕上素材、ドア・サッシ、住設・家具の部品が登録されており、ZERO で使用することができます。これらを「**3D カタログマスタ**」と呼びます。デスクトップ上の「3D カタログマスタ」のアイコンまたは「建材マスタ起動」の「3D カタログマスタ起動」から開くことができます。



初期登録の仕上素材、ドア・サッシ、住設・家具の部品だけではなく、メーカーの実建材を使用することもできます。実在する住宅設備・建材・家具を使用することでより生活をイメージしやすいプレゼンパースが作成できます。実建材を使用する場合には、「**3D カタログ.com**」の会員登録が必要です。

【3D カタログ建材、部品使用例】



⇒ DATASTATION については P.31 参照

3D カタログ活用方法はこちらでチェック！
3D カタログ連携と基本操作
https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/3dczero/sos/3dcom_ZERORelation.html

3-2 3Dカタログ.comに登録しよう

3Dカタログ.comとは

「3Dカタログ.com」は、各建材メーカーの製品情報を収録している国内最大級の建築に特化した**立体部品のダウンロード**、**カタログサイト**です。3Dカタログには**無料会員**、**有料会員 A**、**有料会員 B**の3つの会員種別があります。ARCHITREND ZEROにて3Dカタログのメーカー建材や3D部品を使用する場合は、**有料会員 Aプラン**または**有料会員 Bプラン**へのご登録が必要です。なお、**有料会員 Bプラン**の機能は30日間無料で体験することができます。



3Dカタログ.com ホームページ
<https://www.3cata.com/>

会員タイプ別のサービス内容はこちらでチェック！

👍 サービスのご案内・会員登録
<https://www.3cata.com/about/service/cad>

3Dカタログ.comに会員登録する

ZERO 起動時に表示される「3Dカタログ.com 設定」から会員登録ができます。



会員未登録の方はこちらから30日間の無料体験のお申し込みができます。



3Dカタログ.comの利用環境について

3Dカタログ.comのご利用には、インターネット接続が必要です。ブラウザで、インターネット上のサイトが開けない場合は、ご利用のパソコンや周辺機器・接続環境を確認してください。

ZERO 起動後に開く場合

「建材マスタ」メニューの「3Dカタログマスタ起動」から3Dカタログマスタを開き、「設定」メニューの「3Dカタログ.com 設定」から同じ画面を開くことができます。



詳しい会員登録方法はこちらでチェック！

下記 URL をクリックで 3D カタログ.com ホームページのオンラインヘルプが開きます。



無料会員登録

https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/3dc/help/3dchelp.htm#050_Member/052_Member_Free.html



有料会員の 30 日無料体験

https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/3dc/help/3dchelp.htm#050_Member/053_Member_FreeTrial1.html

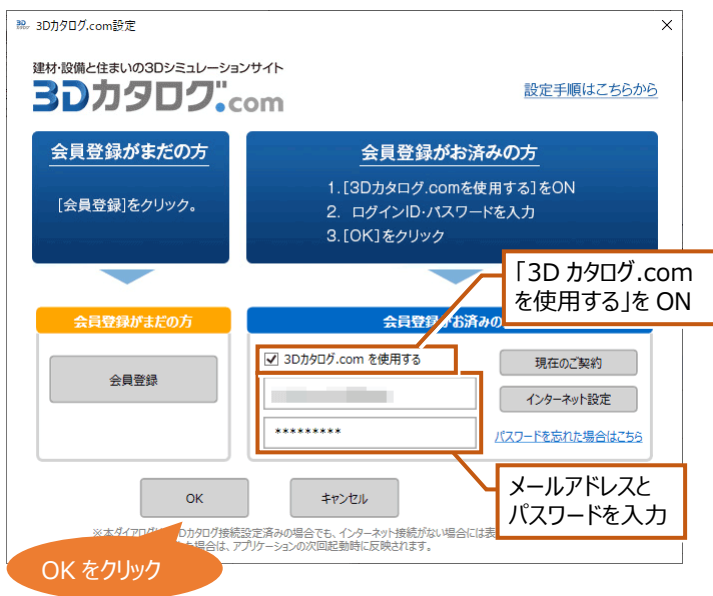


有料会員登録（A・Bプラン）

https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/3dc/help/3dchelp.htm#050_Member/060_Member_Charg.html

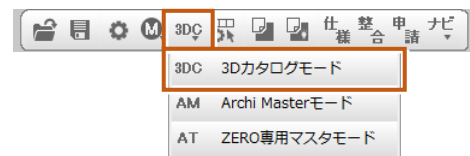
3D カタログと ZERO を連携する

会員登録が完了したら、ZERO でメーカー建材を利用可能にするためログインします。再度「**3D カタログ.com 設定**」を開き、登録した「**メールアドレス**」と「**パスワード**」を入力します。



3D カタログモードに設定する

3D カタログ部品やダウンロードしたメーカー建材を使用する場合は、建材マスターモードを「3D カタログモード」に設定します。



補足

DATASTATION について

DATASTATION は CAD による設計図面や CG パースに、さらに現実味を持たせることができるハイクオリティな**添景データコンテンツ**です。自動車や植栽、食器などの小物類が多数収録されています（提供元：株式会社ファイン）。他のメーカー建材と同様に 3D カタログ.com からダウンロードして CAD 上でご利用いただけます。

The screenshot shows the 3D Catalog website interface. On the left, there's a sidebar with 'DATASTATION' highlighted. The main area displays a grid of dining set thumbnails. An arrow points from one thumbnail to a detailed view window. In this window, the 'メーカー' (Manufacturer) is set to 'ファイン' (FINE). Below the thumbnails, there's a list of product details:

- 分類: 家具・インテリア>家具
- メーカー: ファイン
- 製品: ダイニングセット
- 品名: ダイニングセット (4人用)
- CAD分類: 家具
- 検索情報: ダイニング, セット



DATASTATION を利用するには
 DATASTATION は、3D カタログ有料会員 A プランまたは
 有料会員 B プランのオプションのご契約でご利用いただけます。

DATASTATION についてはこちらでチェック！
 サービスのご案内
<https://www.3cata.com/about/service/paid#datastation>

4 立面図

4-1 立面図を自動作成しよう

立面図では、**平面図**、**屋根伏図**、**天井伏図**、**配置図**をもとに、**東西南北方向（1面～4面）**の立面図を作成します。
ここでは、平面図から立面図を開いて自動作成します。

「他の処理図面を開く」



「立面図」オープンからも開くことができます。

方位について

方位は、配置図の1面目に入力した方位マークにより決まります。
配置図の1面目に方位マークがないときは、平面図の方位マーク、平面図に方位マークがないときは画面の真上が北になります。



【平面図】



ダブルクリック

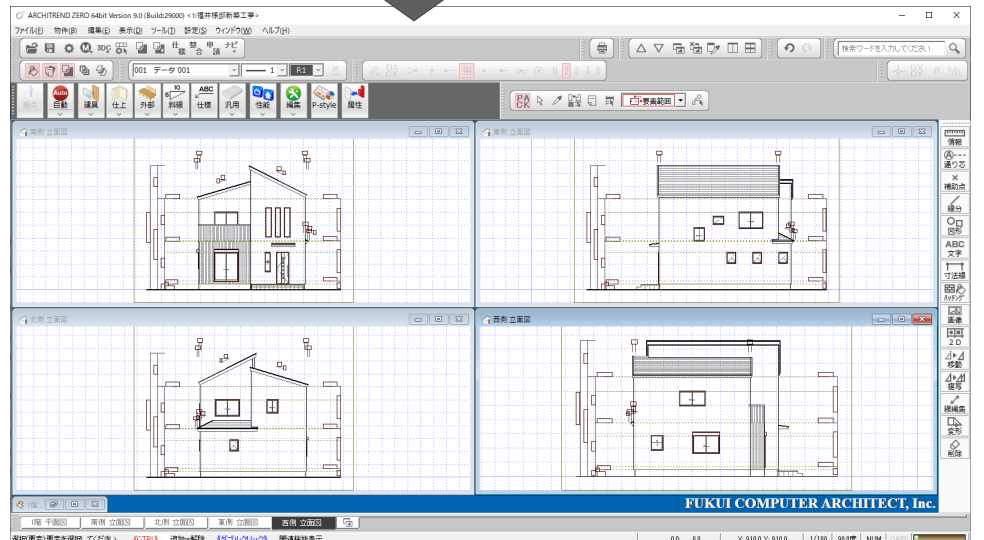
4面を一度に自動作成

一括自動立上

現在、編集中の図面などを一旦保存します

立面図で算出される最高高さを物件情報に反映するには、下のチェックボックスをオンにしてください。
物件情報の最高高さは、配置図・計画概要表やTREND CAIに連携します。

物件情報の最高高さに反映する



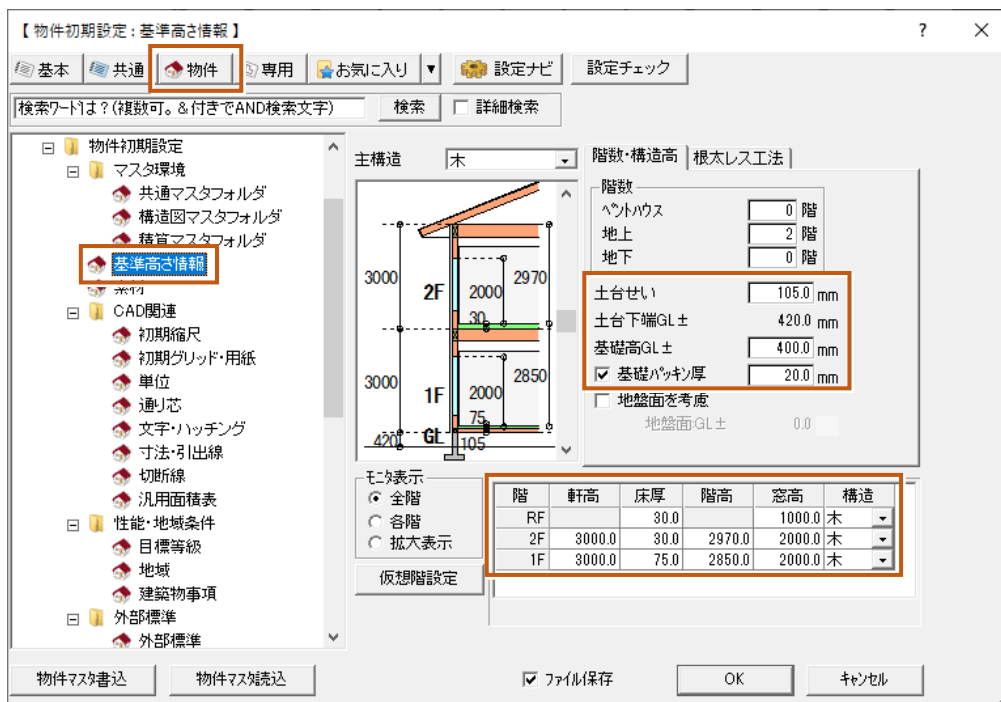
4-2 軒高や階高などの高さを確認しよう

自動作成で作成される寸法は、「物件初期設定」の「基準高さ情報」で設定した値が連動します。軒高や階高などは値を変更して立面図を再作成すると高さに反映されます。

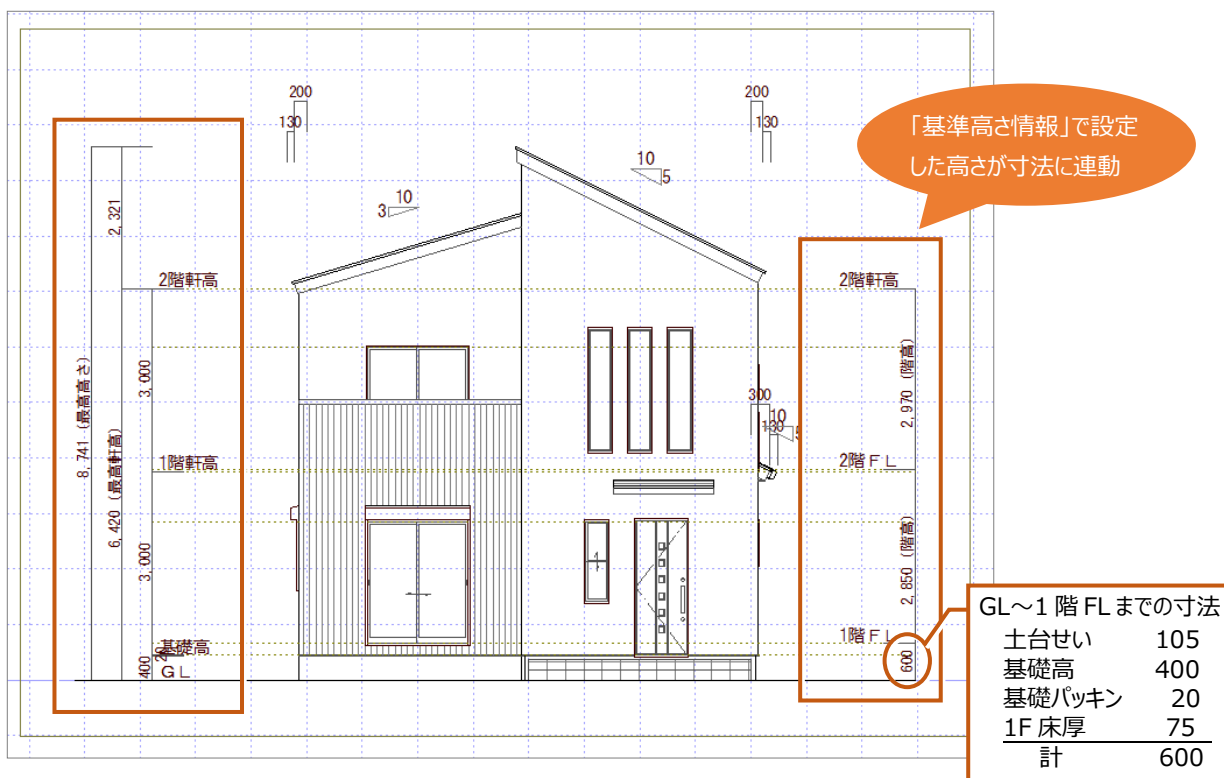
● 物件初期設定 ●

基準高さ情報にセットされる高さについて

「基準高さ情報」に表示される高さは、物件の新規作成時にウィザード画面で設定した値がセットされます。
⇒ 1-5 建物の高さを設定しよう P.8 参照



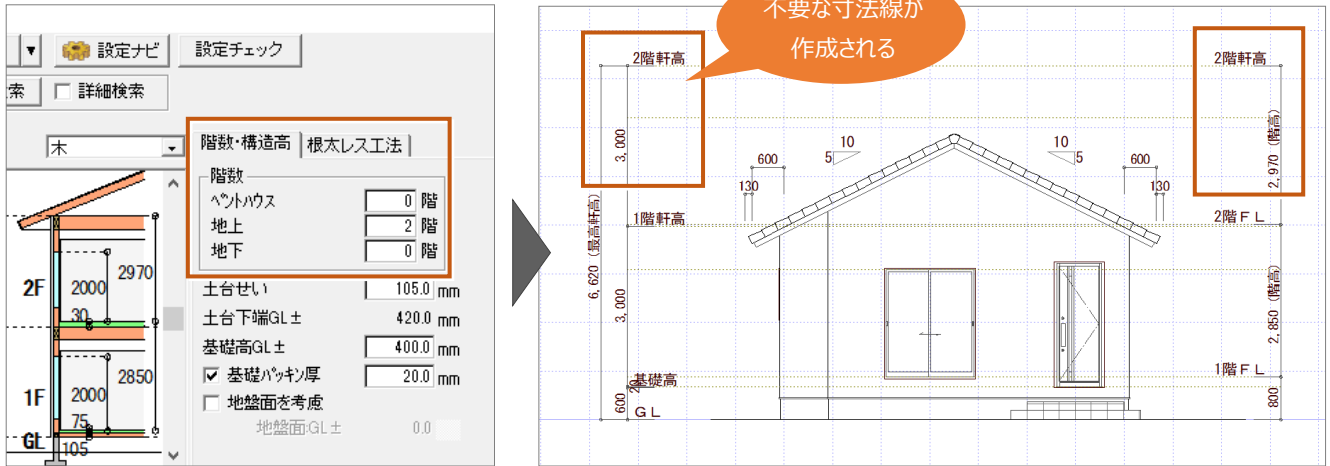
● 立面図 ●



補足

基準高さ情報の「階数」について

例えば、平屋建ての場合に階数を「地上 2 階」と設定すると、立面図を作成したときに不要な 2 階の寸法線が作成されます。「基準高さ情報」では「階数」の設定も確認しましょう。



立面図をカラーで表現するには

立面図に自動で色を付けることはできません。ARCHITREND P-style をご購入されている場合は、「ARCHITREND P-style 連携【立面図】」からカラー立面図を作成することができます。ARCHITREND P-style をお持ちでない場合は、汎用コマンドの「ハッチング・塗潰し」メニューから「塗潰し入力」で単色の塗り潰しを入力するなどの方法があります。

P-style に関する詳しい操作はこちらでチェック！

P-style 編

<https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/ZE/RO/Ver9/guide/uss/P-style.html>

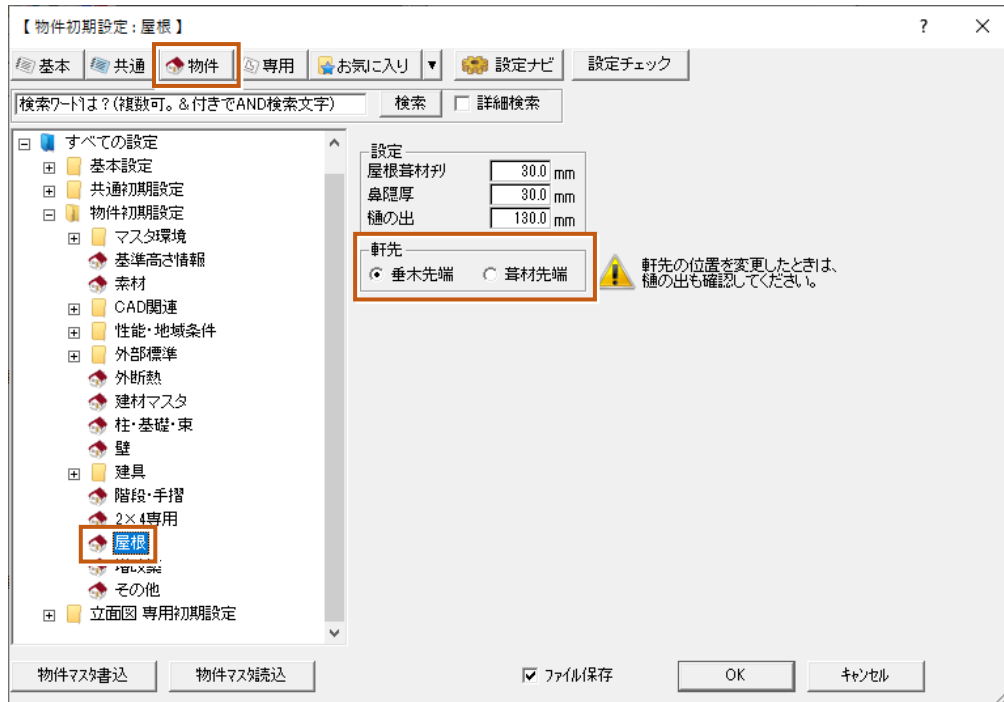


4-3 軒先の位置について設定を確認しよう

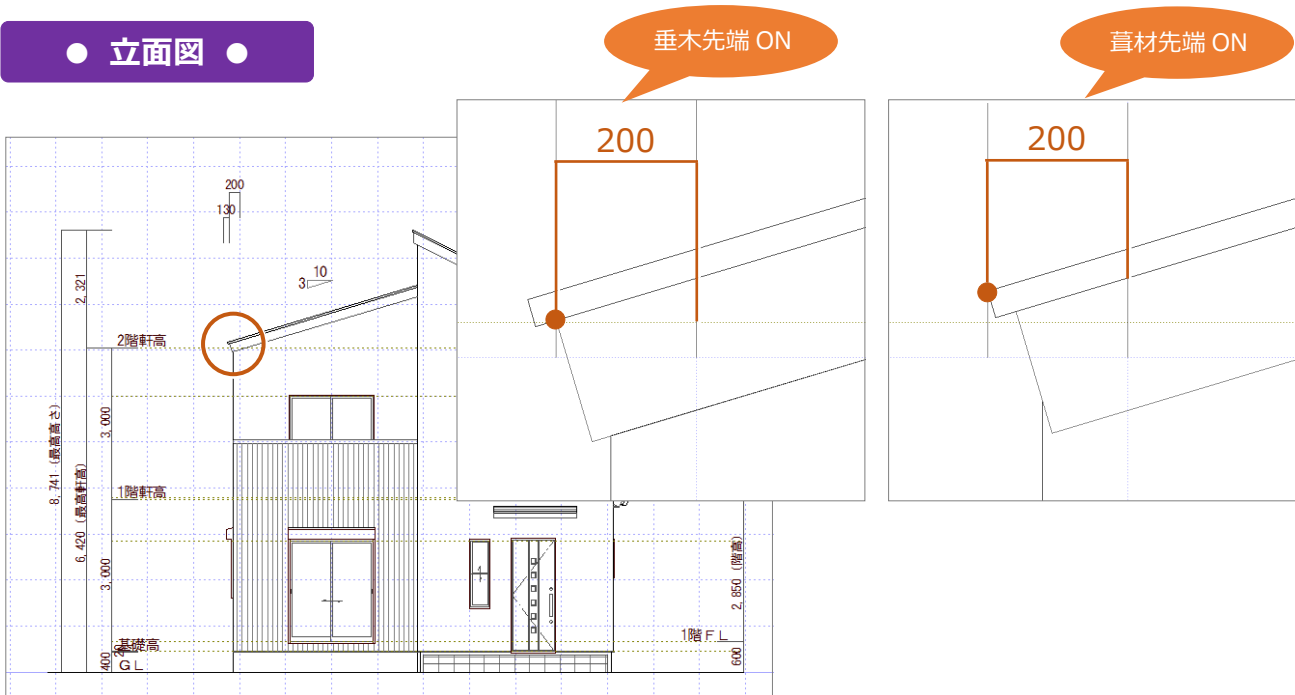
自動作成で作図される軒の出寸法の軒先の位置は、「物件初期設定」の「屋根」にある「軒先」で設定します。

軒先の位置を垂木の先端とするか、葺材の先端とするかを設定できます。この設定によって立面図で作成される軒の出寸法を押さえる位置が変わります。

● 物件初期設定 ●



● 立面図 ●



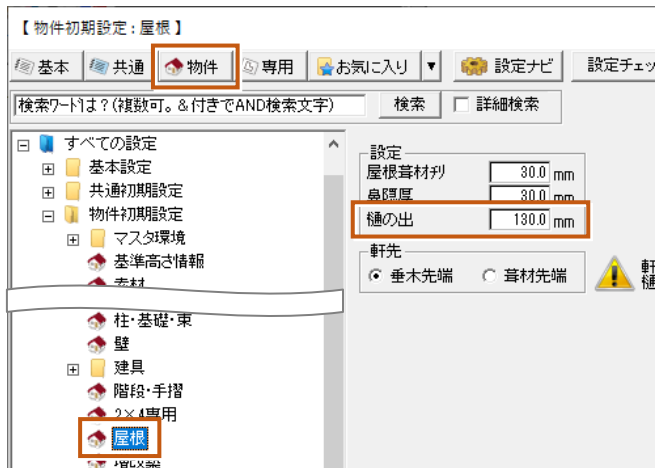
補足

樋の出の設定について

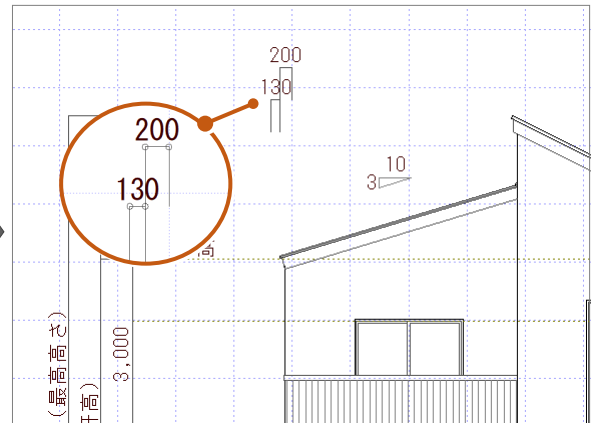
立面図を自動作成したときに軒の出の寸法と一緒に作図される樋の出の寸法（ここでは「130」）は、「物件初期設定」の「屋根」にある「樋の出」の値が連動します。そして、この樋の出は「軒先」の「垂木先端」「葺材先端」が基準になります。

※ 樋の出寸法を作図するには、「立面図専用初期設定」の「寸法線等」で「樋先寸法を描画する」をONにします。⇒ P.37 参照

● 物件初期設定 ●



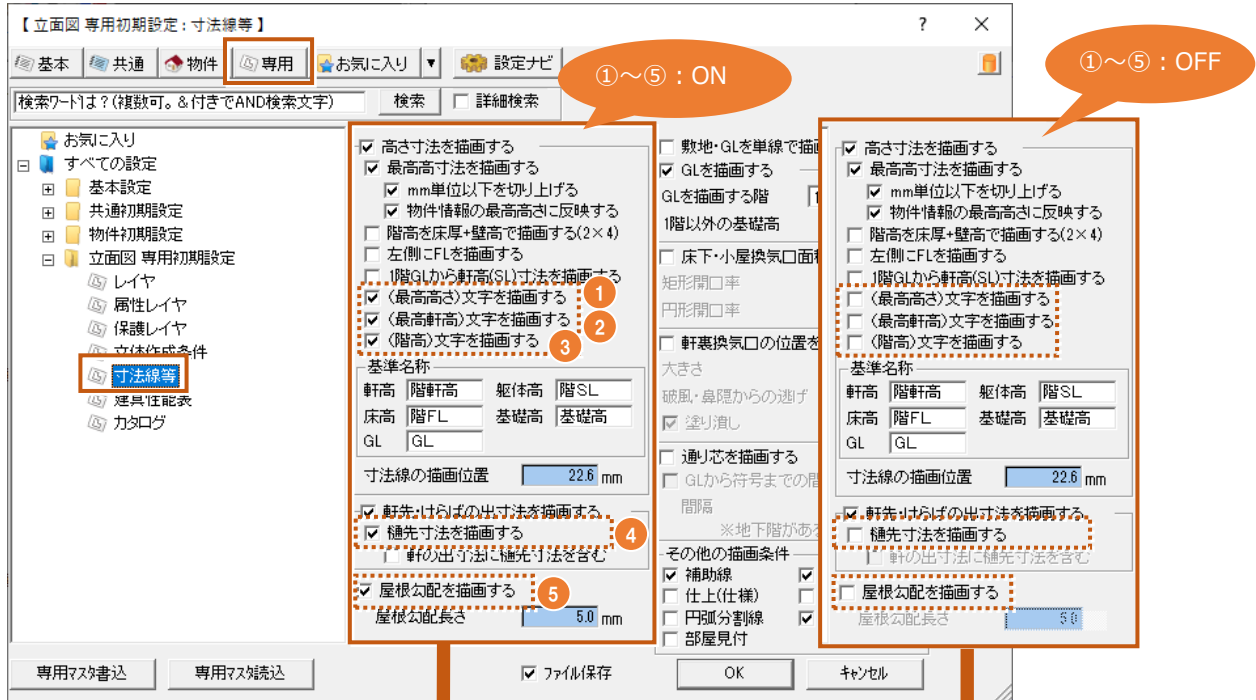
● 立面図 ●



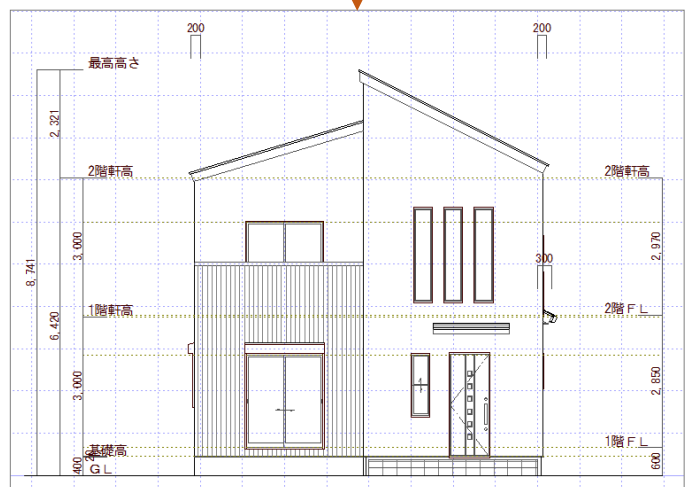
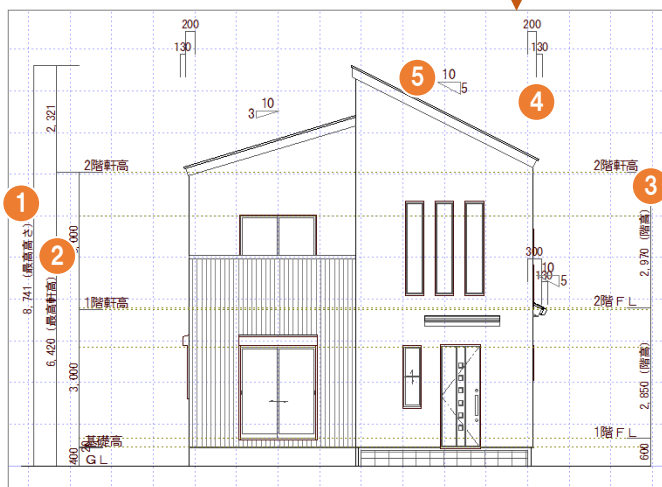
4-4 寸法の作図について設定を確認しよう

立面図を自動作成するときの**高さ寸法**などの描画は、「**立面図専用初期設定**」の「**寸法線等**」で作図条件を設定できます。作図する項目を確認し、描画する場合はON、描画しない場合はOFFに設定して立面図を自動作成しましょう。ここでは①～⑤の項目についてONとOFFの場合で立面図を作成しています。

● 立面図専用初期設定 ●



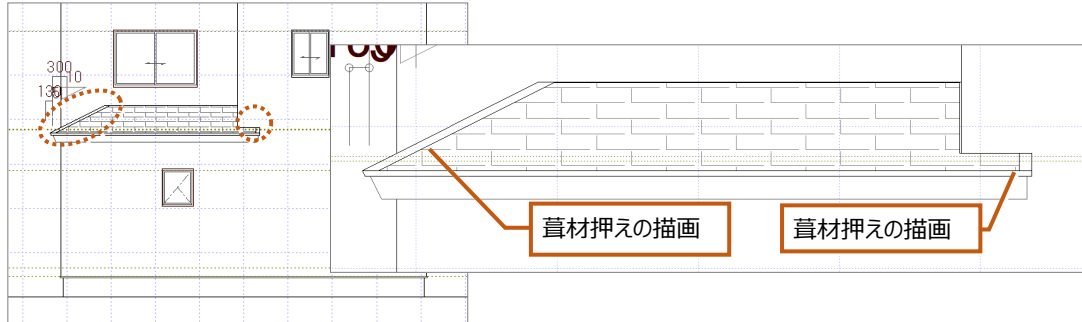
● 立面図 ●



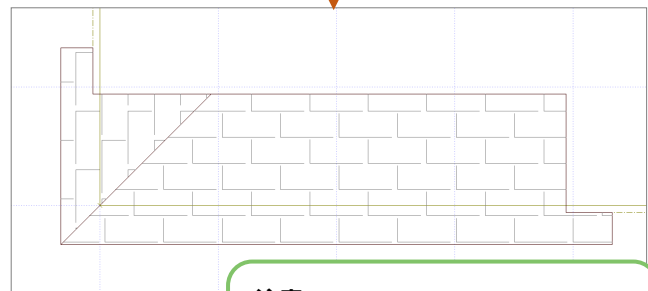
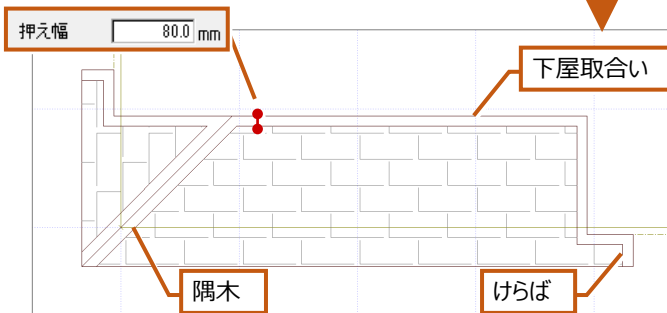
4-5 横葺き屋根の押えの描画について確認しよう

立面図で描画される横葺き屋根の押えは、屋根伏図のデータから連動します。「屋根伏図専用初期設定」の「図面作成条件」で葺材押えの描画条件を設定します。※ ただし、この設定は屋根仕上がコニアルタイプの場合のみ対象となります。

ここでは、「屋根伏図専用初期設定」の「図面作成条件」で「けらば」「隅木」「下屋取合い」をONとOFFの場合で作成し、立面図を自動作成しています。葺材押えの描画について連動元、設定場所、そして立面図の描画の違いをご確認ください。

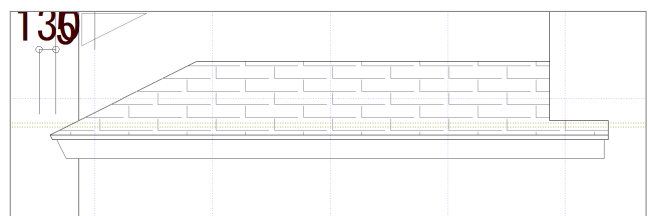
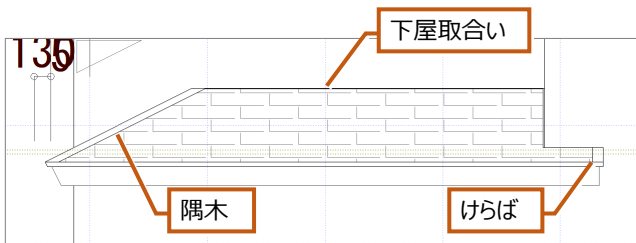


● 屋根伏図専用初期設定 ●



注意！
「屋根伏図専用初期設定」を変更して屋根伏図を作成した場合は、立面図を再作成する必要があります。

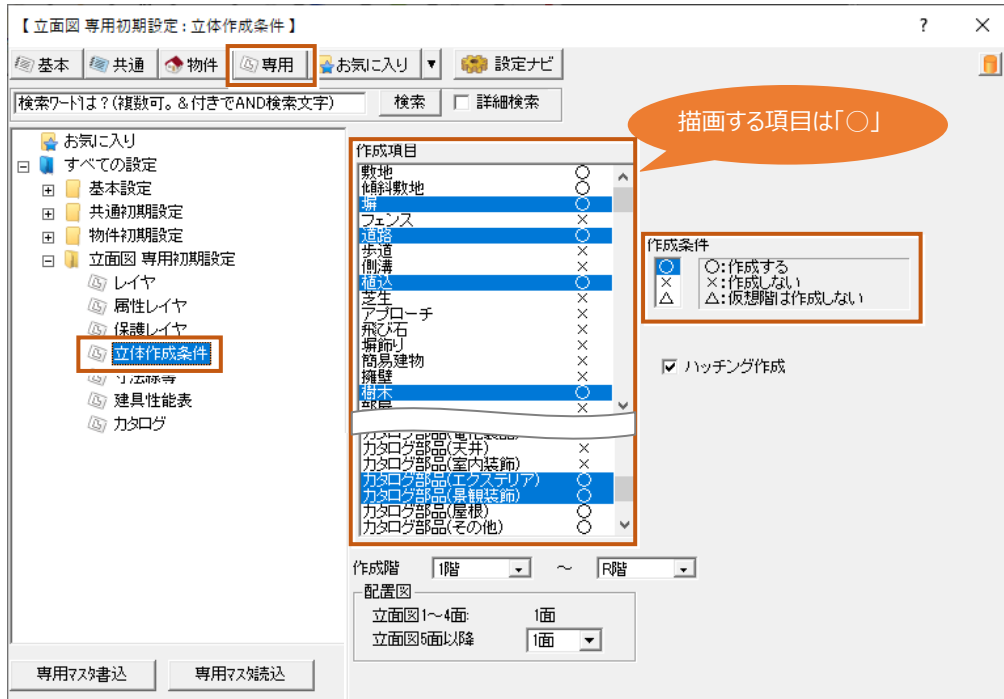
● 立面図 ●



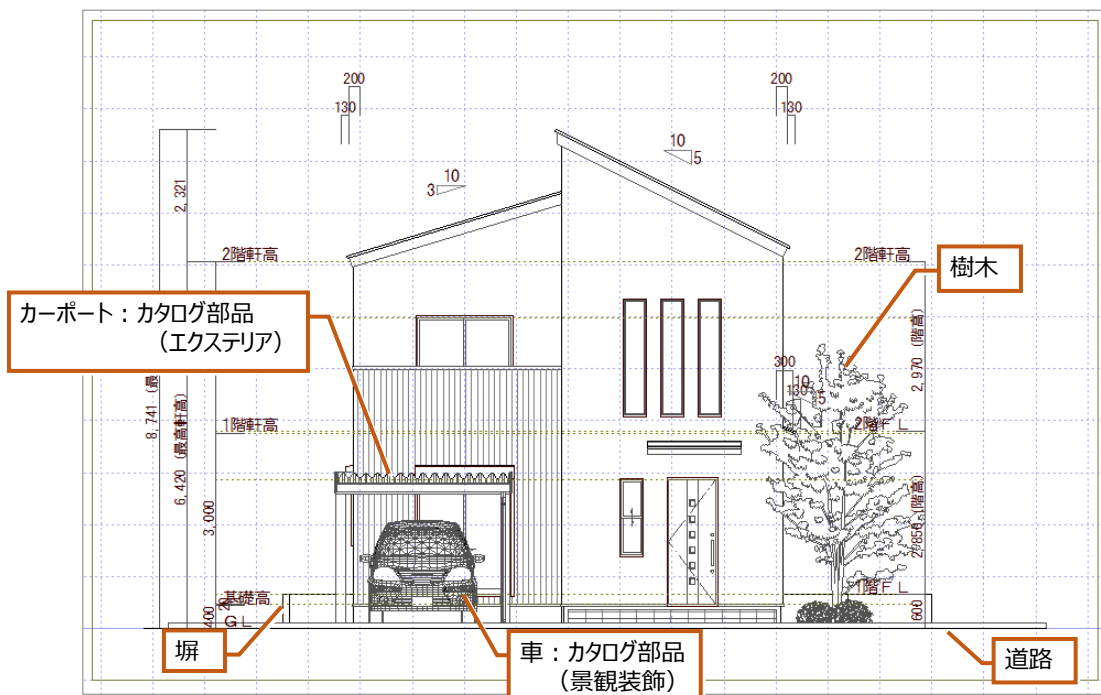
4-6 立体データの描画について設定を確認しよう

自動作成するときに、敷地や樹木、車などを描画するかどうか、「立面図専用初期設定」の「立体作成条件」で設定します。描画する項目は作成条件を「○」、描画しない項目は「×」に設定して立面図を自動作成します。

● 立面図専用初期設定 ●



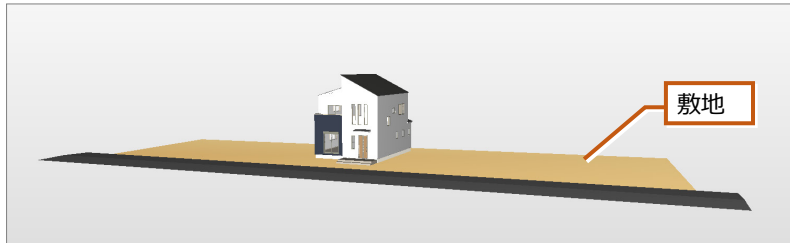
● 立面図 ●



補足

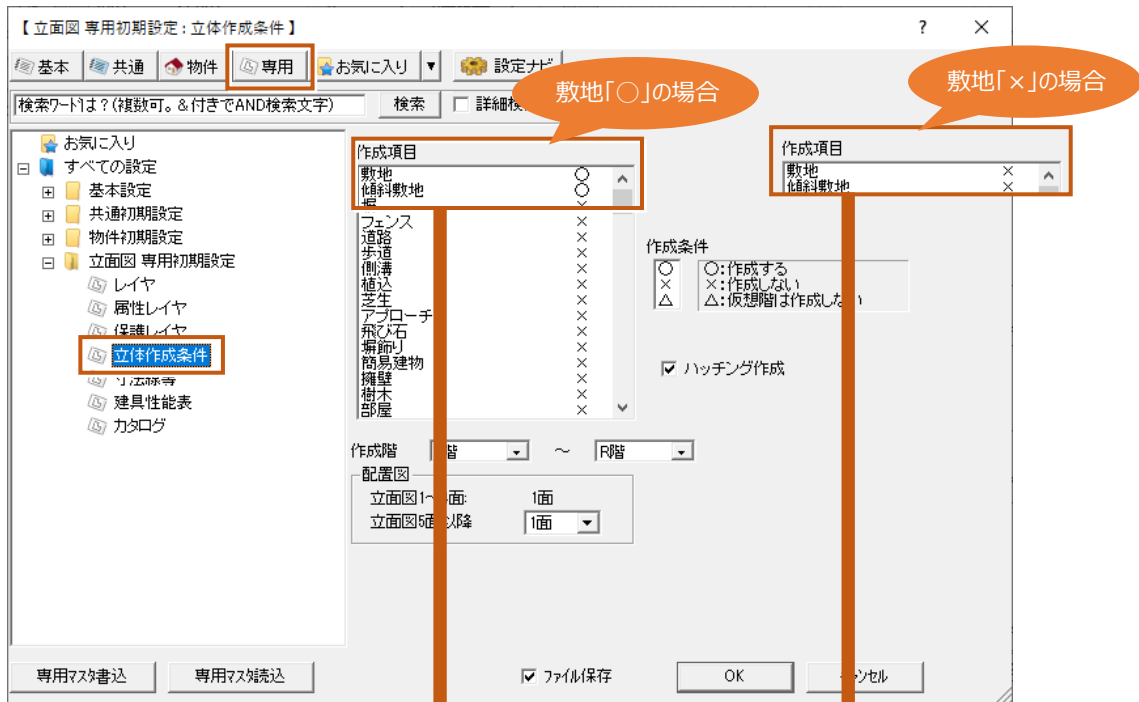
敷地データの描画について

ここでは、下図のパーズのような敷地データを入力している場合に、作成条件を「○」と「×」にしたときの立面図を作成しています。範囲の大きな敷地を入力している場合に、作成項目を「○」にすると作図範囲も大きくなり、画面に表示される建物が小さくなります。このような場合、作成項目を「×」にして自動作成することで敷地を除いた範囲で立面図を作成し、画面全体に建物が表示されます。

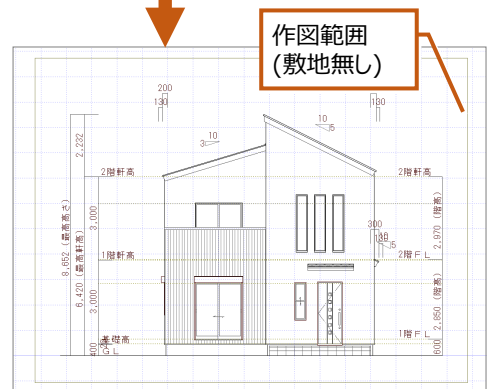
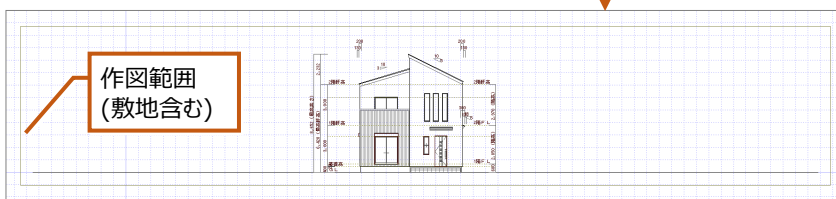


【パーズモニタ】

● 立面図専用初期設定 ●



● 立面図 ●

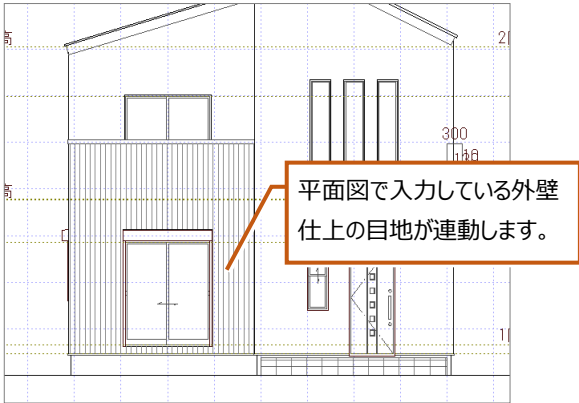


4-7

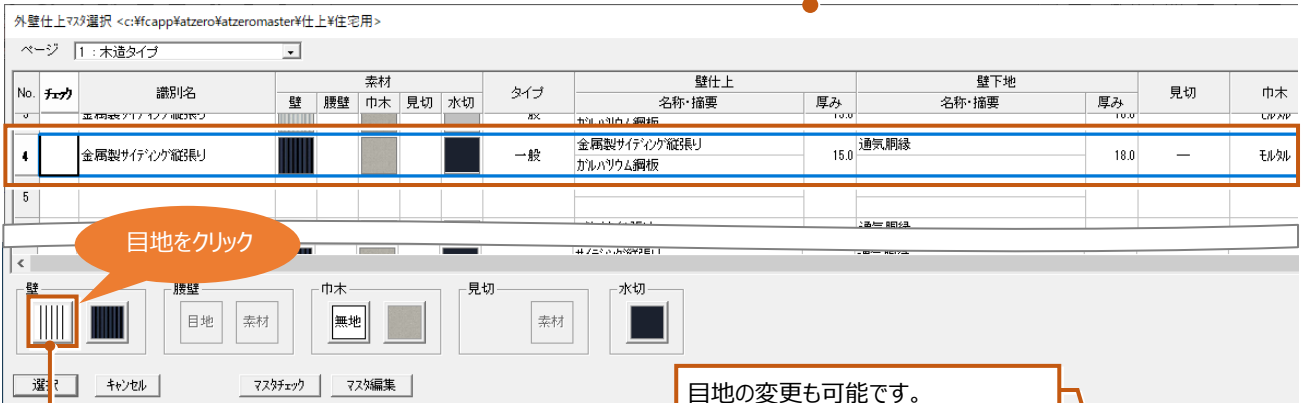
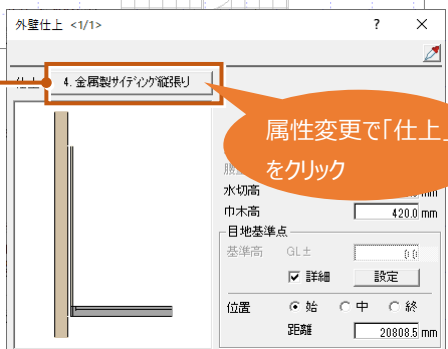
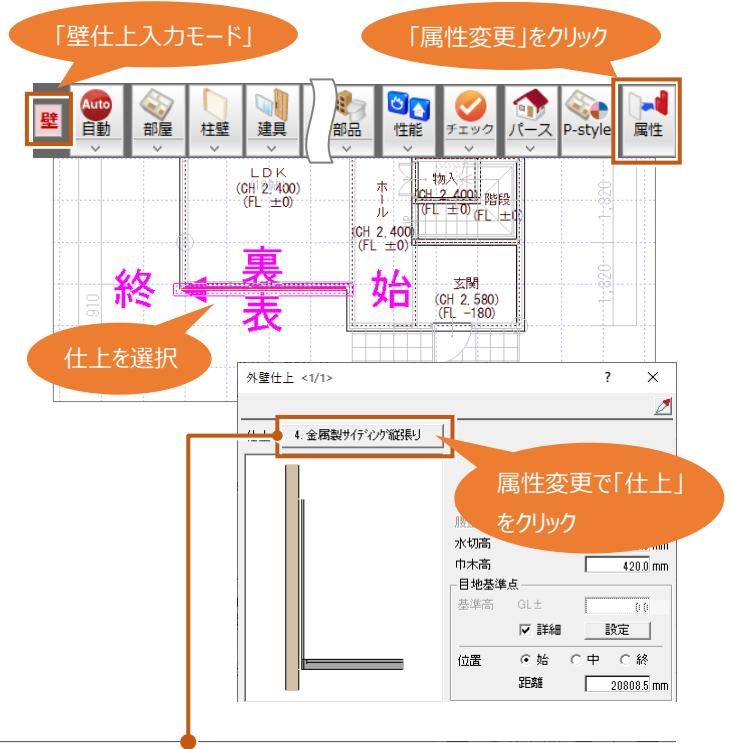
外壁目地の描画について連動元を確認しよう

立面図で描画される外壁の目地は、平面図で入力している外壁仕上の目地が連動します。
 ここでは、平面図で外壁仕上の属性変更ダイアログを開いて、「外壁仕上マスタ選択」の目地で確認や変更する方法を解説します。

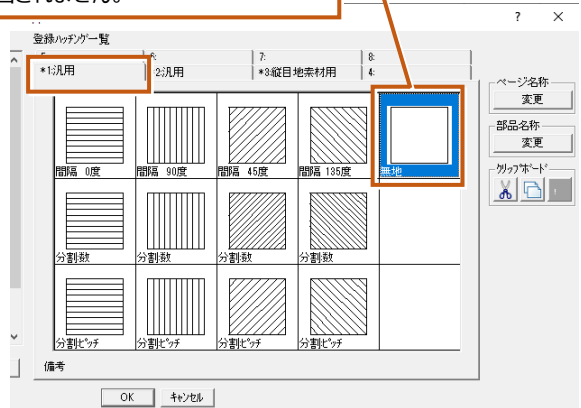
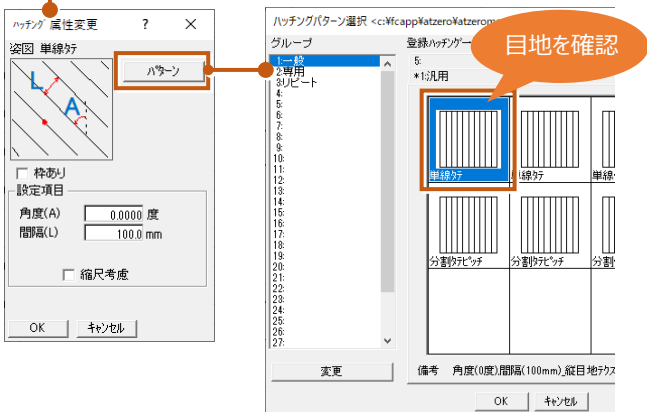
● 立面図 ●



● 平面図 ●



目地の変更も可能です。
 「無地」を選択すると立面図で目地が描画されません。



補足

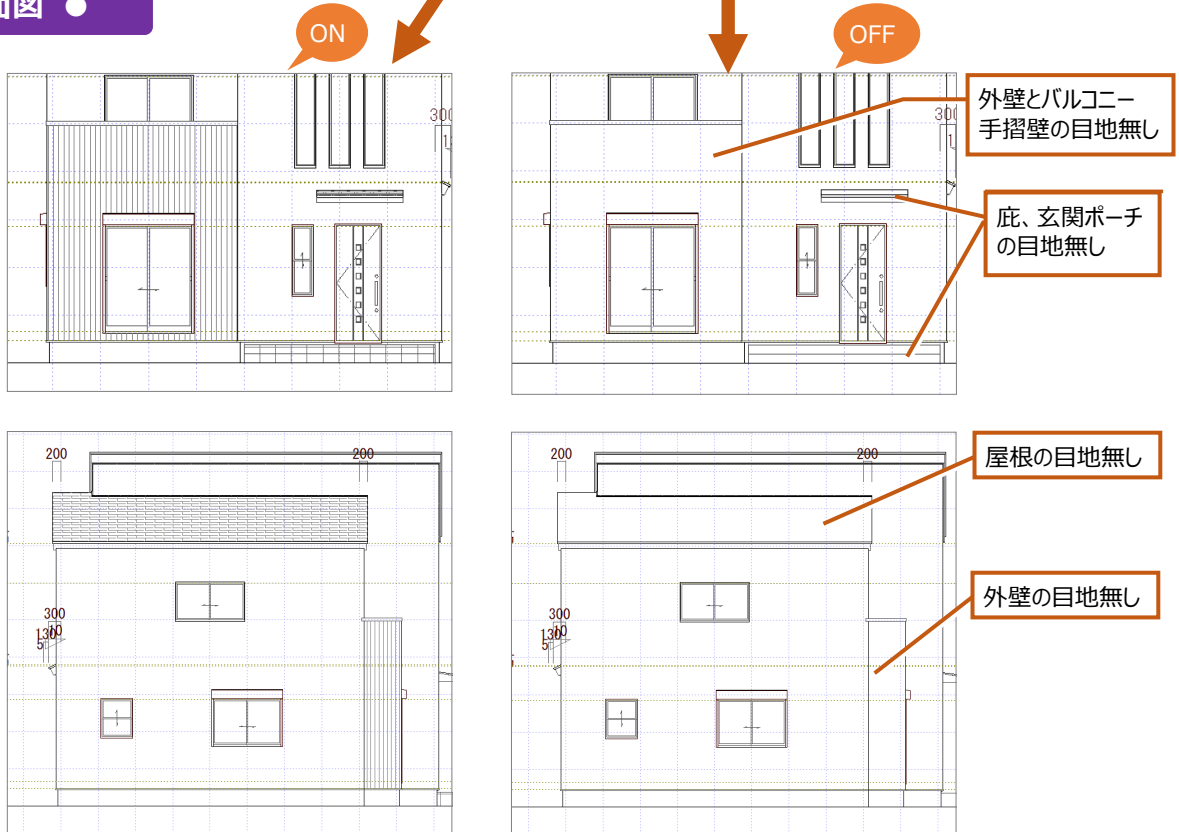
その他の目地の描画について

立面図では、屋根や庇、外壁など仕上の目地を表示しないように設定することが可能です。これらの目地が不要な場合は、「立面図専用初期設定」の「立体作成条件」の「ハッチング作成」を OFF にして自動作成します。
 ただし、外壁の目地は不要で屋根の目地は描画したいなど個別に目地の描画を設定したい場合は、「ハッチング作成」は ON にして、それぞれの仕上で目地パターンを「無地」などに設定してください。

● 立面図専用初期設定 ●



● 立面図 ●



【南側 立面図】

【東側 立面図】

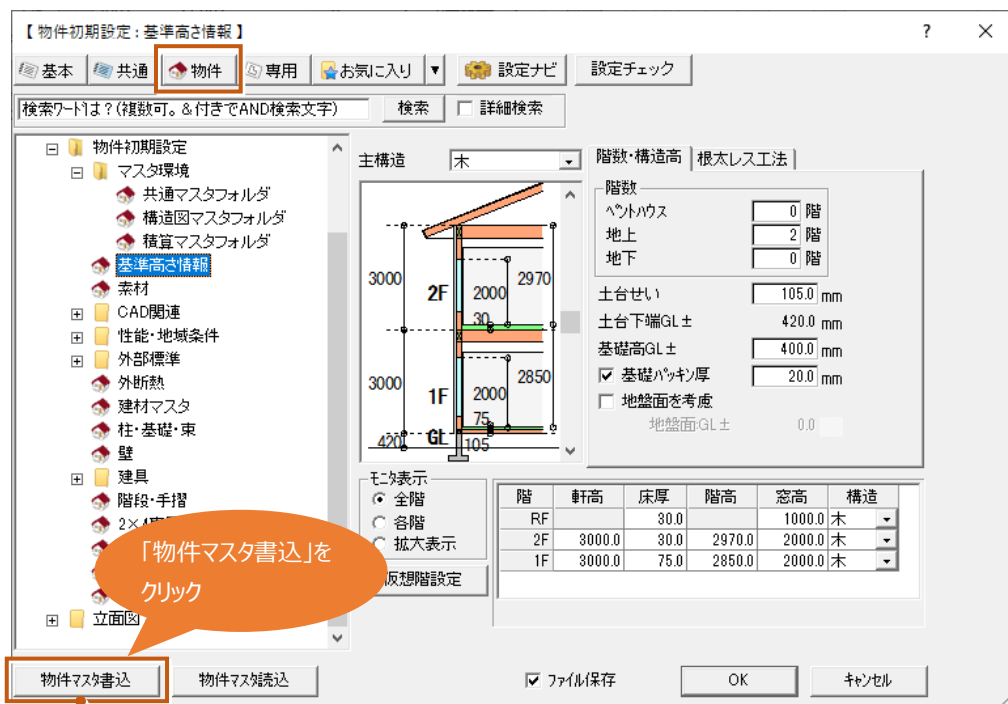
4-8 自社用マスタの登録方法を確認しよう

「物件初期設定」の設定を変更して変更内容を自社用のマスタとして登録する場合、「専用初期設定」の設定を変更して自社用のマスタとして登録する場合について解説します。

自社用のマスタとして物件マスタ登録する

ZERO では、建物の仕様をマスタ（ひな型）に登録できます。このマスタを「物件マスタ」といいます。「物件初期設定」で設定を変更し、変更した内容を自社用のマスタとして物件マスタに登録すると、別の物件でも同じ「物件初期設定」の内容で図面を作成できるようになります。物件マスタの登録は、物件初期設定ダイアログの左下にある「物件マスタ書込」から登録できます。

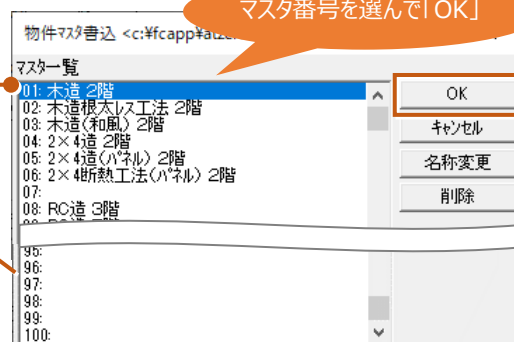
● 物件初期設定 ●



「物件マスタ書込」をクリック

マスタ番号を選んで「OK」

100パターン登録できます。番号を選んで新たに物件マスタを登録することもできます。

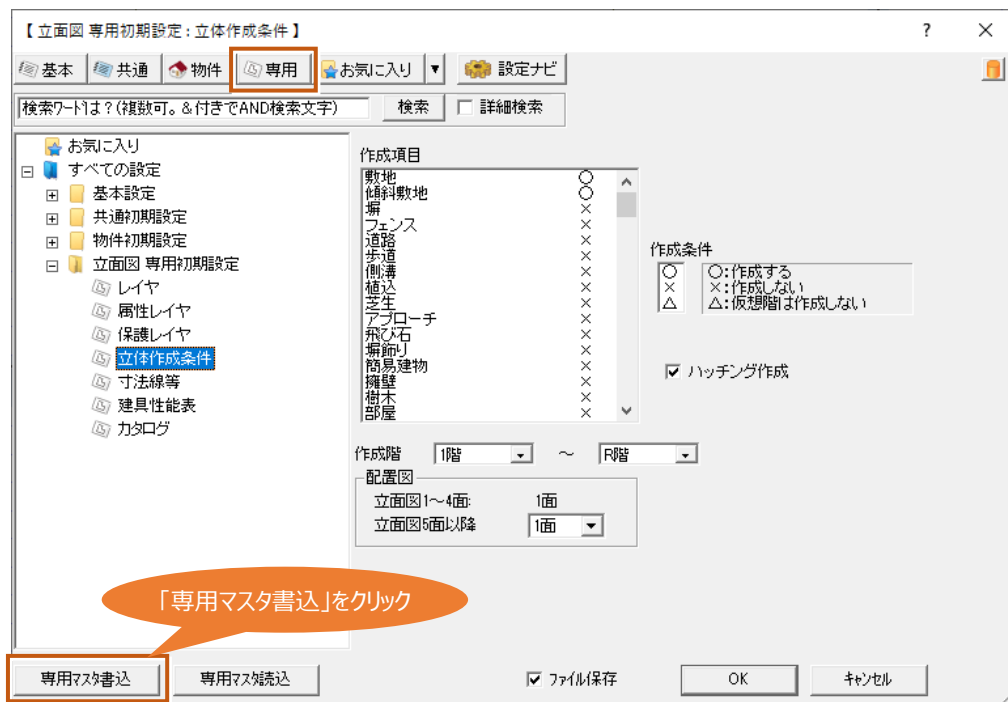


別の物件を作成するときに、書込んだ番号を選択すると同じ設定で図面作成できます。

自社用の図面専用のマスタとして登録する

ZERO では、平面図や屋根伏図、配置図など図面ごとに作図条件を登録できます。この作図条件を登録したマスタを「**専用マスタ**」といいます。「立面図専用初期設定」で設定（作図条件）を変更し、変更した内容を自社用のマスタとして専用マスタに登録すると、別の物件の立面図を作成するときにも同じ設定内容で作成できるようになります。専用マスタの登録は、「立面図専用初期設定」ダイアログにある「**専用マスタ書込**」から登録できます。

● 立面図専用初期設定 ●



「専用マスタ書込」をクリック

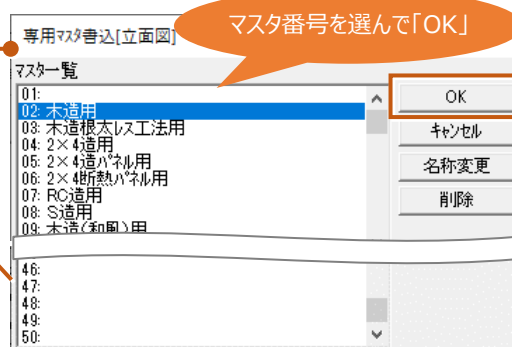
専用マスタ書込

専用マスタ読込

ファイル保存

OK

キャンセル



マスタ番号を選んで「OK」

50 パターン登録できます。
番号を選んで新たに専用マスタを登録することもできます。

別の物件の立面図を作成するとき
に、書込んだ番号を選択すると同
じ設定で図面作成できます。

マスタ作成に関する詳しい操作はこちらでチェック！



自社マスタ作成編 「自社用の物件マスタ、専用マスタの作成」P.16～P.22参照

https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/ZERO/Ver9/guide/manual/81_master.html

5

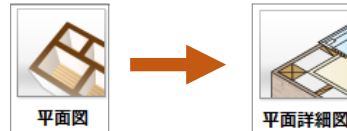
平面詳細図

5-1 平面詳細図の作成方法を確認しよう

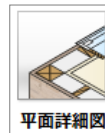
はじめに作成方法を確認しましょう。

平面詳細図の作成方法は 2 通りあります。

1 つ目は、**平面図のデータを元に平面詳細図を自動作成する方法**



2 つ目は、平面図からではなく**平面詳細図から部屋、建具などを入力して柱・壁・仕上などを一括作成する（平面詳細図入力を有効にする）方法**



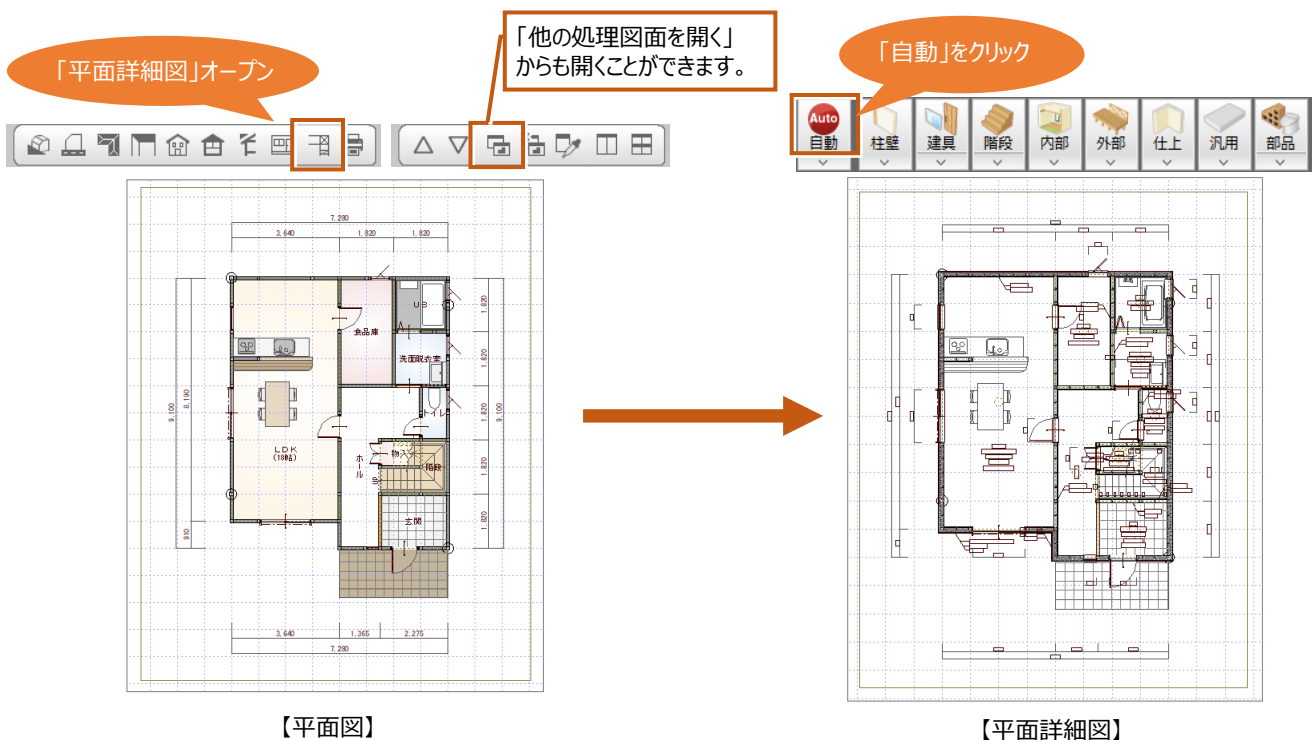
※ 平面詳細図でデータを入力していくと、平面図も作成されます。

ここでは、1 つ目の平面図のデータを元に平面詳細図を自動作成する方法を解説します。

2 つ目の方法については、ヘルプ「物件初期設定：その他」の「平面詳細図入力を有効にするには」を参照してください。

5-2 平面詳細図を自動作成しよう

平面図から平面詳細図を開いて自動作成します。



5-3 天井高や床の高さ、部屋の仕上を確認しよう

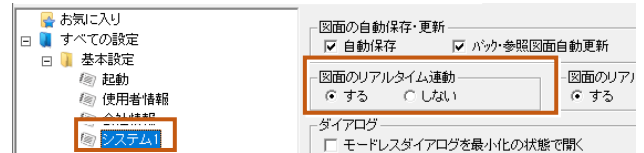
平面詳細図を自動作成したときに表示される天井高や床の高さは、平面図で入力している部屋の「天井高」、「床高増減」の値から連動します。内壁と床の仕上についても平面図で入力したデータが連動します。

● 平面図 ●

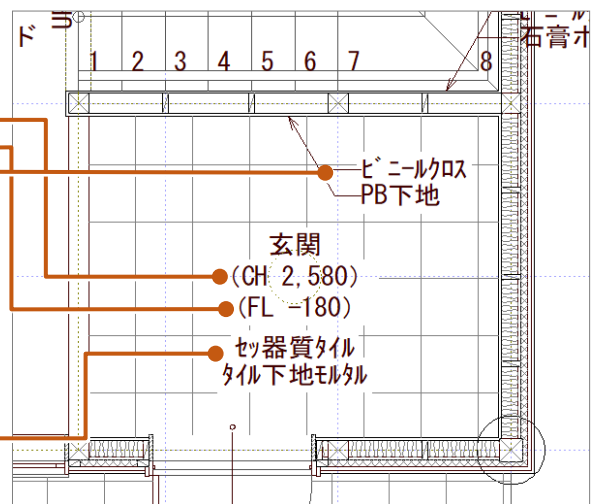
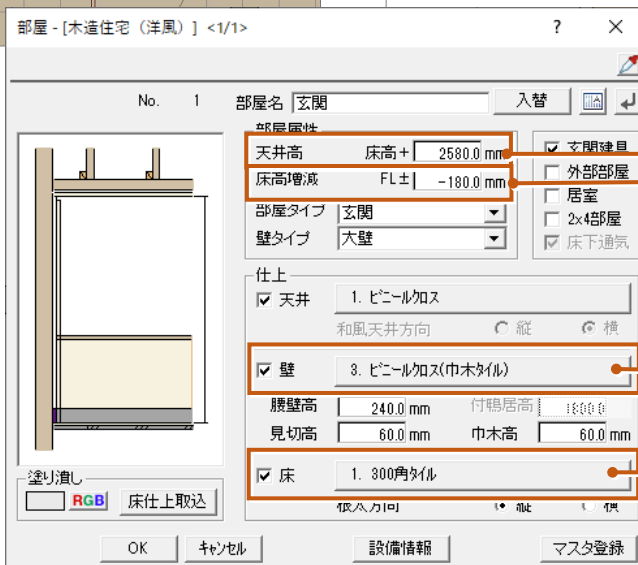


注意！リアルタイム連動について

「基本設定：システム 1」でリアルタイム連動が有効になっている場合、平面図も開いた状態で平面詳細図を編集すると、編集内容が平面図にも反映されます。特に、削除をする場合は平面図のデータも同時に削除されてしまうので、平面図を閉じて削除するなど、操作にご注意ください。



● 平面詳細図 ●



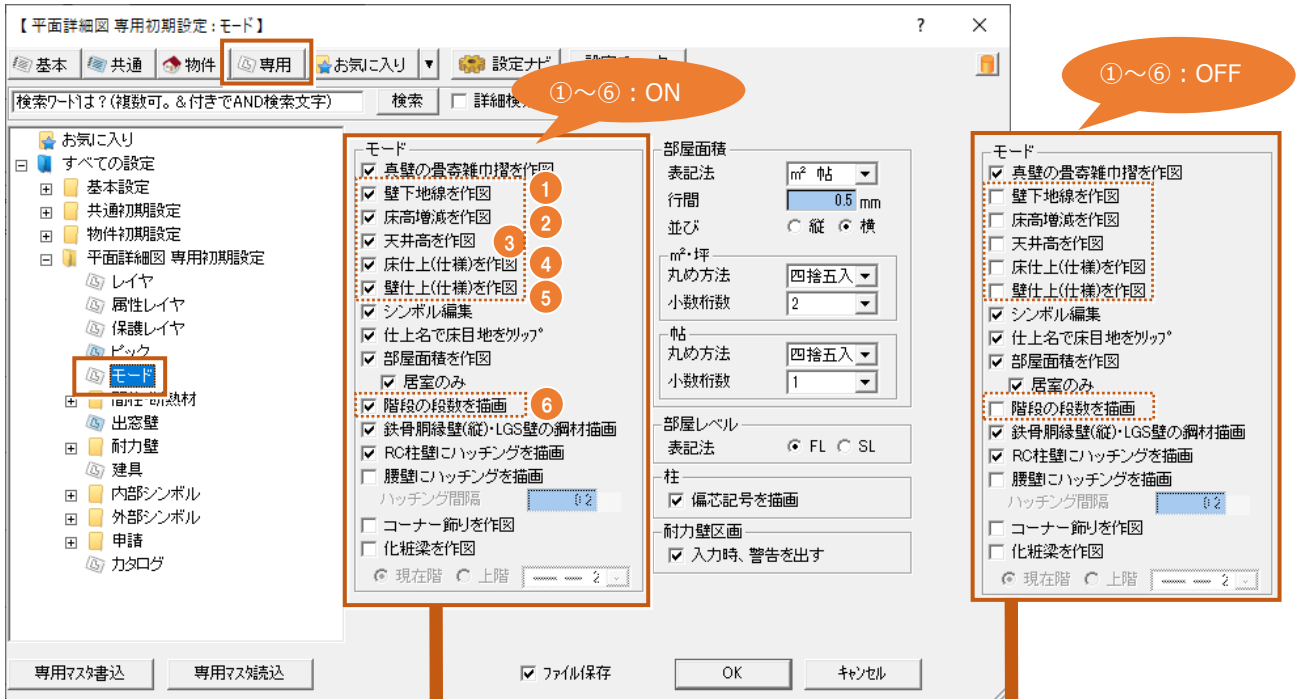
平面詳細図で表示される仕上名称は、「内壁仕上マスタ選択」「床仕上マスタ選択」ダイアログの仕上、下地に登録した名称が表示されます。部屋属性の仕上から「内壁仕上マスタ選択」「床仕上マスタ選択」ダイアログを表示して、仕上、下地の名称を確認できます。



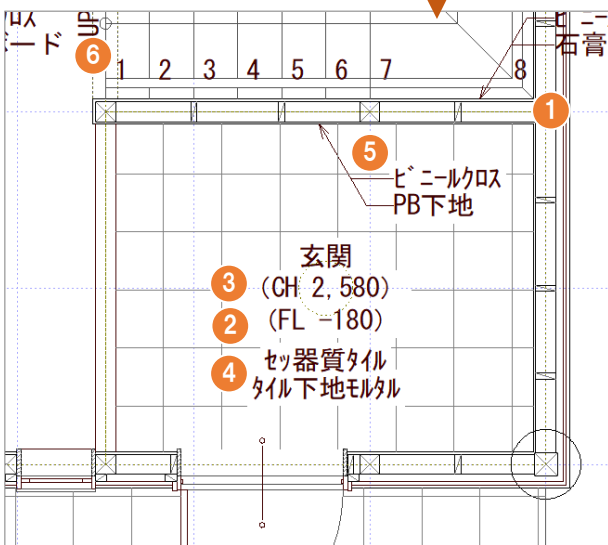
5-4 高さや仕上名称などの作図について確認しよう

「平面詳細図専用初期設定」の「モード」で作図に関する設定ができます。作図が不要な項目は OFF にして平面詳細図を自動作成します。

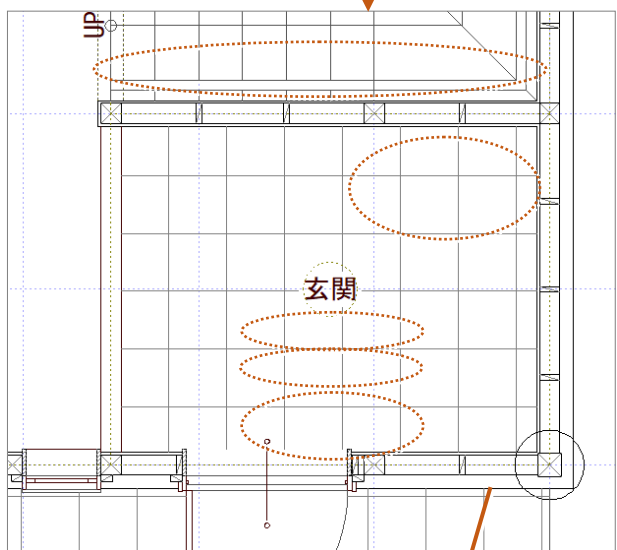
● 平面詳細図専用初期設定 ●



● 平面詳細図 ●



※ ここでは断熱材・外断熱の描画を OFF にしています。

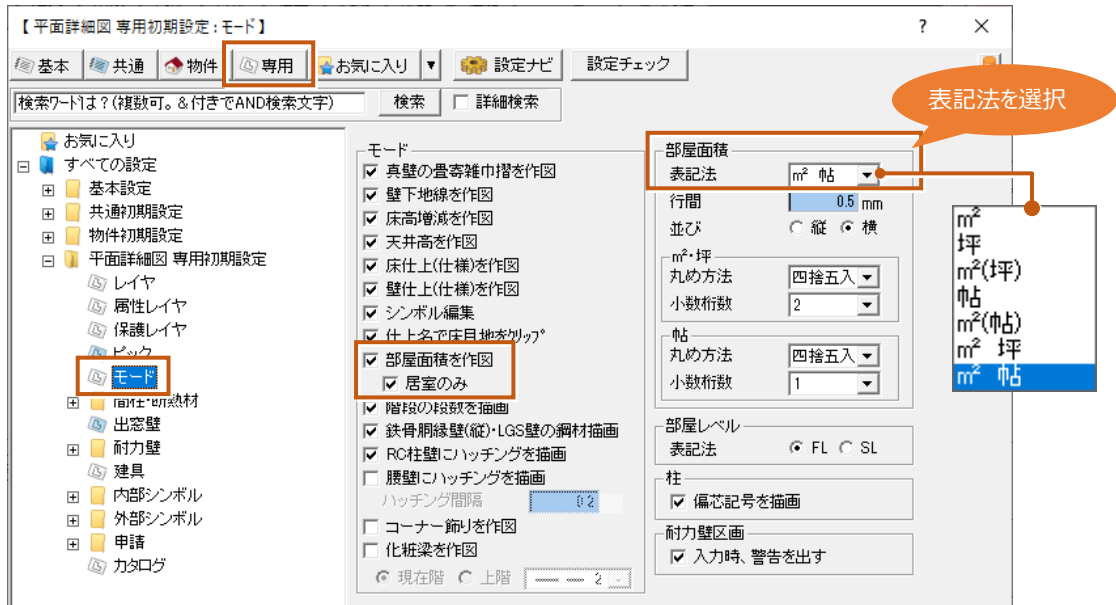


壁下地線：OFF

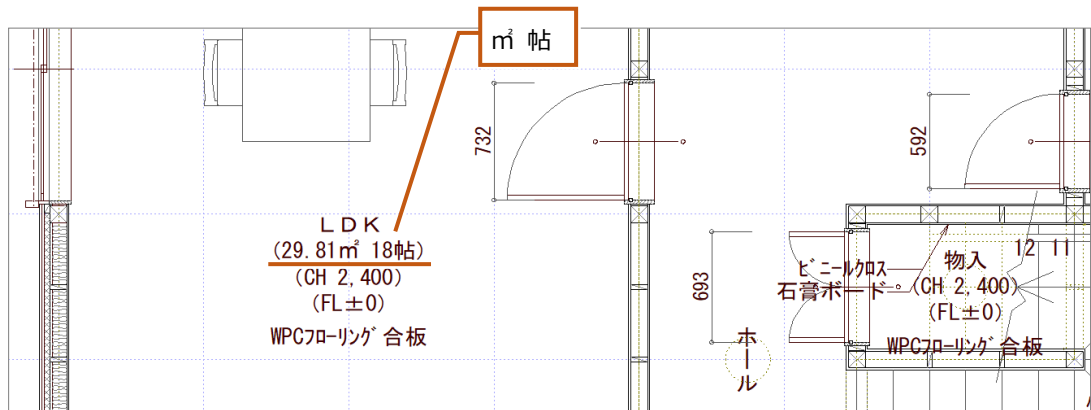
5-5 部屋面積の作図について設定を確認しよう

「平面詳細図専用初期設定」の「モード」で「部屋面積を作図」をONにして自動作成すると、**部屋面積**が作図されます。部屋面積の表記法については、同じく「平面詳細図専用初期設定」の「モード」の「**部屋面積**」で設定できます。

● 平面詳細図専用初期設定 ●



● 平面詳細図 ●

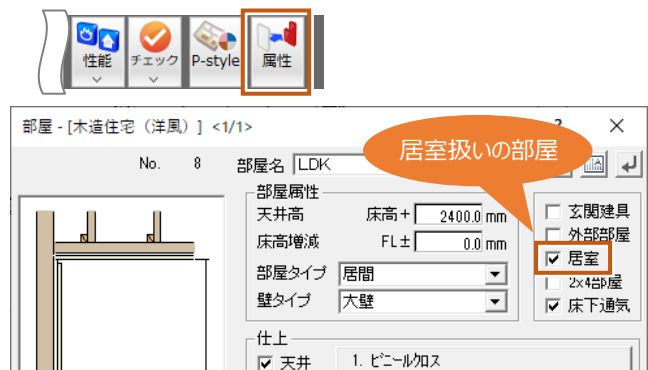


「部屋面積を作図」の「居室のみ」について

「居室のみ」の「居室」とは、部屋属性の「居室」がONの部屋をいいます。

「属性変更」をクリックして部屋を選択すると、部屋属性が表示され確認できます。

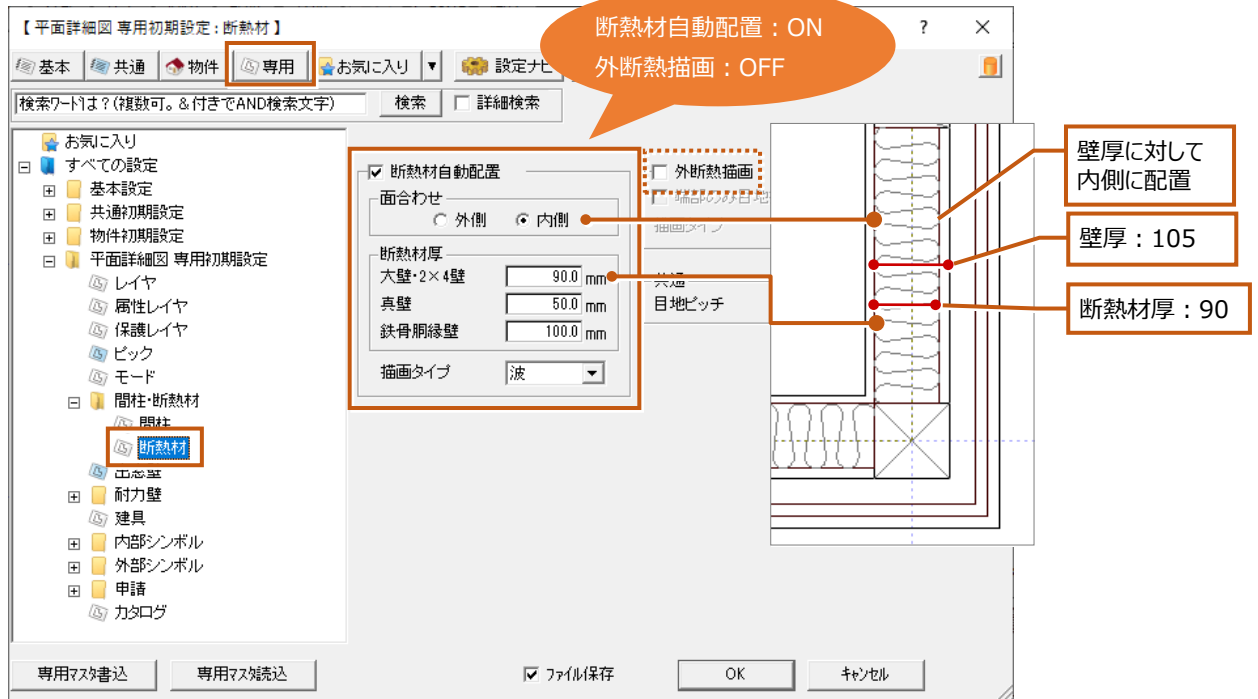
- 部屋面積を作図
 居室のみ : 「居室」がONの部屋のみ部屋面積を作図します。
- 部屋面積を作図
 居室のみ : 入力した部屋全てに部屋面積を作図します。
- 部屋面積を作図
 居室のみ : 入力した部屋全ての部屋面積を作図しません。



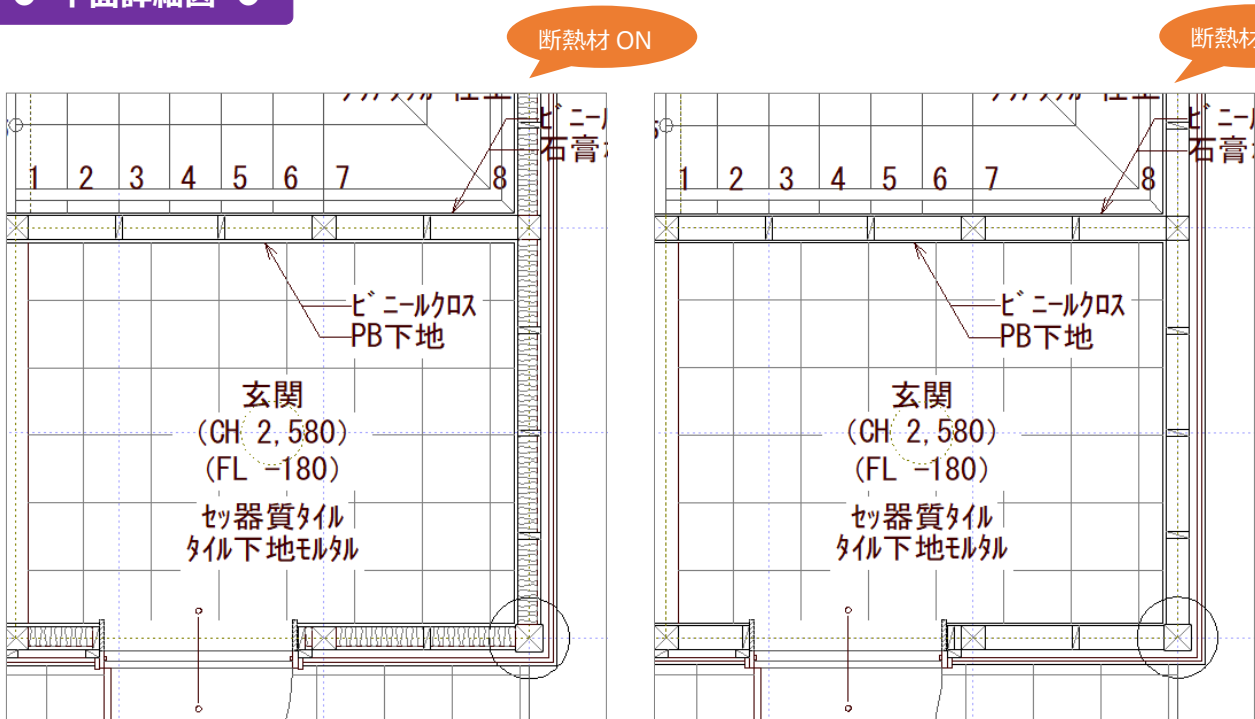
5-6 充填断熱の描画方法について確認しよう

充填断熱の描画は、「平面詳細図専用初期設定」の「間柱・断熱材－断熱材」にある「断熱材自動配置」で設定します。
 充填断熱を描画しない場合は、「断熱材自動配置」を OFF にして平面詳細図を自動作成します。

● 平面詳細図専用初期設定 ●



● 平面詳細図 ●



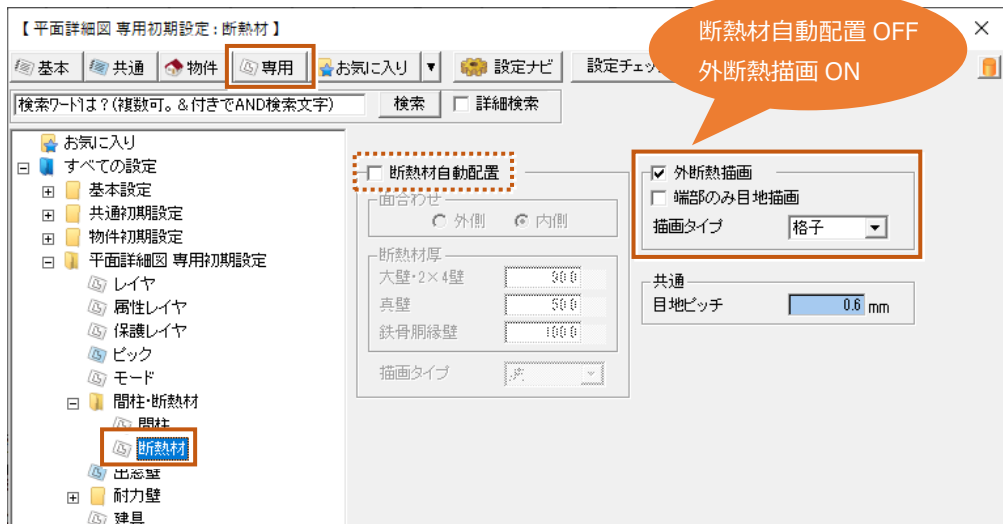
5-7 外断熱の描画方法について確認しよう

平面詳細図で外断熱を描画するには、平面図で入力した外壁仕上の外断熱を ON にします。

※ この操作については、平面詳細図を作成する前に「2-4 外断熱の厚さを設定しよう」(⇒ P.23 参照) で外壁の外断熱の設定を確認し、平面図で外壁仕上を作成してください。

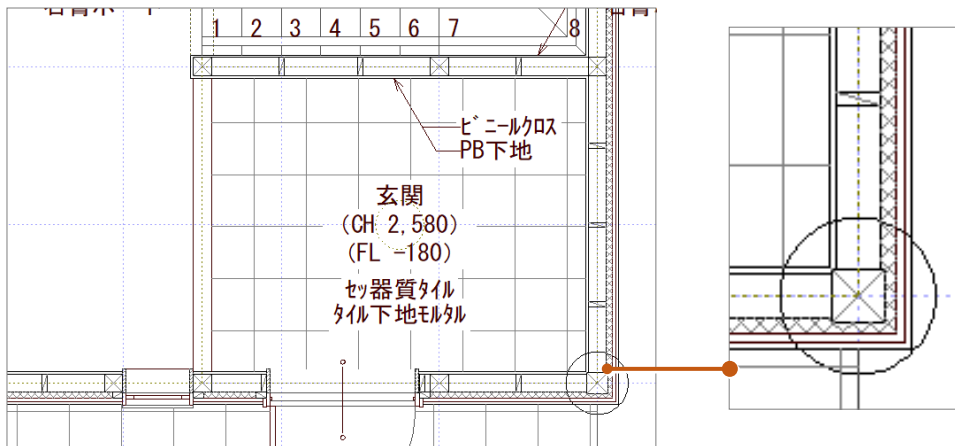
平面図で外壁仕上の外断熱の設定を確認後、平面詳細図の「平面詳細図専用初期設定」の「間柱・断熱材－断熱材」にある「外断熱描画」の設定を ON にします。描画しない場合は OFF にして平面詳細図を自動作成します。

● 平面詳細図専用初期設定 ●



● 平面詳細図 ●

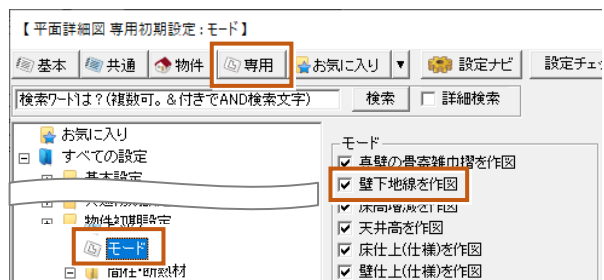
※ 断熱材の厚さや名称については、P.51 参照



注意！外断熱が描画されない

「平面詳細図専用初期設定：モード」の「壁下地線を作図」が ON になっているか確認してください。

外壁仕上で外断熱の設定があり、「平面詳細図専用初期設定：間柱・断熱材－断熱材」の「外断熱描画」が ON の場合でも、「壁下地線を作図」が OFF の場合は描画されません。ON にして平面詳細図を作成してください。



補足

外壁仕上が外断熱の設定になっているか確認する方法について

外壁仕上の属性変更ダイアログを表示して、外断熱の設定になっているか確認します。

「2-4 外断熱の厚さを設定しよう」(⇒ P.23 参照) で事前に外断熱を設定して平面図を作成した場合は、外壁仕上の属性を表示すると「外断熱」が ON、「厚さ」に「物件初期設定」の「外断熱」で設定した値がセットされます。

● 平面図 ●

「属性別選択」をクリック

「外壁仕上」を選んで「OK」

「属性変更」をクリック

「OK」をクリックすると、一面ずつ外壁仕上を確認できます。

外断熱工法の場合は ON

外壁の外断熱の厚さと名称について

外壁仕上を自動作成したときにセットされる外断熱の断熱材の「厚さ」は、「物件初期設定：外断熱」の「厚さ」で設定した値が連動します。名称についても同様です。

【物件初期設定：外断熱】

基本 共通 物件 専用 お気に入り 設定ナビ 設定チェック

検索ワードは？(複数可。&付きでAND検索文字) 検索 詳細検索

【仕上材】

外断熱工法 屋根

外壁 通気層

屋根 断熱材

外断熱材

厚さ 35.0 mm

名称 断熱材

屋根通気層

厚さ 25.0 mm

名称 通気層

屋根断熱材

厚さ 50.0 mm

名称 断熱材

【建具】

受け材

平面図で入力する外壁仕上の「外断熱」の「厚さ」に連動します。

「名称」は、平面詳細図で壁仕上(仕様)を作図する場合に、設定した名称が連動します。

サイディング
通気胴縁
断熱材

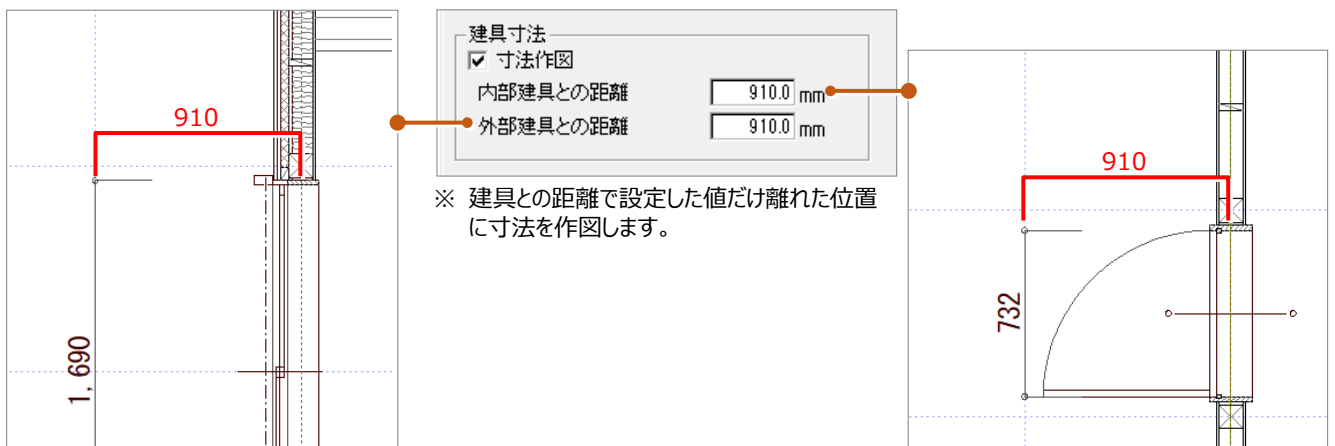
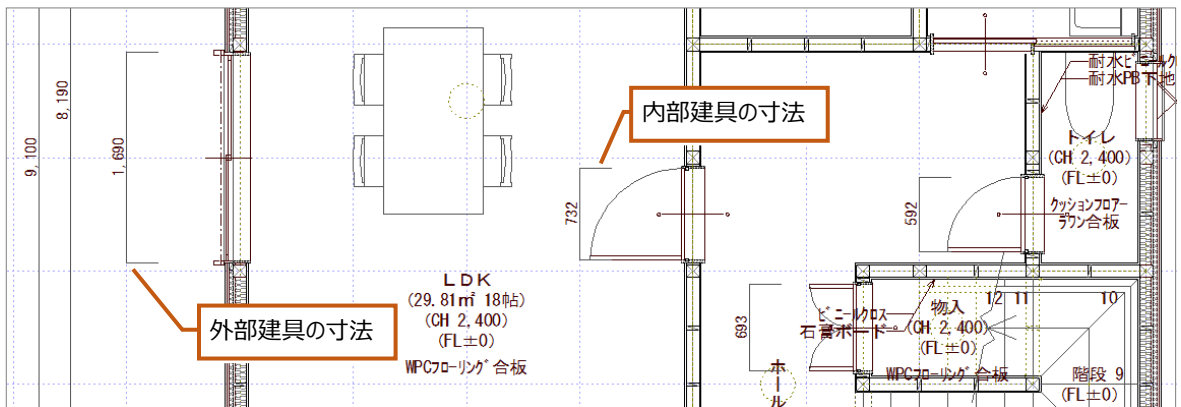
5-8 建具寸法の作図について設定を確認しよう

建物外部と内部の**建具幅の寸法**を作図するときは、「**平面詳細図専用初期設定**」の「**建具**」の「**建具寸法：寸法作図**」を ON にします。建具寸法の作図が不要な場合は OFF にして平面詳細図を再作成します。

● 平面詳細図専用初期設定 ●



● 平面詳細図 ●



5-9 建具記号の描画方法を確認しよう

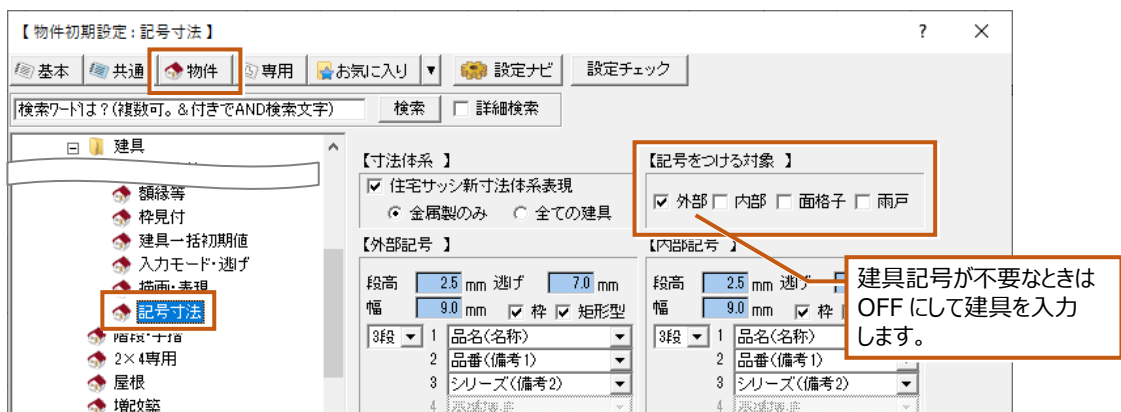
建具記号は、平面図で描画している場合は平面詳細図で自動作成をすると同時に建具記号も描画されます。平面図で建具記号を描画していない場合は、平面詳細図を自動作成しても描画されません。

ここでは、平面図では建具記号を描画せずに**平面詳細図のみ建具記号を描画する**方法について解説します。



平面図で建具記号を描画する場合

「物件初期設定：建具－記号寸法」の【記号をつける対象】で「外部」が ON の場合は、外部建具の入力と同時に建具記号が描画されます。



平面詳細図のみ建具記号を描画する場合

平面図は閉じて平面詳細図のみ開いた状態で操作します。これはリアルタイム連動が有効になっている場合に、平面図も開いた状態で平面詳細図に建具記号を描画すると、平面図にも建具記号が描画されてしまうためです（⇒ リアルタイム連動については P.46 参照）。平面図を閉じたら建具記号を描画したい建具を選んで**建具属性**の「**記号**」を ON にします。ここでは、建具の種別ごとに一括で建具記号を描画する方法を解説します。

● 平面詳細図 ●

「属性別選択」をクリック

「属性変更」をクリック

「建具（金属窓）を選んで「OK」

「記号」を ON にして「一括」

金属窓に建具記号が一括で描画

「記号 (ON/OFF)」が選択されている状態で「OK」

「属性変更」で建具を選んで、個別に建具記号を描画することもできます。

「属性変更」

「内障子」

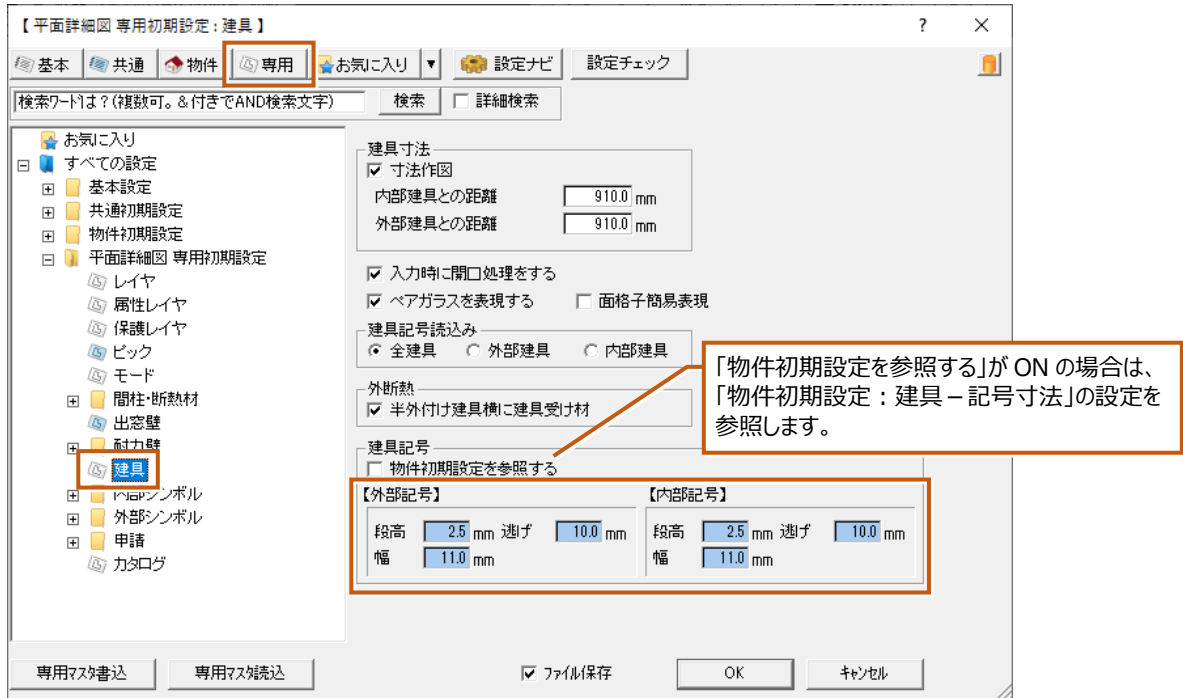
「記号」

「OK」

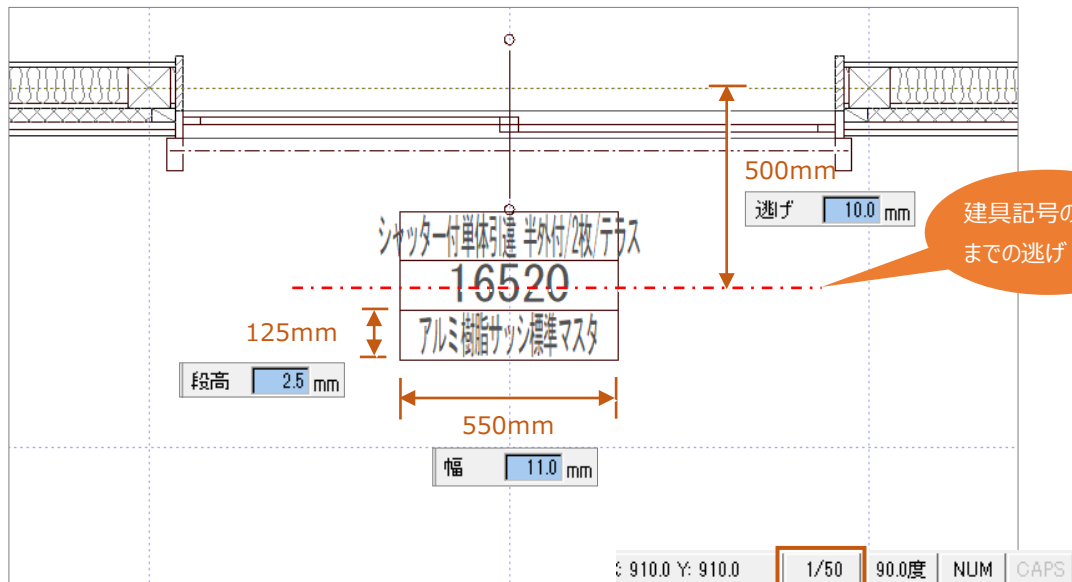
建具記号のサイズについて

建具記号のサイズは、「平面詳細図専用初期設定」の「建具」で外部・内部記号の各値を設定して調整できます。

● 平面詳細図専用初期設定 ●



● 平面詳細図 ●



背景が水色の項目について 幅 11.0 mm

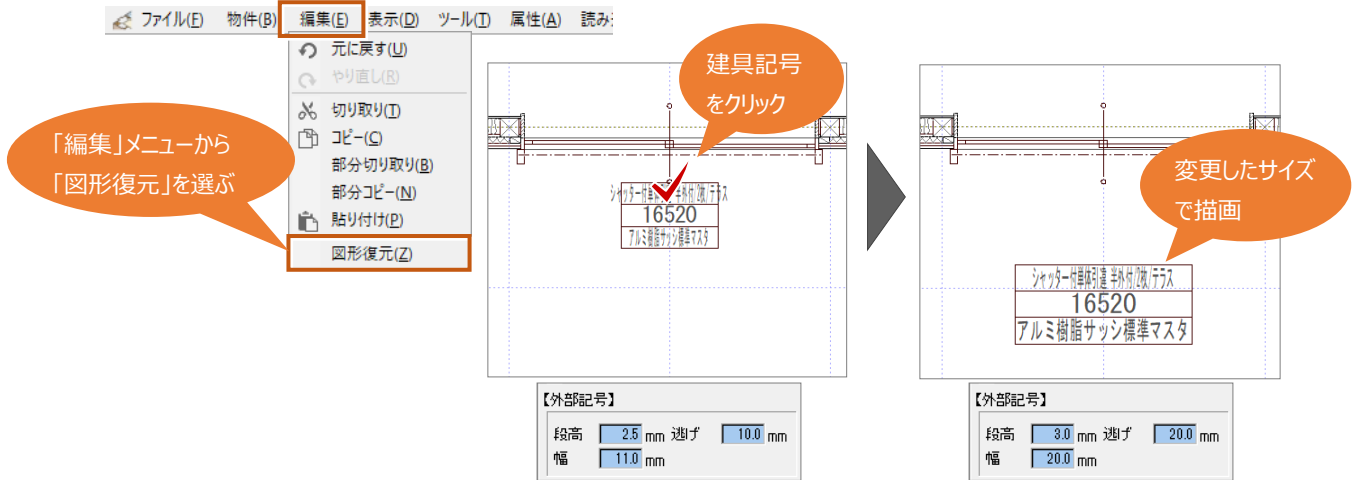
項目によっては、印刷時の寸法を設定する場合があります。この項目には、背景が**水色**で表示されています。

例えば、CAD のスケールが「1/50」のとき、印刷時の実寸「11.0mm」を設定すると、CAD では 550mm (11mm×50) の寸法になり、印刷すると「11mm」の寸法になります。

補足

設定で建具記号のサイズを変更した場合

設定を変更した場合は、平面詳細図をもう一度自動作成すると図面に反映されますが、ここでは自動作成はせずに「図形復元」を使って図面に反映する方法を紹介します。



5-10 自社用マスタの登録方法を確認しよう

ZERO では、プログラムごとに「専用初期設定」があります。設定を変更し自社用マスタとして登録可能ですが、その手順は各プログラムの「専用初期設定」で同じです。手順などは、以下の参照先にてご確認ください。

また、「物件初期設定」についても変更した設定内容を自社用マスタとして物件マスタ登録する場合は、以下の参照先にてご確認ください。

自社の図面専用のマスタとして登録する

専用マスタの登録手順については、「立面図」の P.44 を参照してください。

自社のマスタとして物件マスタ登録する

物件マスタの登録手順については、「立面図」の P.43 を参照してください。

マスタ作成に関する詳しい操作はこちらでチェック！



自社マスタ作成編 「自社の物件マスタ、専用マスタの作成」P.16～P.22参照

https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/ZERO/Ver9/guide/manual/81_master.html

6 矩計図

6-1 矩計図を自動作成しよう

矩計図を開いて自動作成します。ここでは、平面図から矩計図を開いて作成します。

「他の処理図面を開く」

「「矩計図」オープン」からも開くことができます。

ダブルクリック

1面を選んでOK

「切断」をクリック

1階を選んでOK

【平面図】

図面選択

図面選択 - <矩計図>

図面選択 - <平面図>

図面一覧

図面一覧

切断

Auto

基礎

木造

2×4

S/R/C

屋根

矩計

10

斜線

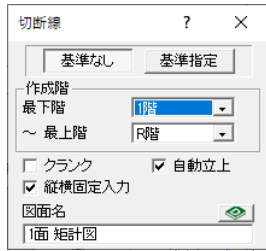
仕上

建具

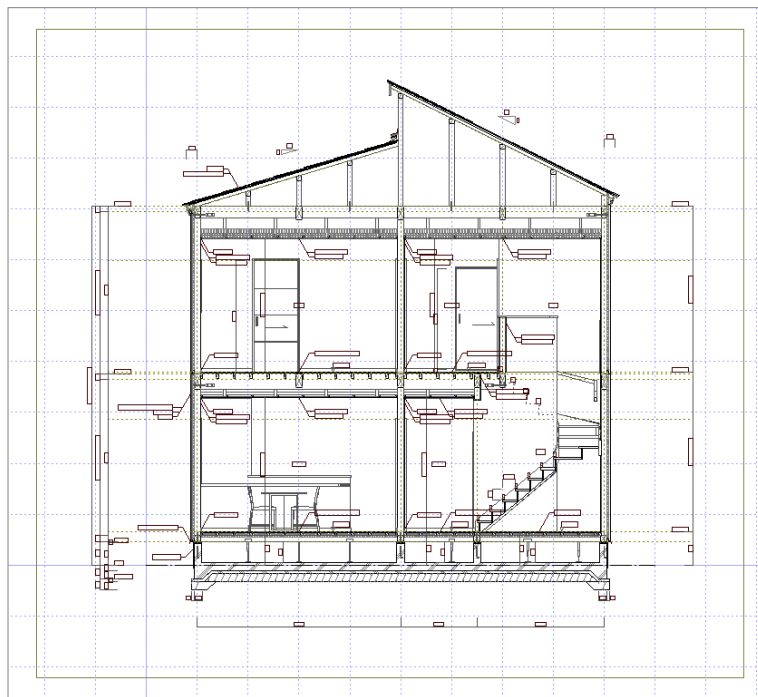
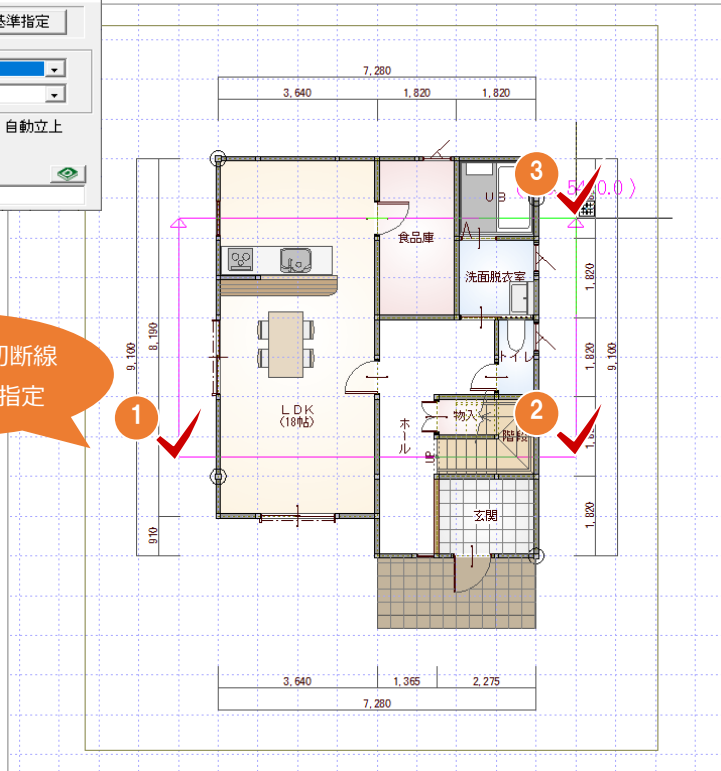
仕上

内部

編集



①～③の順に切断線の位置・方向を指定



【矩計図】

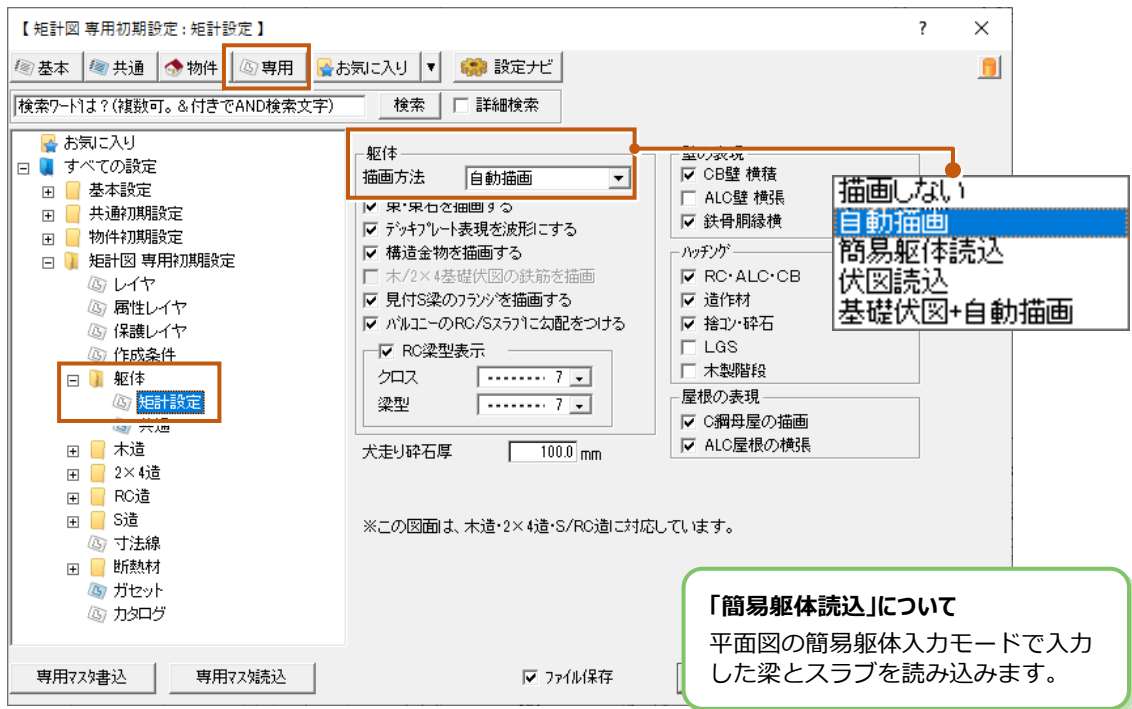
6-2 矩計図で躯体の描画方法を確認しよう

矩計図の躯体の描画方法には大きく2通りあります。

1つ目は伏図のデータは使用せず、**基本図面から矩計図を作成する**方法、2つ目は基礎伏図や床小屋伏図を作成し、**伏図のデータを読み込んで矩計図を作成する**方法です。

どちらの方法で躯体を描画するか最初に設定する必要があります。「**矩計図専用初期設定**」の「**躯体－矩計設定**」の「**描画方法**」で設定します。

● 矩計図専用初期設定 ●



伏図のデータは使用しないで**基本図面から矩計図を作成する**場合は、描画方法を「**自動描画**」にします。

- 躯体は「専用初期設定」の「木造」「2×4造」「RC造」「S造」で設定した条件で描画します。⇒ P.63 参照



基礎伏図や床小屋伏図など伏図のデータを読み込んで作成する場合は、描画方法を「**伏図読込**」や「**基礎伏図+自動描画**」にします。

- 構造図に入力した躯体を読み込んで描画します。



- 基礎部分のみ基礎伏図から読み込み、上部躯体は「自動描画」と同じ条件で描画します。



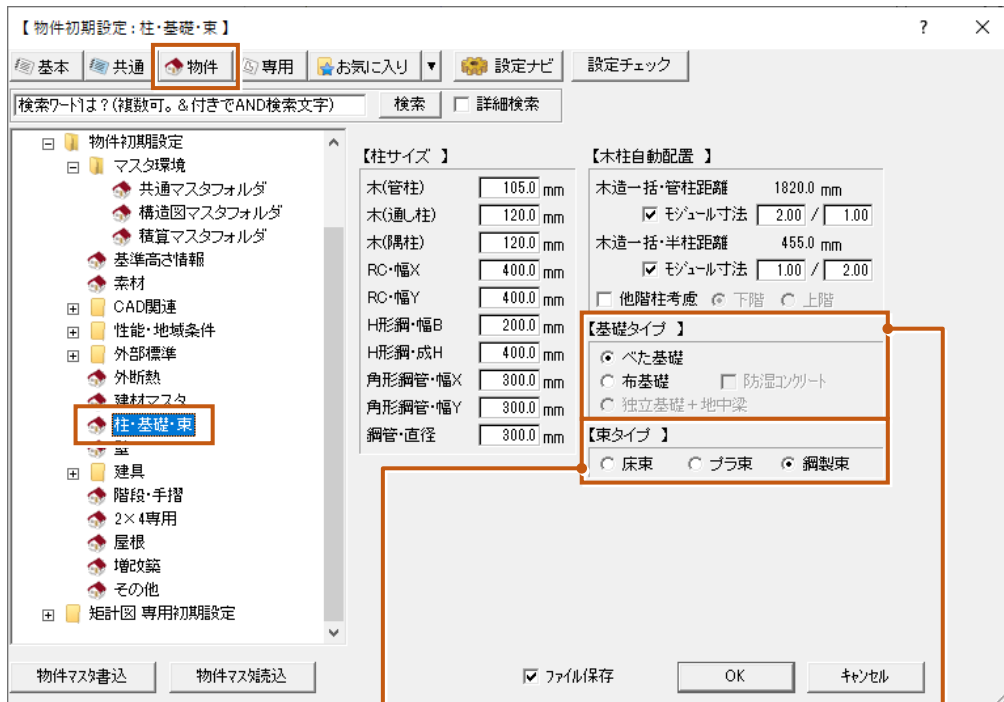
ここでは、伏図のデータは使用しないで**基本図面から矩計図を作成する**方法で解説します。

6-3 基礎と束のタイプを確認しよう（自動描画）

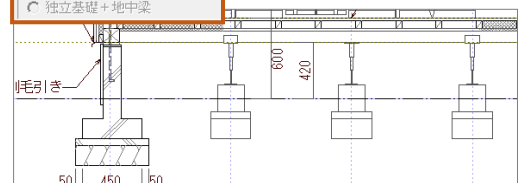
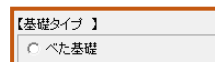
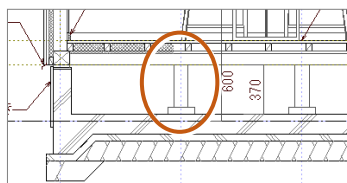
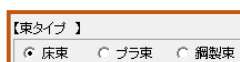
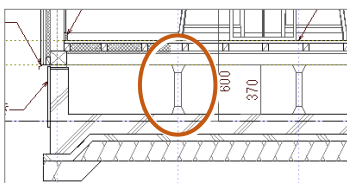
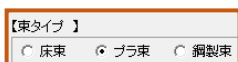
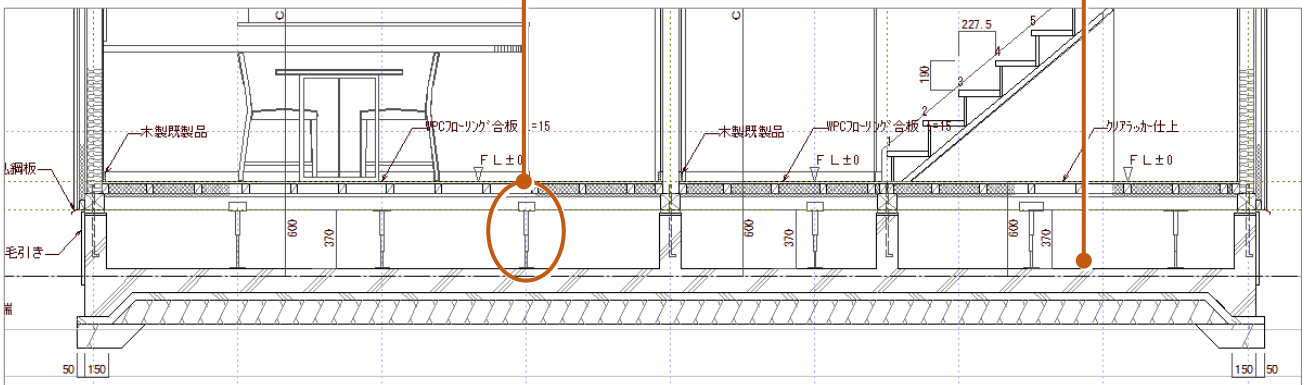
躯体の描画方法が「自動描画」の場合、基礎については「物件初期設定」の「柱・基礎・束」の「基礎タイプ」が連動します。束は「束タイプ」で設定します。

なお、基礎や束の形状については「矩計図専用初期設定」で設定します。⇒ 基礎の形状 P.63、束の形状 P.69 参照

● 物件初期設定 ●



● 矩計図 ●





補足


描画方法が「伏図読込」「基礎伏図+自動描画」の場合の基礎と束のタイプについて

躯体の描画方法を「伏図読込」、「基礎伏図+自動描画」にした場合、基礎と束の連動元は以下になります。基礎タイプや束タイプに変更があった場合は、連動元となる図面や設定をご確認ください。その後、矩計図を再作成してください。

躯体
描画方法 伏図読込

- 基礎タイプ・・・ 基礎伏図で入力している基礎を読み込んで描画
- 束タイプ・・・ 床伏図で入力している束を読み込んで描画
※ 床伏図に束を入力していない場合は矩計図に描画されません。

躯体
描画方法 基礎伏図+自動描画

- 基礎タイプ・・・ 基礎伏図で入力している基礎を読み込んで描画
- 束タイプ・・・「物件初期設定」の「柱・基礎・束」の「束タイプ」で描画

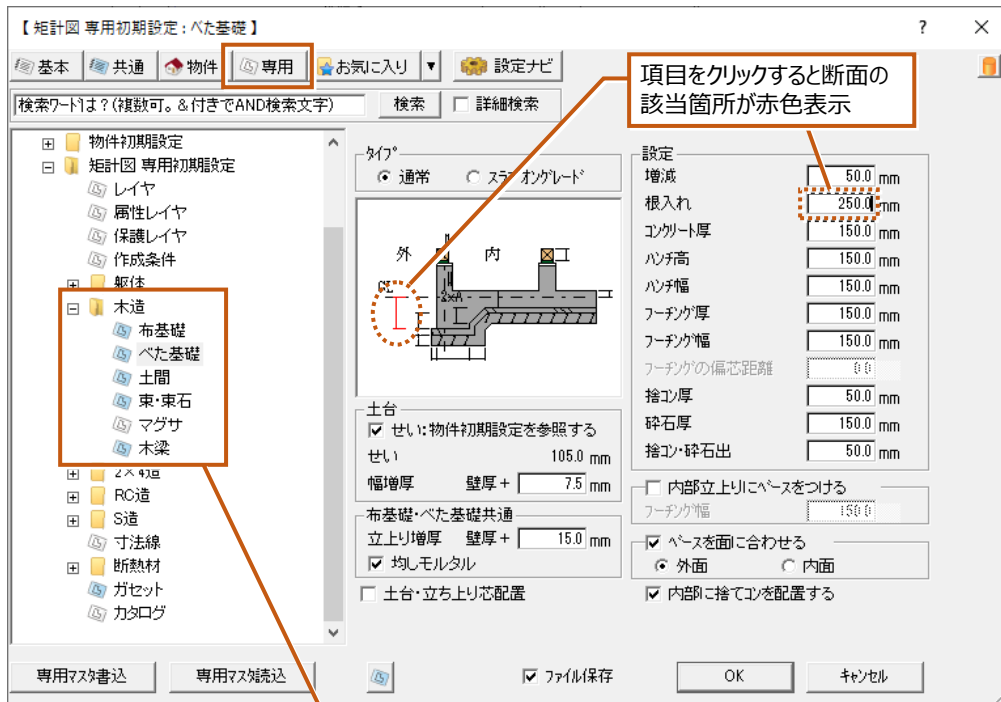
6-4 基礎の形状を確認しよう（自動描画）

躯体の描画方法が「自動描画」の場合は、「矩計図専用初期設定」の「木造」「2×4造」「RC造」「S造」で設定した条件で基礎を描画します。

「物件初期設定」の「基準高さ情報」で設定した1階の「構造」や、同じく「物件初期設定」の「柱・基礎・束」で設定した「基礎タイプ」から、「矩計図専用初期設定」で該当する構造のフォルダより基礎のタイプを選んで基礎の形状を確認しましょう。

ここでは、「矩計図専用初期設定」の「木造－べた基礎」を選んで、べた基礎の形状を確認します。設定画面の「設定」の値をクリックすると断面で該当箇所が赤く表示されるので、確認しながら各項目の値を設定していきます。

● 矩計図専用初期設定 ●



「物件初期設定：柱・基礎・束」の「基礎タイプ」で設定した基礎のタイプを選んで基礎形状を確認します。⇒ P.61 参照

「矩計図専用初期設定」の「木造」「2×4」「RC造」「S造」のフォルダについて

「物件初期設定：基準高さ情報」で設定した1階の構造と同じ構造の専用初期設定のフォルダの設定が有効になります。

例えば、1階の構造が「木」の場合は、「矩計図専用初期設定」の「木造」フォルダ内の項目で設定を行います。

※ プログラムを購入していない構造については、設定しても描画されませんのでご注意ください。

階	軒高	床厚	階高	窓高	構造
RF		30.0		1000.0	木
2F	3000.0	30.0	2970.0	2000.0	木
1F	3000.0	75.0	2850.0	2000.0	木

【物件初期設定：基準高さ情報】



【矩計図専用初期設定】

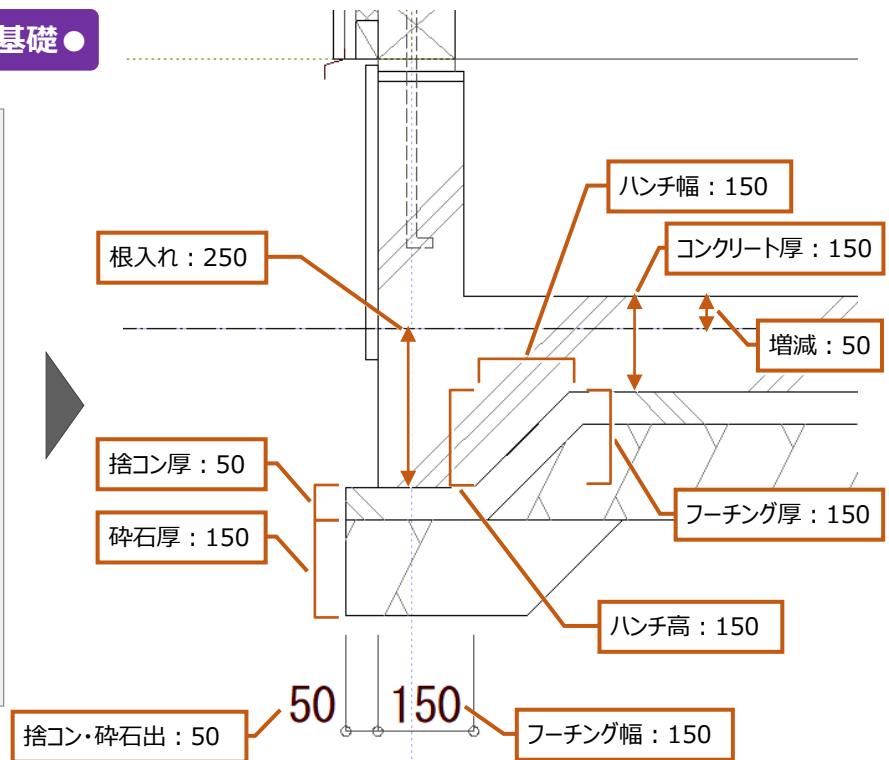
基礎の形状設定について：例

「矩計図専用初期設定」の基礎の設定で以下のような値を設定して、矩計図を作成したときのべた基礎の作図例です。

※ 「設定」の「ベースを面に合わせる」が ON の場合は、「フーチングの偏心距離」を設定することはできません。

● 矩計図専用初期設定：べた基礎 ●

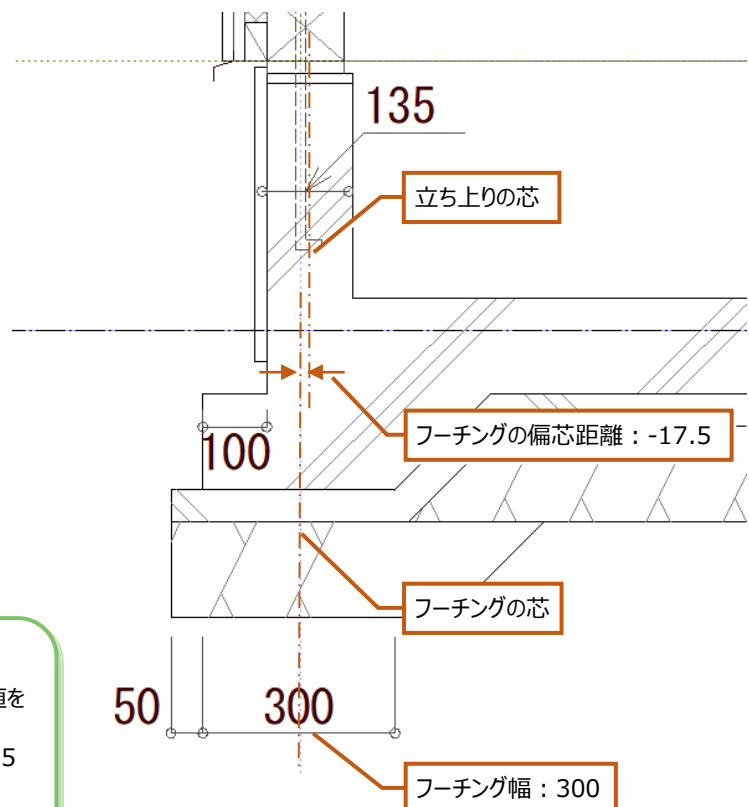
設定	
増減	50.0 mm
根入れ	250.0 mm
コンクリート厚	150.0 mm
ハンチ高	150.0 mm
ハンチ幅	150.0 mm
フーチング厚	150.0 mm
フーチング幅	150.0 mm
フーチングの偏心距離	0.0 mm
捨コン厚	50.0 mm
碎石厚	150.0 mm
捨コン・碎石出	50.0 mm
<input type="checkbox"/> 内部立上りにベースをつける	
フーチング幅	150.0 mm
<input checked="" type="checkbox"/> ベースを面に合わせる	
● 外面 ○ 内面	
<input checked="" type="checkbox"/> 内部に捨てコンを配置する	



「ベースを面に合わせる」を OFF にして、「フーチングの偏心距離」を設定した場合のべた基礎の作図例です。

ここでは、基礎の立ち上り幅を「135」、フーチング幅を「300」、フーチングの偏心距離を「-17.5」に設定しています。

設定	
増減	50.0 mm
根入れ	250.0 mm
コンクリート厚	150.0 mm
ハンチ高	150.0 mm
ハンチ幅	150.0 mm
フーチング厚	150.0 mm
フーチング幅	300.0 mm
フーチングの偏心距離	-17.5 mm
捨コン厚	50.0 mm
碎石厚	150.0 mm
捨コン・碎石出	50.0 mm
<input type="checkbox"/> 内部立上りにベースをつける	
フーチング幅	150.0 mm
<input type="checkbox"/> ベースを面に合わせる	
● 外面 ○ 内面	
<input checked="" type="checkbox"/> 内部に捨てコンを配置する	



「フーチングの偏心距離」の値について

フーチング幅/2 から立ち上り幅/2 を引いた値より大きい値を設定しても描画に変化はありません。

例： $300/2 = 150$ 、 $135/2 = 67.5$ 、 $150 - 67.5 = 82.5$

82.5 より大きい値を設定しても描画に変化はありません。

また、プラスとマイナスで値を設定できます。これによってフーチングの芯より左右どちらの方向にずらすかを設定できます。

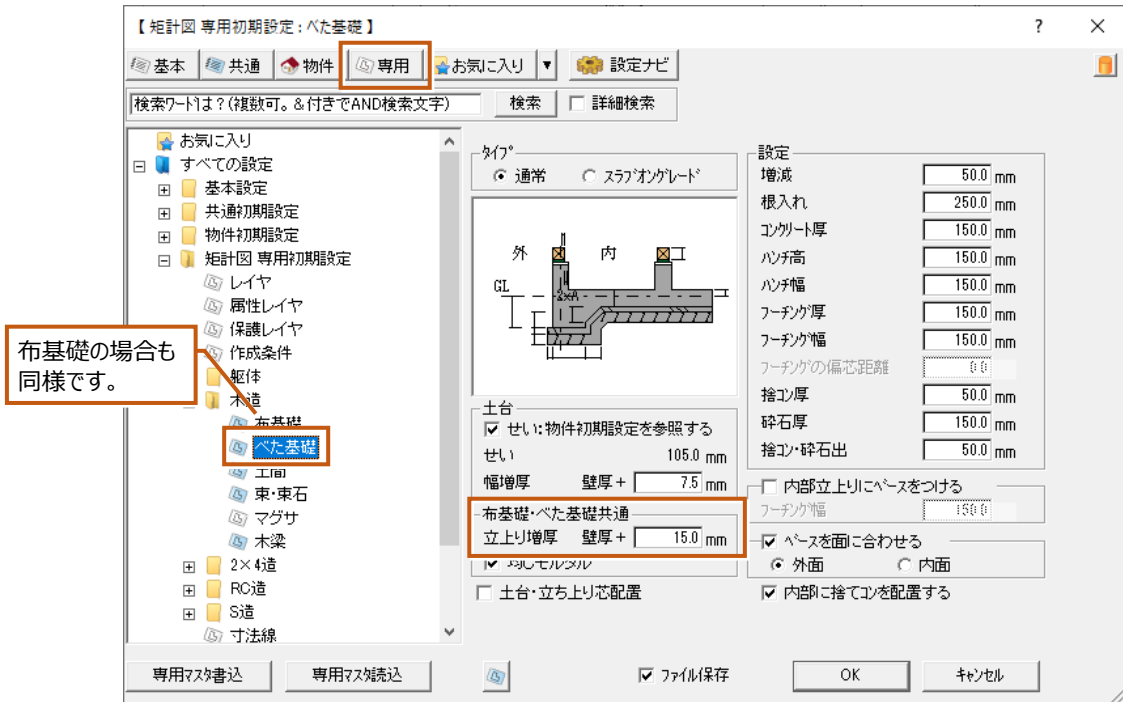
基礎の立ち上がり幅について

基礎の立ち上がり幅は、「壁厚」と「立ち増厚」で設定する値から寸法が決まります。

「壁厚」は平面図で入力している壁を属性変更したときに表示される「壁厚」です。切断線の位置にある壁厚をご確認ください。そして、値については「設定値×2」をプラスします。

以下は、壁厚を「105」、値を「15」で設定して矩計図を自動作成した場合の基礎の立ち上がり幅です。

● 矩計図専用初期設定 ●

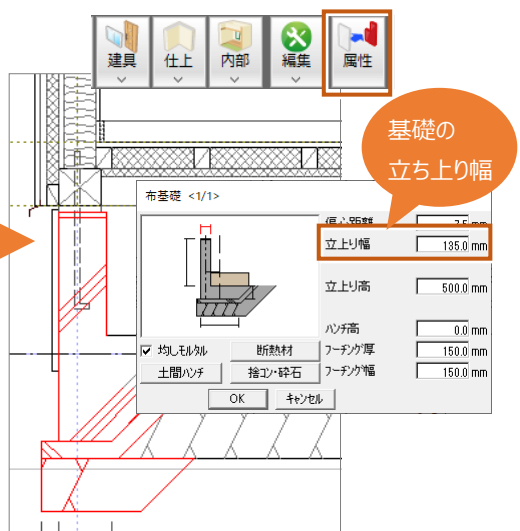


● 平面図 ●



105.0 mm + 15.0 mm

● 矩計図 ●



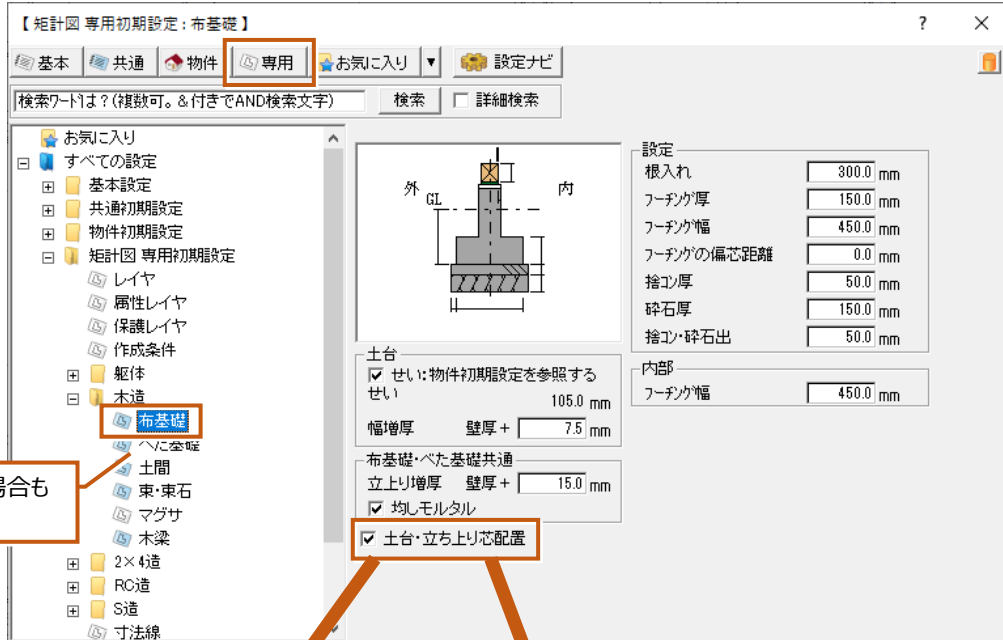
【例】
壁厚「105」で基礎の立ち上がり幅を「150」にしたい場合は、設定値を「22.5」にします。

基礎の立ち上りの芯振りについて

基礎の立ち上りの芯振りは、「土台・立ち上り芯配置」で設定します。

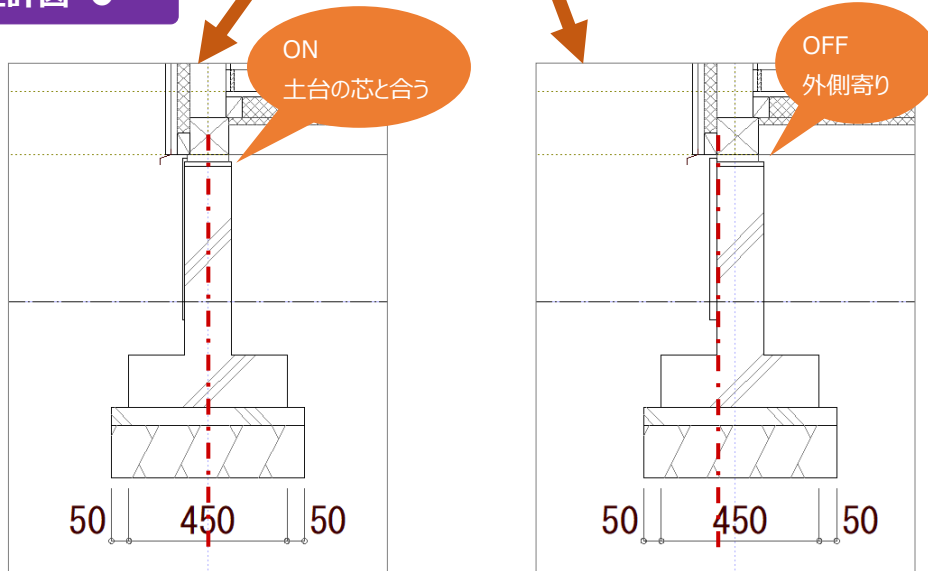
土台の芯と立ち上りの芯を合わせるときは「土台・立ち上り芯配置」を ON にします。OFF のときは外側寄りになります。ここでは布基礎を例に ON・OFF の描画の違いをご確認ください。

● 矩計図専用初期設定 ●

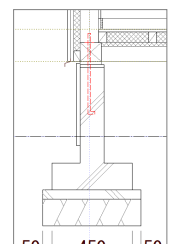
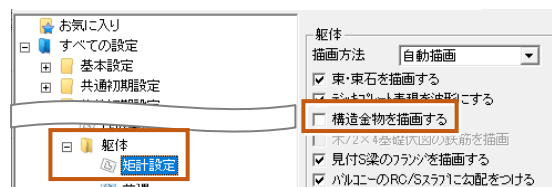


べた基礎の場合も同様です。

● 矩計図 ●



※ ここでは、「矩計図専用初期設定：躯体－矩計設定」の「構造金物を描画する」を OFF で作成しています。



【ON の場合】

土台のせいについて

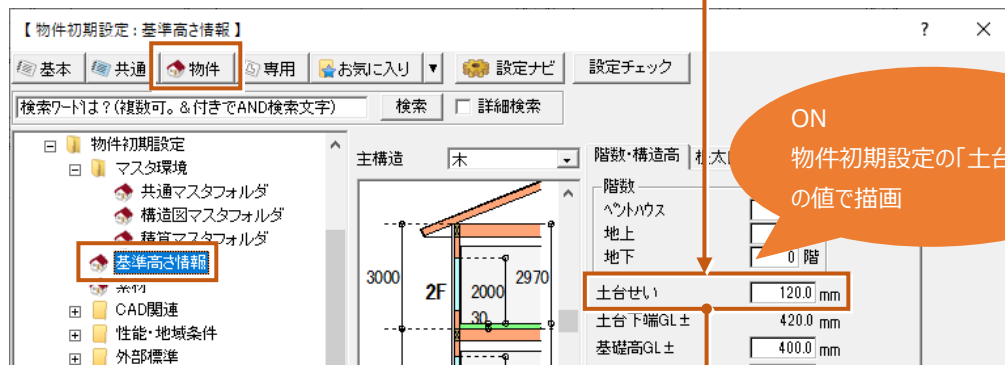
土台のせいは、「物件初期設定を参照する」がONの場合は、「物件初期設定」の「基準高さ情報」で設定した「土台せい」で描画します。OFFにした場合は、項目の下にある「せい」の値で描画します。

ここでは、「物件初期設定」の「土台せい」を「120」に設定し、「矩計図専用初期設定」の「せい」は「105」で設定した場合を例にONとOFFの描画の違いをご確認ください。

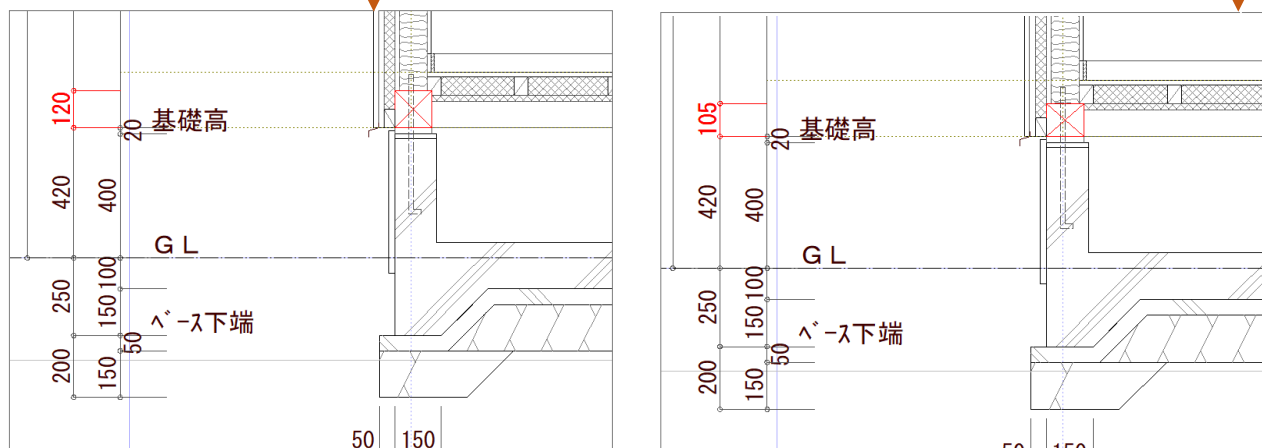
● 矩計図専用初期設定 ●



● 物件初期設定 ●



● 矩計図 ●



土台の幅について

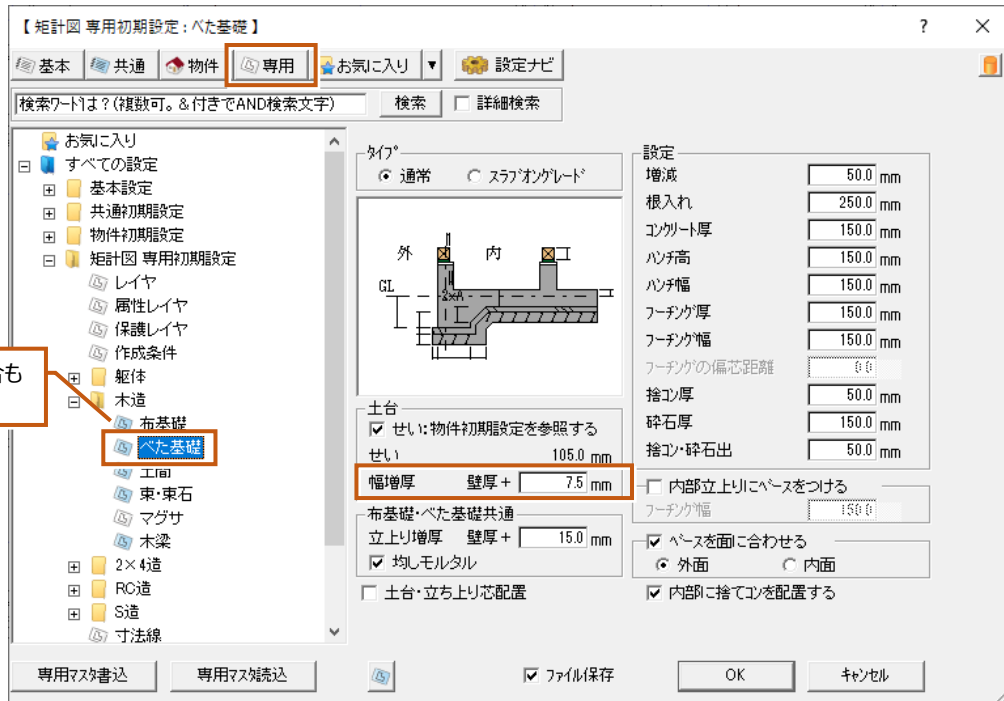
土台の幅は、「壁厚」と「幅増厚」で設定する値から寸法が決まります。

「壁厚」は平面図で入力している壁を属性変更したときに表示される「壁厚」です。切断線の位置にある壁厚をご確認ください。

そして、「値」については「設定値×2」をプラスします。

以下は、壁厚を「105」、値を「7.5」で設定して矩計図を自動作成した場合の土台の幅です。

● 矩計図専用初期設定 ●



布基礎の場合も同様です。

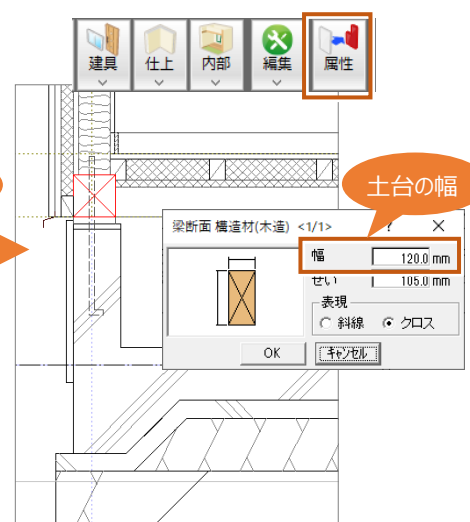
● 平面図 ●



平面図の壁厚

設定値の×2

● 矩計図 ●



土台の幅

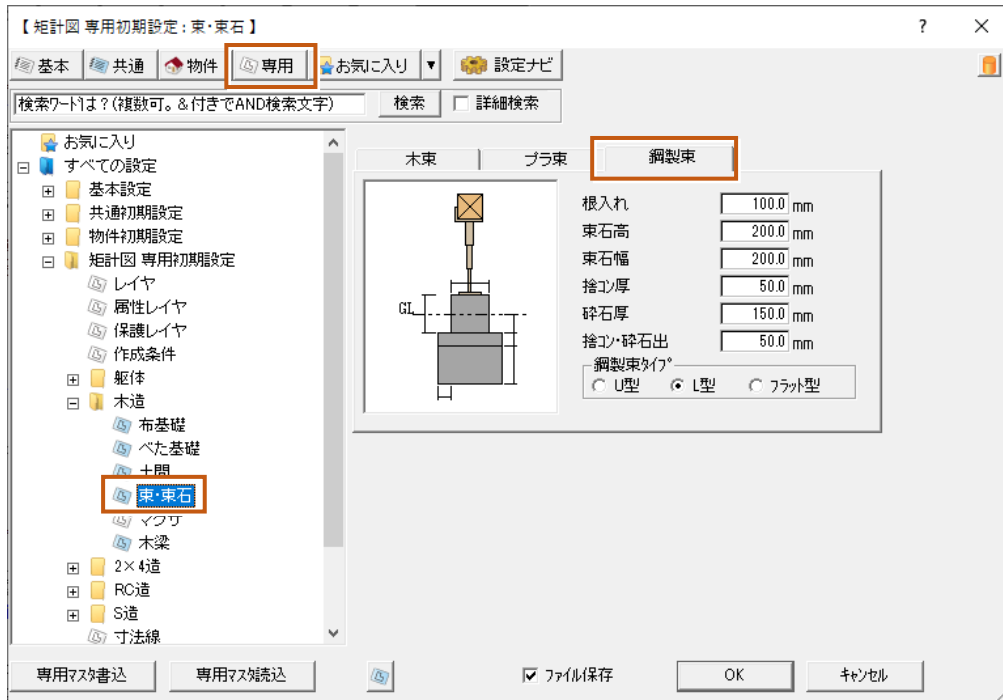
【例】
壁厚「105」で、土台の幅「105」にする場合は、設定値を「0」にします。

6-5 束の形状を確認しよう（自動描画）

躯体の描画方法が「自動描画」の場合は、「矩計図専用初期設定」の「木造」「2×4造」「RC造」「S造」で設定した条件で束を描画します。

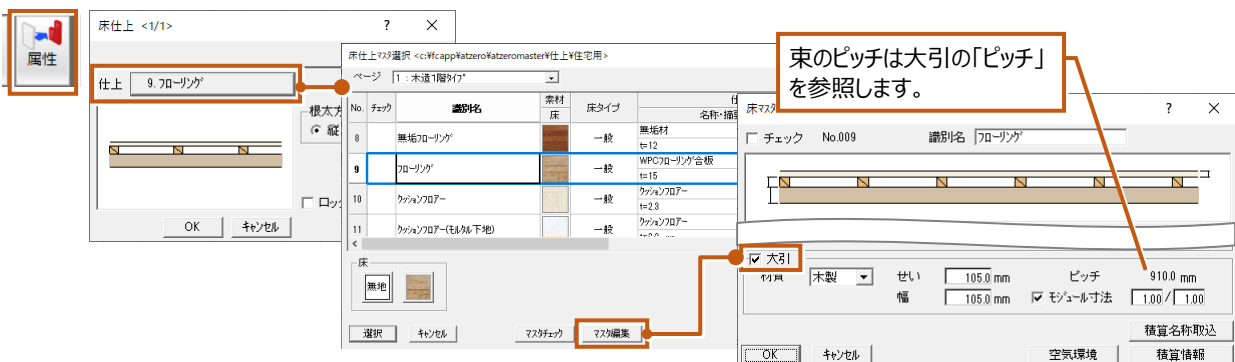
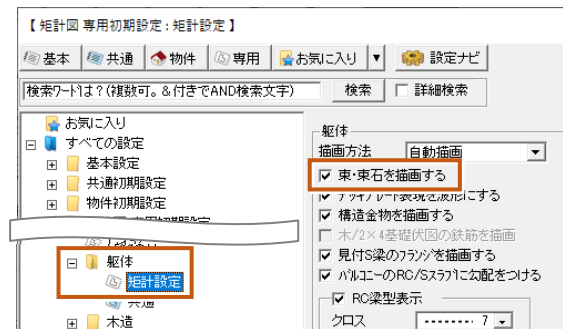
「物件初期設定」の「基準高さ情報」で設定した1階の「構造」や、同じく「物件初期設定」の「柱・基礎・束」で設定した「束タイプ」から、「矩計図専用初期設定」で該当する構造のフォルダより「束・束石」を選んで束の形状を確認しましょう。

● 矩計図専用初期設定 ●



注意！束が描画されない（描画方法：自動描画の場合）

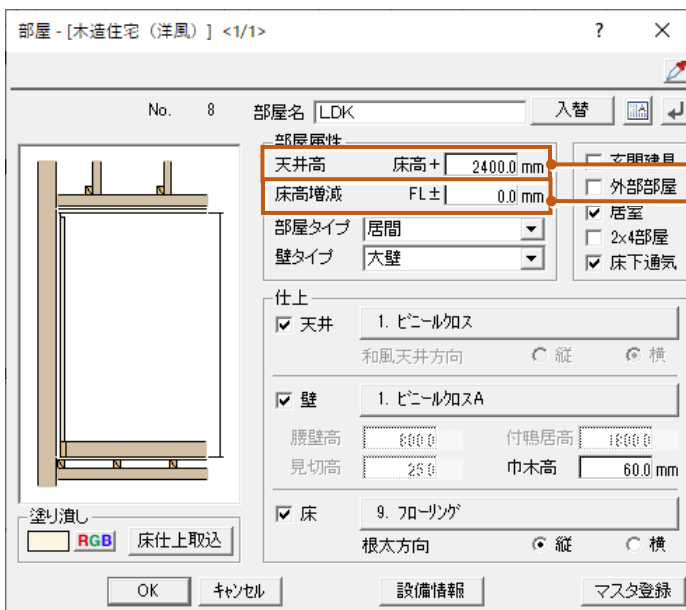
- 「矩計図専用初期設定：躯体－矩計設定」の「束・束石を描画する」がONになっているか確認してください。
- 床仕上マスタの「大引」の設定を確認してください。
OFFの場合は束が描画されません。
床仕上の属性で「仕上」をクリックして、「マスタ編集」から「大引」のON・OFFを確認できます。



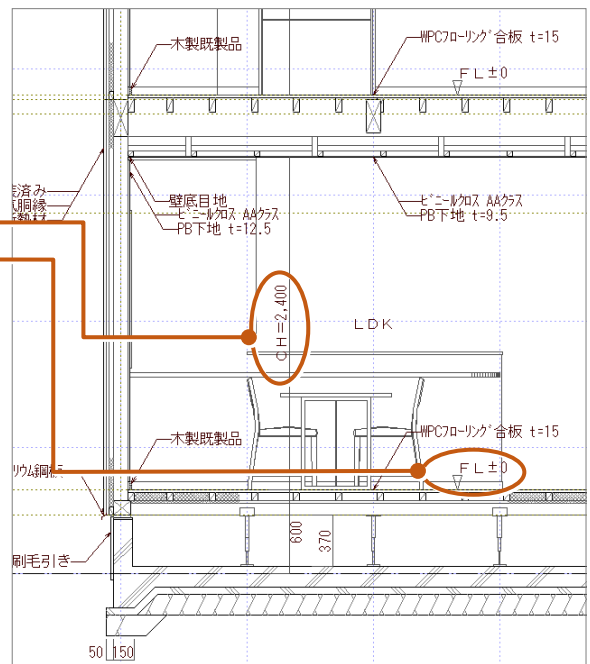
6-6 天井高や床の高さを確認しよう

矩計図を自動作成したときに表示される天井高や FL は、平面図で入力している部屋の天井高、FL の値から連動します。

● 平面図 ●



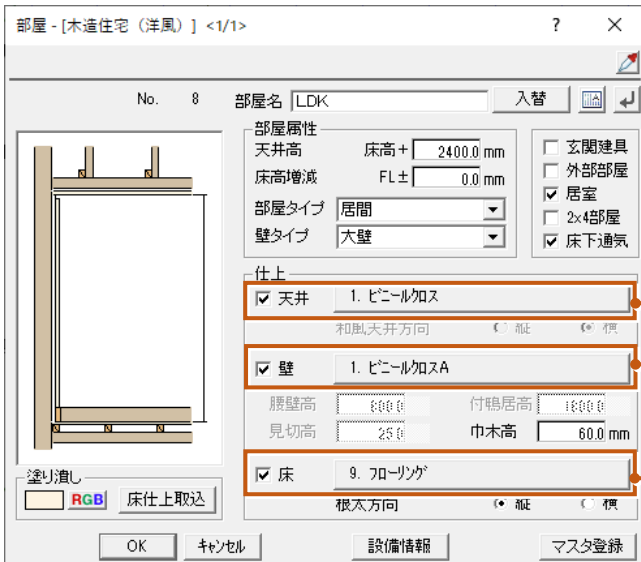
● 矩計図 ●



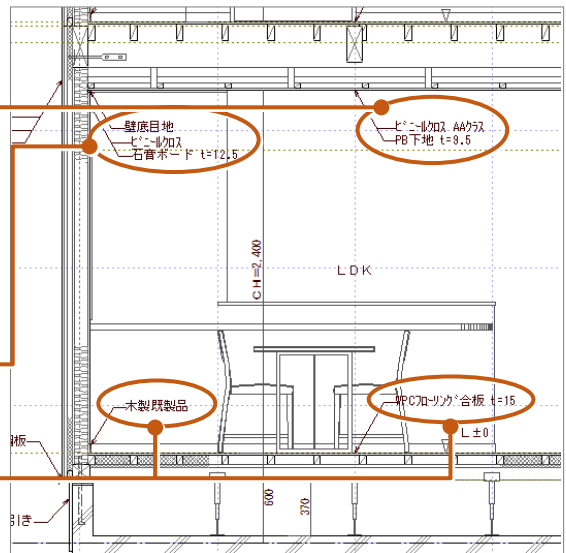
6-7 天井や内壁、床の仕上を確認しよう

矩計図を自動作成したときに表示される**内壁**と**床の仕上**は、**平面図**の仕上データから連動します。

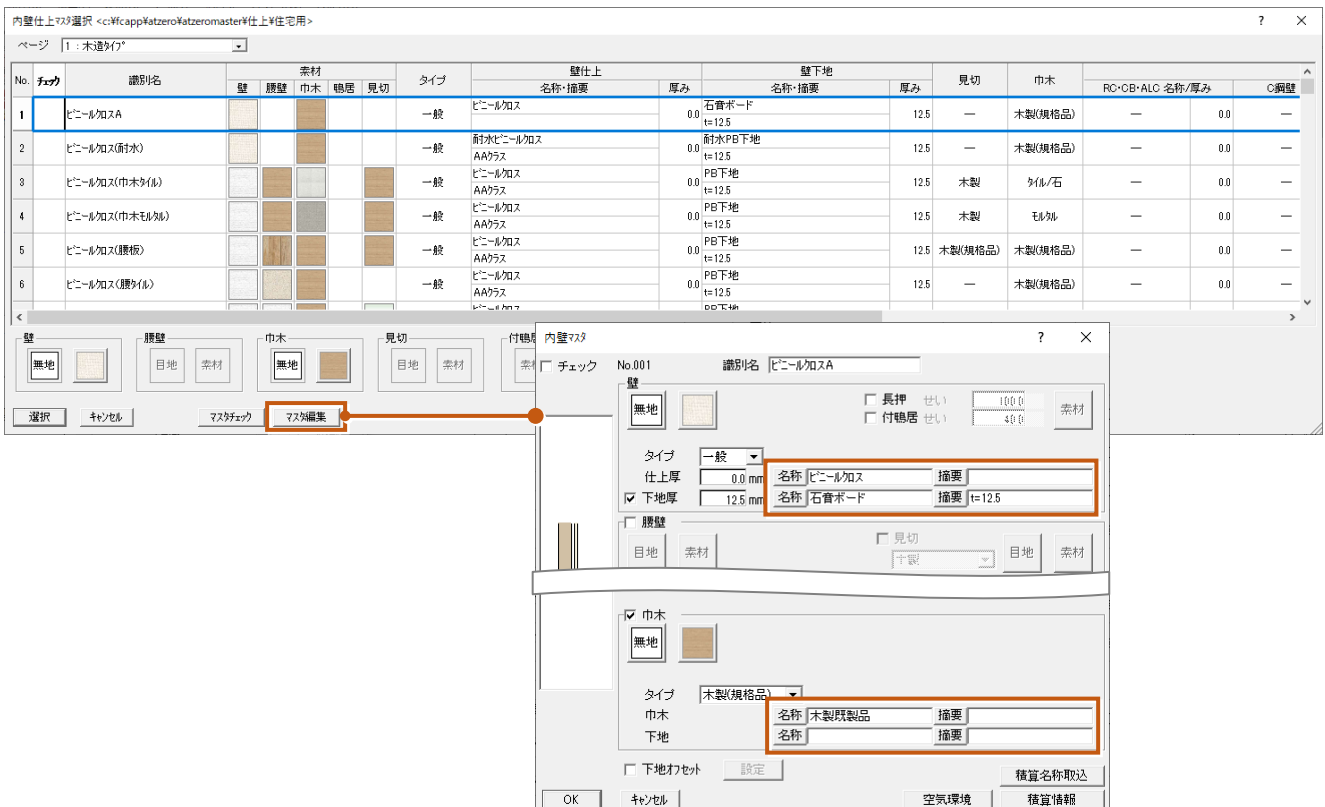
● 平面図 ●



● 矩計図 ●



部屋属性の各仕上をクリックすると、「内部天井仕上マスタ選択」「内壁仕上マスタ選択」「床仕上マスタ選択」が表示されます。表示されたマスタ選択から「マスタ編集」で「仕上」と「下地」の「名称」「摘要」が確認でき、この内容が図面に表示されます。ここでは壁仕上を例に表示しています。

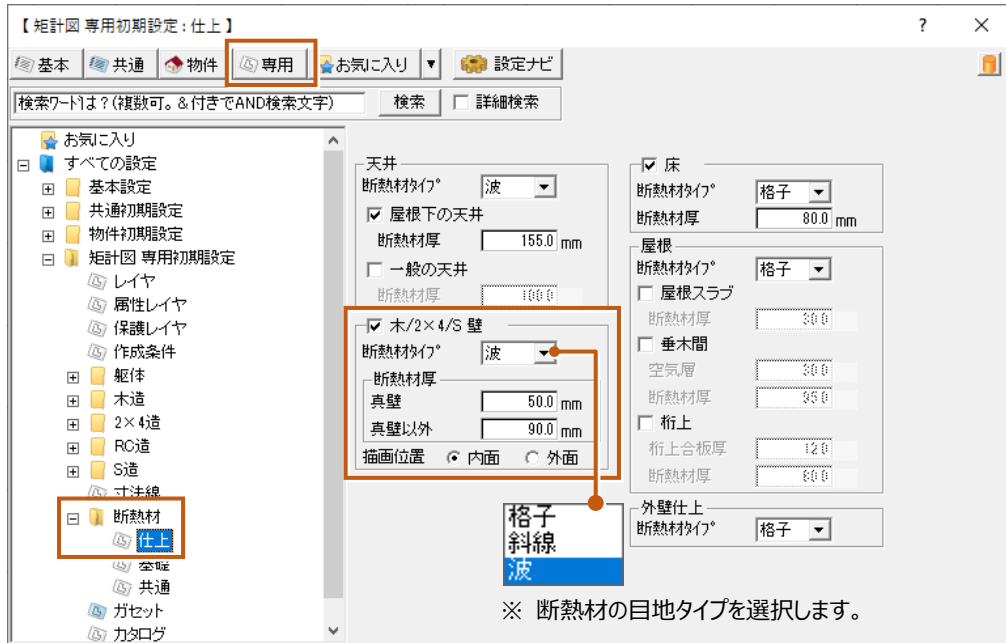


6-8 充填断熱の描画方法について確認しよう

充填断熱：壁の描画について

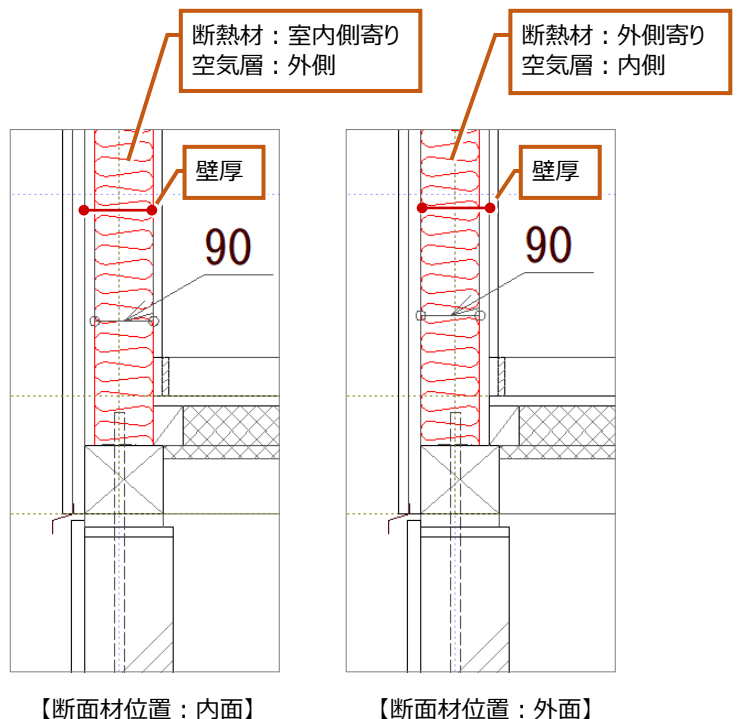
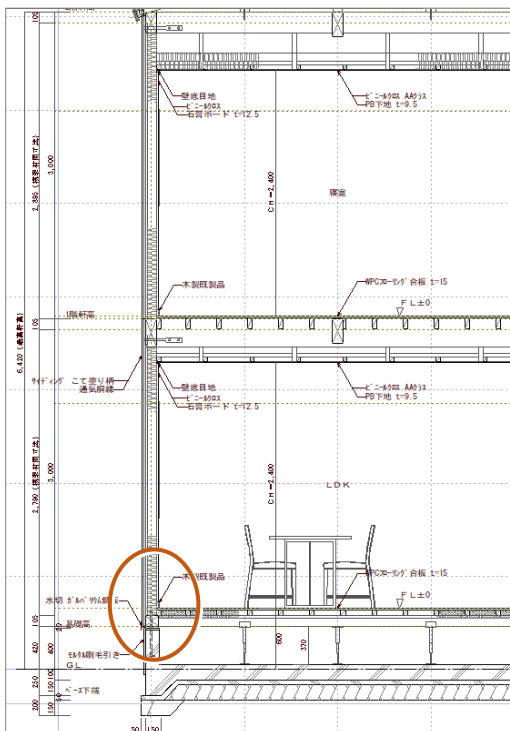
壁の充填断熱の描画は、「矩計図専用初期設定」の「断熱材－仕上」にある「木/2×4/S 壁」で設定します。「断熱材タイプ」で描画する目地のタイプや断熱材の厚さを設定して矩計図を自動作成します。また、「描画位置」の「内面」「外面」については以下の図面でご確認ください。※ ここでは外壁仕上の外断熱は OFF にして作成しています。

● 矩計図専用初期設定 ●



● 矩計図 ●

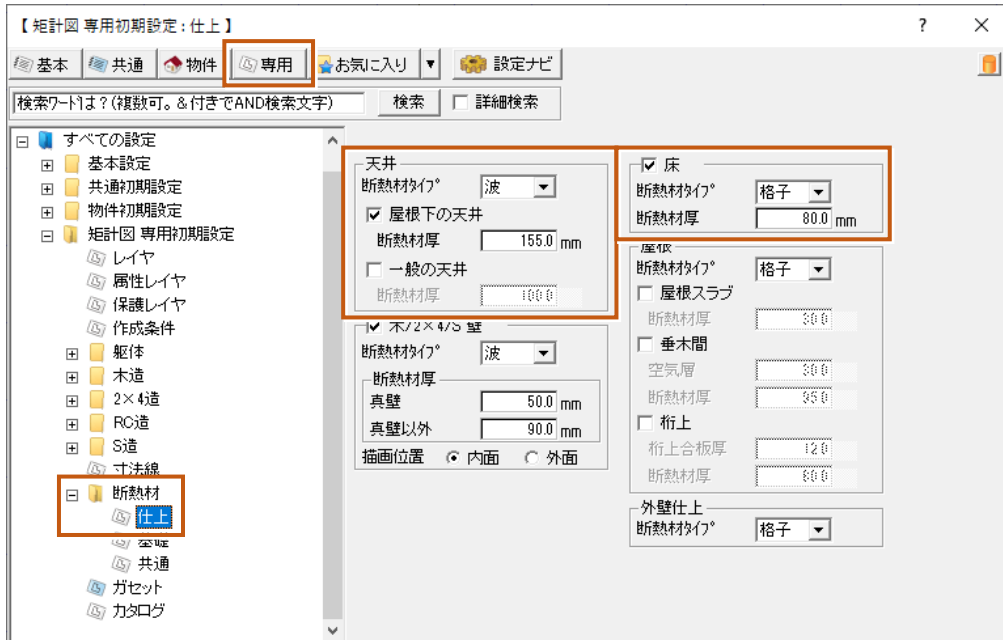
※ 断熱材の目地を全て描画するには、P.74 参照



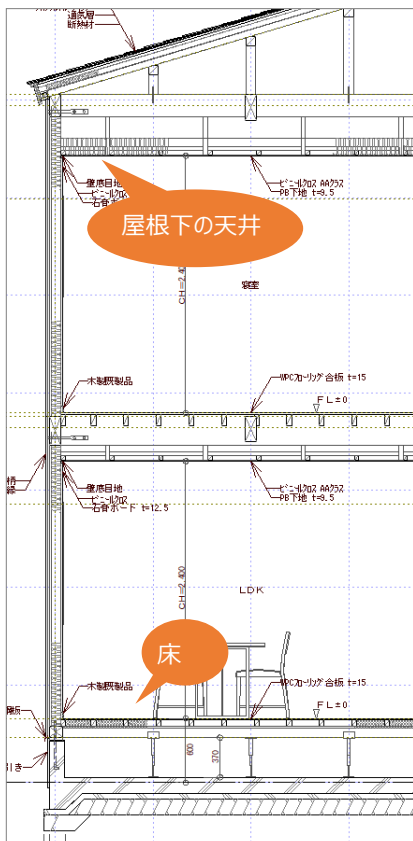
天井と床の断熱材の描画について

天井と床の断熱材の描画は、「矩計図専用初期設定」の「断熱材－仕上」にある「天井」と「床」で設定します。
 作図する部位の項目を ON にして、「断熱材タイプ」で描画する目地のタイプや断熱材の厚さを設定して矩計図を自動作成します。

● 矩計図専用初期設定 ●

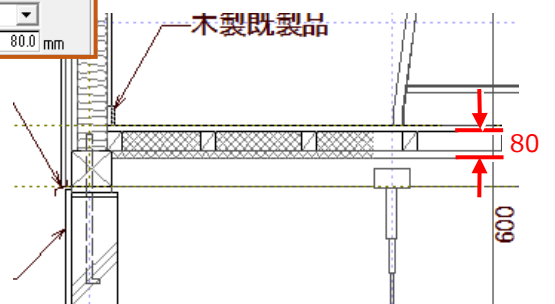
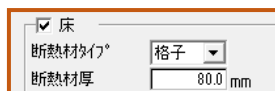
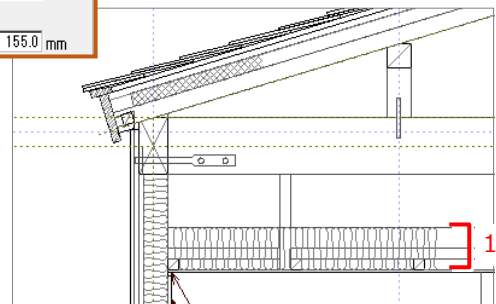
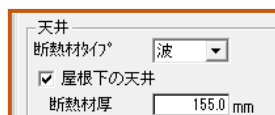


● 矩計図 ●



※ 断熱材の目地を全て描画するには、P.74 参照

屋根直下の天井に断熱材を描画します。



6-9 外断熱の描画方法について確認しよう

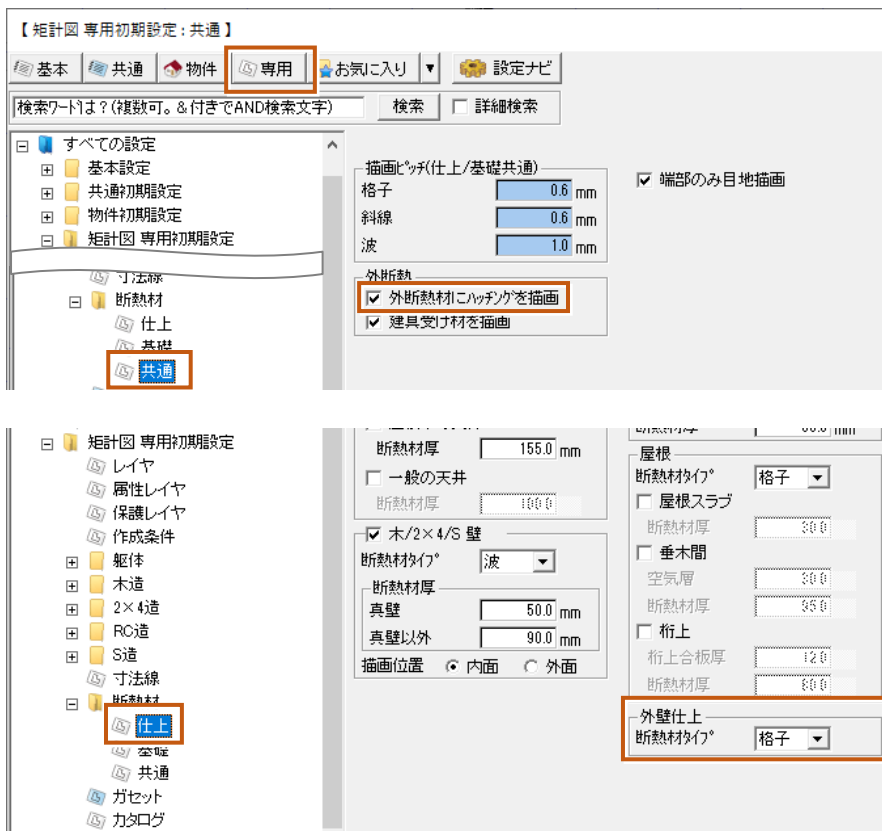
外断熱：壁の描画について

矩計図では、**平面図の外壁仕上の外断熱**が ON の場合に外断熱を描画します。

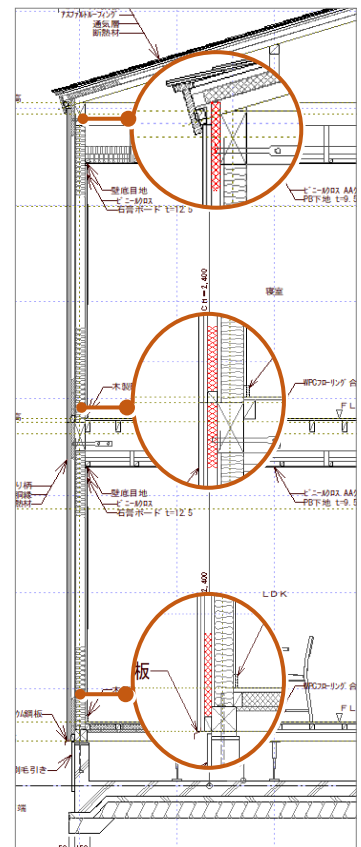
※ 外断熱の設定の確認・変更は、「物件初期設定」の「外断熱」(⇒ P.23 参照)で行います。設定を変更した場合は、外壁仕上を再作成します。

外断熱を描画するには、「**矩計図専用初期設定**」の「**断熱材 - 共通**」にある「**外断熱**」で「**外断熱材にハッチングを描画**」を ON にします。断熱材の目地は「**矩計図専用初期設定**」の「**断熱材 - 仕上**」にある「**外壁仕上**」の「**断熱材タイプ**」で設定します。

● 矩計図専用初期設定 ●

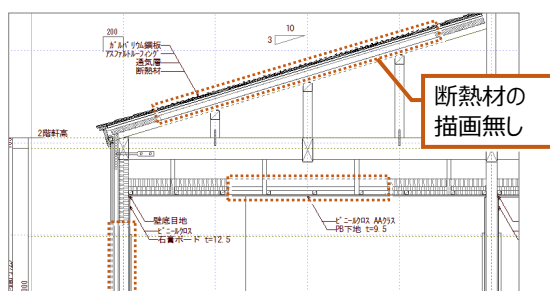


● 矩計図 ●

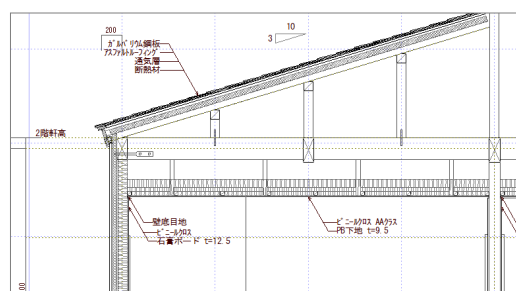


断熱材の目地を全て描画するには

「**矩計図専用初期設定**」の「**断熱材 - 共通**」で「**端部のみ目地描画**」を OFF にすると、屋根、天井、壁、床の断熱材の目地を全て描画します。ON にすると屋根、天井、壁、床の端部だけに断熱材を描画します。



【端部のみ目地描画：ON】



【端部のみ目地描画：OFF】

外断熱：屋根の描画について

矩計図で**屋根の外断熱**を描画するには、**屋根伏図**で入力した屋根の外断熱の設定を ON にします。

※ 外断熱の設定の確認・変更は、「物件初期設定」の「外断熱」(⇒ P.23 参照)で行います。

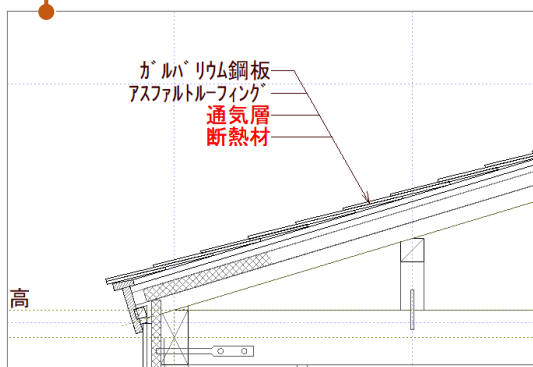
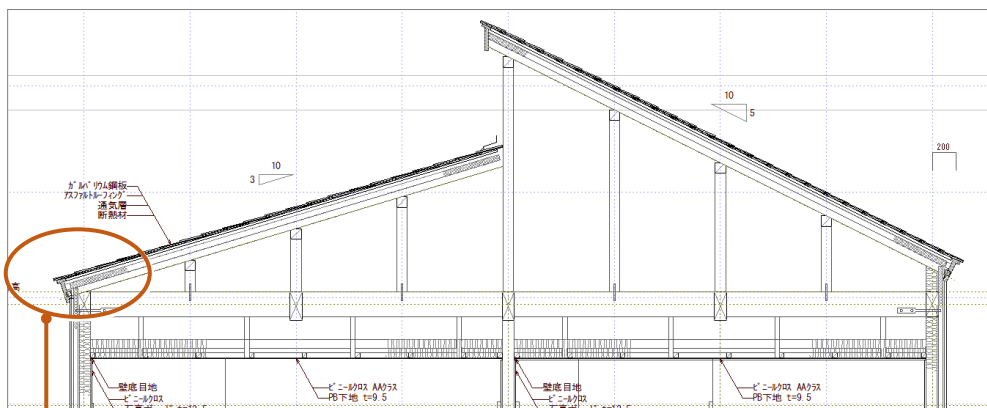
屋根の外断熱を描画するには、「**矩計図専用初期設定**」の「**断熱材 - 共通**」にある「**外断熱**」の「**外断熱材にハッチングを描画**」を ON にします。断熱材の目地は「**矩計図専用初期設定**」の「**断熱材 - 仕上**」にある「**屋根**」の「**断熱材タイプ**」で設定します。

● 矩計図専用初期設定 ●



● 矩計図 ●

※ 断熱材の目地を全て描画するには、P.74 参照



※ 通気層と断熱材の厚さや名称については、P.76 参照

充填断熱：屋根について

充填断熱の屋根を描画する場合は、「**矩計図専用初期設定：断熱材 - 仕上**」の「**屋根**」で設定します。

作図する部位の項目を ON にして各項目を設定します。

屋根	断熱材タイプ	格子	
<input checked="" type="checkbox"/>	屋根スラブ	断熱材厚	30.0 mm
<input checked="" type="checkbox"/>	垂木間	空気層	30.0 mm
<input checked="" type="checkbox"/>	断熱材厚	断熱材厚	95.0 mm
<input checked="" type="checkbox"/>	桁上	桁上合板厚	12.0 mm
<input checked="" type="checkbox"/>	断熱材厚	断熱材厚	80.0 mm

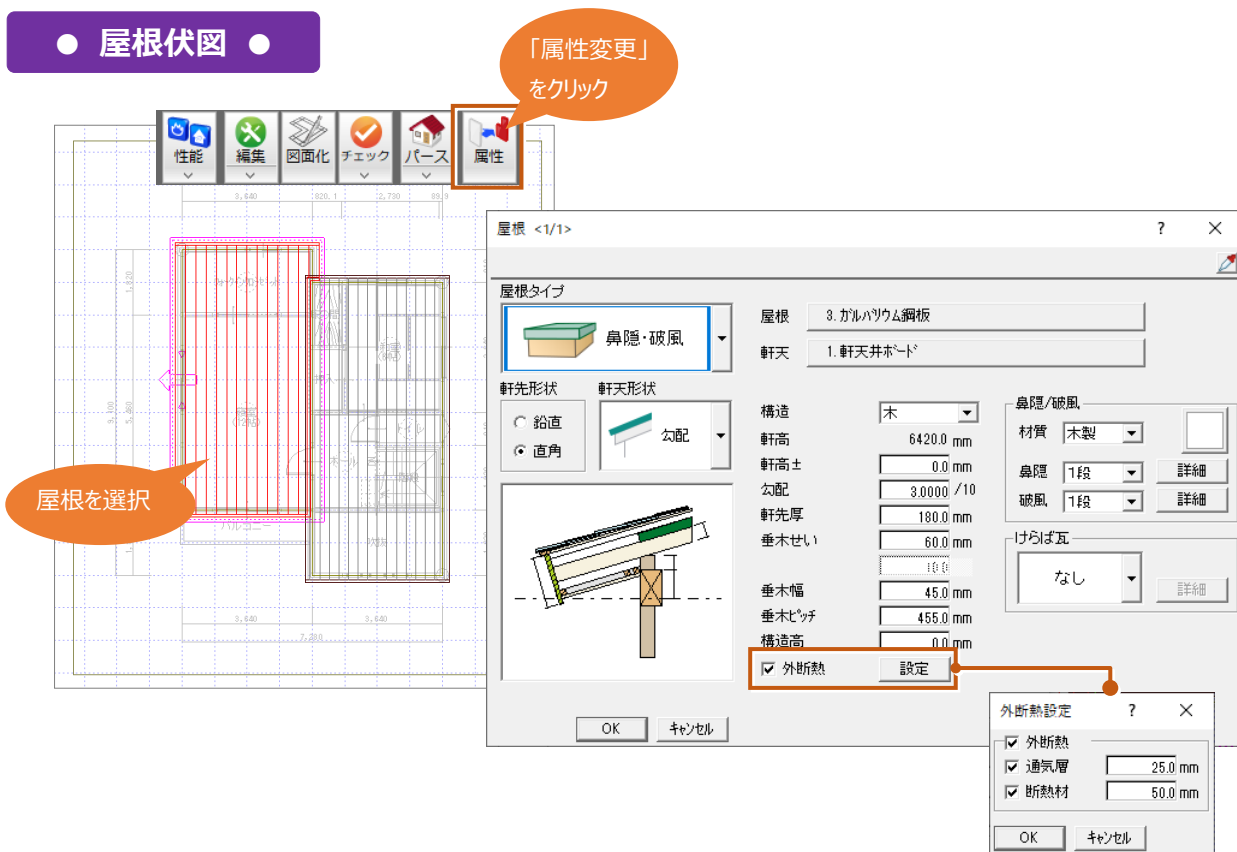
補足

屋根が外断熱の設定になっているか確認する方法について

屋根の属性で外断熱の設定になっているか確認します。

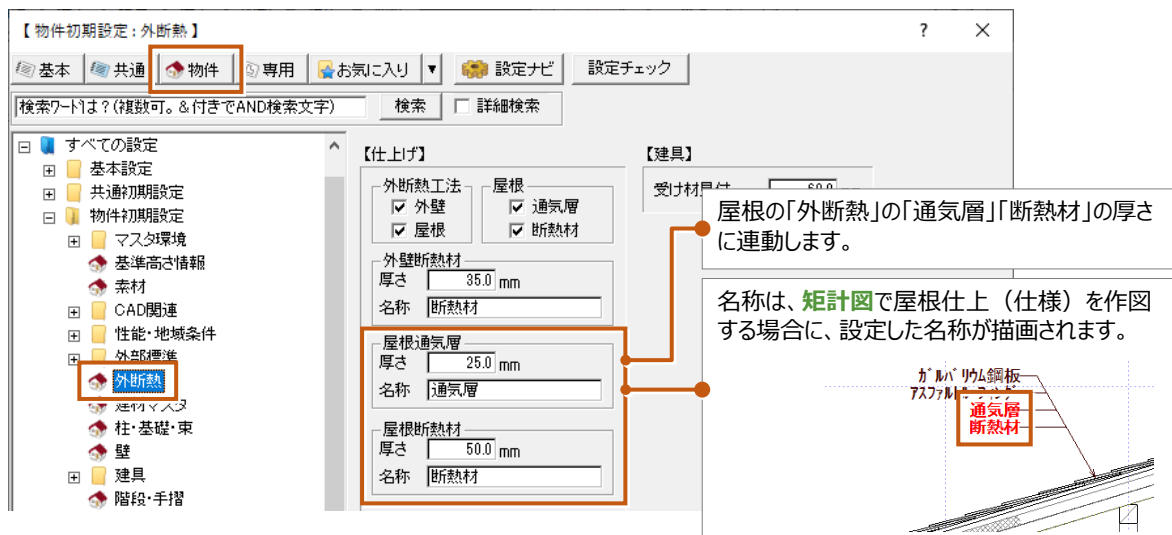
「2-4 外断熱の厚さを設定しよう」(⇒ P.23 参照)で設定を確認し、事前に外断熱を設定して屋根伏図で屋根を作成した場合は、屋根の属性の「外断熱」がONになります。「通気層」や「断熱材」の厚さは、「物件初期設定」の「外断熱」で設定した値がセットされます。事前の設定で屋根の外断熱をOFFにした場合でも、屋根の作成後に属性の「外断熱」をONにすると、「物件初期設定」の「外断熱」の値がセットされます。

● 屋根伏図 ●



屋根の通気層と断熱材の厚さと名称について

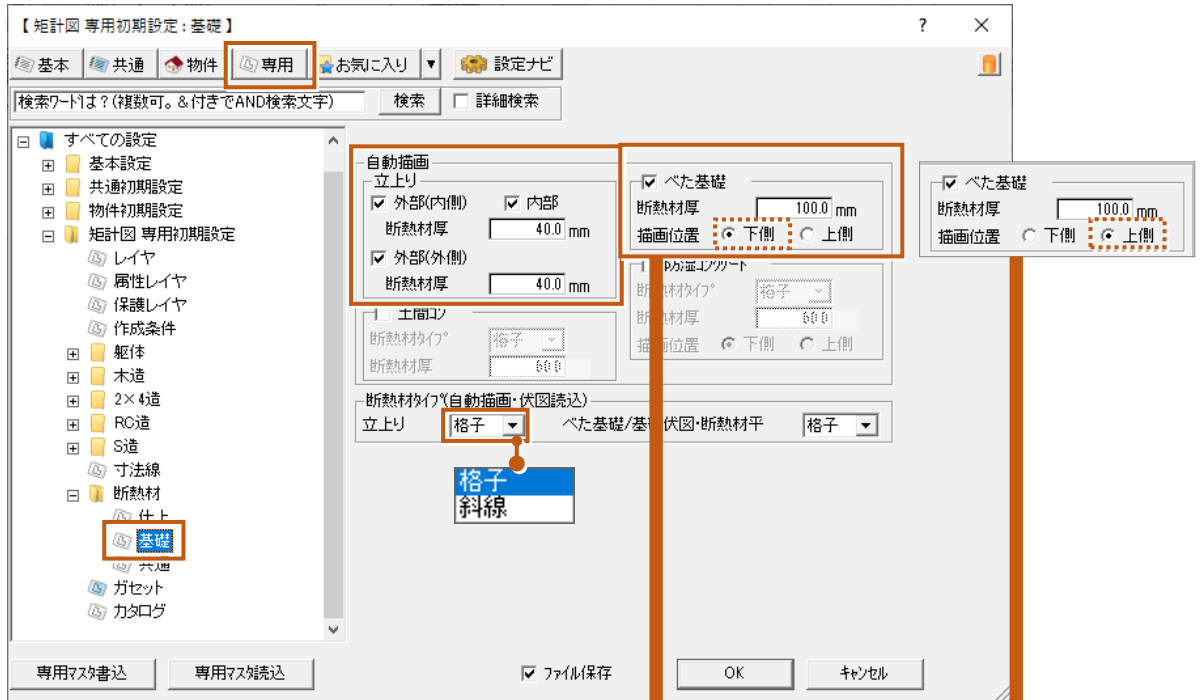
屋根を作成したときにセットされる通気層と断熱材の厚さは、「物件初期設定：外断熱」の「屋根通気層」「屋根断熱材」で設定した厚さが連動します。名称についても同様です。



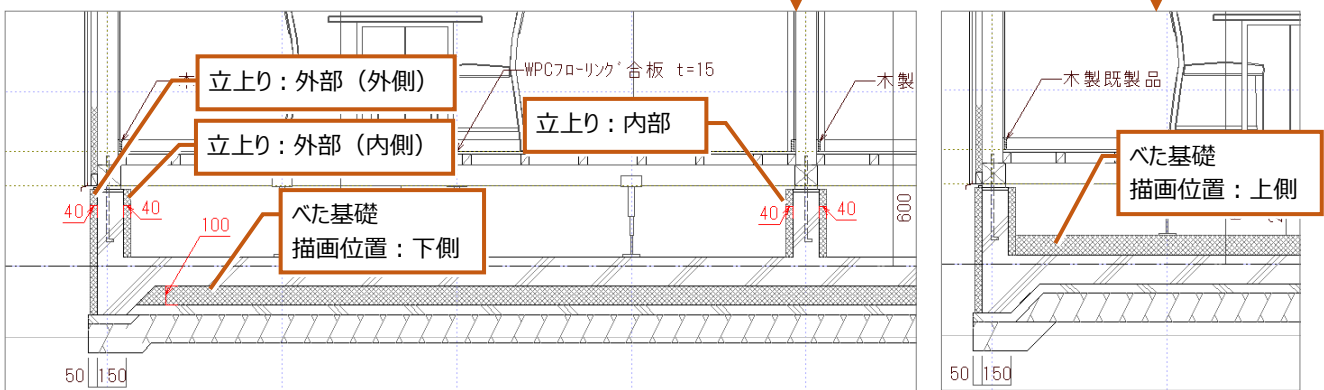
基礎の断熱の描画について（自動描画）

躯体の描画方法が「自動描画」のときの**基礎の断熱材**の描画は、「**矩計図専用初期設定**」の「**断熱材－基礎**」で設定します。作図する項目を ON にして、「断熱材厚」を設定して矩計図を自動作成します。「断熱材タイプ（自動描画・伏図読込）」で目地のタイプも設定できます。ここではべた基礎の断熱材の描画を例に作図しています。

● 矩計図専用初期設定 ●



● 矩計図 ●



描画方法が「伏図読込」、「基礎伏図+自動描画」の場合

躯体の描画方法を「伏図読込」、「基礎伏図+自動描画」にした場合、基礎断熱の連動元は基礎伏図になります。断熱材に変更があった場合は連動元となる基礎伏図で入力を確認して、矩計図を再作成します。

断熱材の目地タイプは、「矩計図専用初期設定：断熱材－基礎」の「断熱材タイプ（自動描画・伏図読込）」で設定します。

6-10 自社用マスタの登録方法を確認しよう

ZERO では、プログラムごとに「専用初期設定」があります。設定を変更し自社用マスタとして登録可能ですが、その手順は各プログラムの「専用初期設定」と同じです。手順などは、以下の参照先にてご確認ください。

また、「物件初期設定」についても、変更した設定内容を自社用マスタとして物件マスタ登録する場合は以下の参照先にてご確認ください。

自社用の図面専用のマスタとして登録する

専用マスタの登録手順については、「立面図」の P.44 を参照してください。

自社用のマスタとして物件マスタ登録する

物件マスタの登録手順については、「立面図」の P.43 を参照してください。

マスタ作成に関する詳しい操作はこちらでチェック！



自社マスタ作成編 「自社用の物件マスタ、専用マスタの作成」 P.16～P.22参照

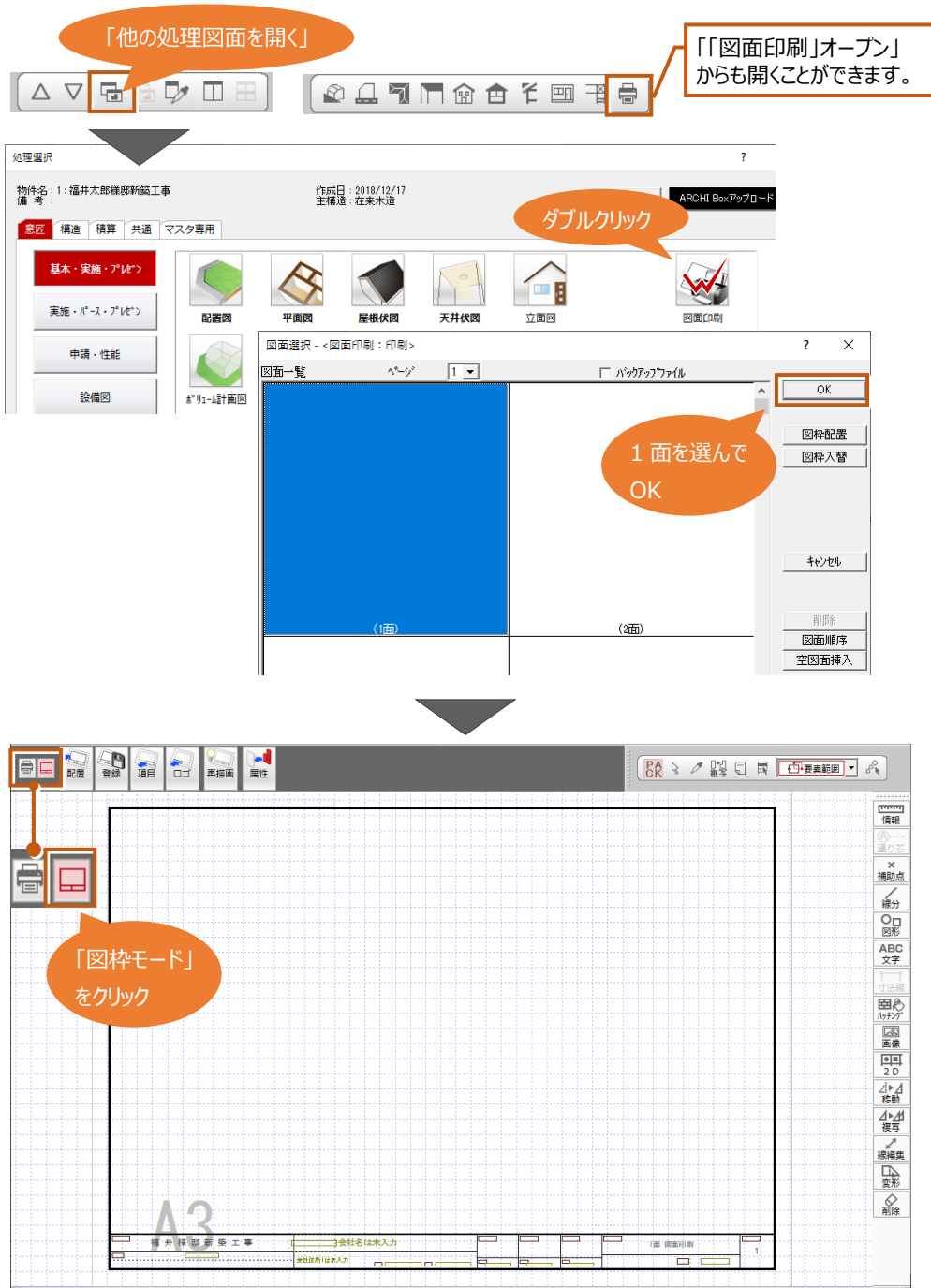
https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/ZERO/Ver9/guide/manual/81_master.html

7 オリジナルの図枠を作成しよう

図面印刷時に使用する図枠に会社名やロゴ、住所など自社用の情報を付加して登録する方法を解説します。

7-1 図枠モードに切り替えよう

図枠の編集は「図面印刷」にて行います。図面印刷には、図面のレイアウト等を行う「出力モード」と図枠の編集を行う「図枠モード」があります。まずは、「図枠モード」で図面印刷を開きましょう。



7-2 図枠の用紙サイズを設定しよう

用紙サイズとベースとなる図枠のデザインを選択します。

① 「図枠配置・入替」をクリックします。

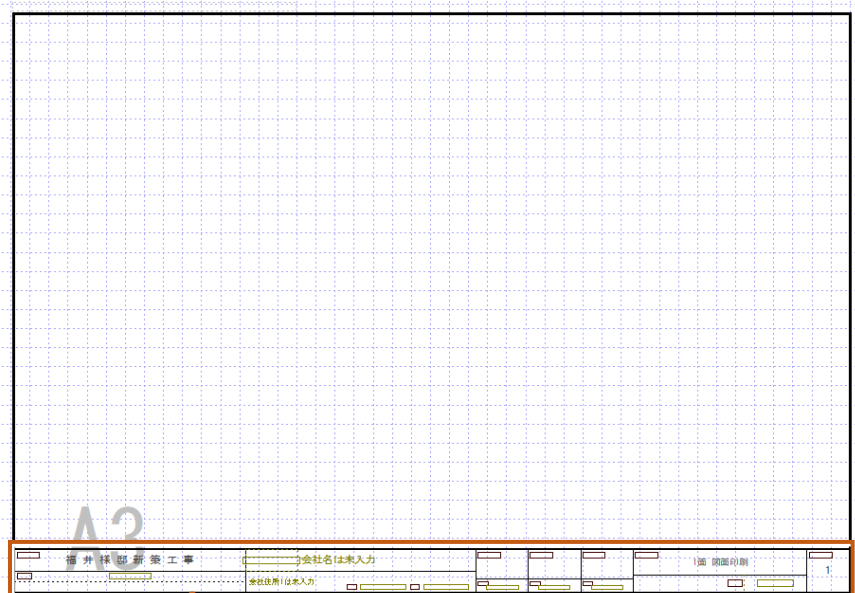
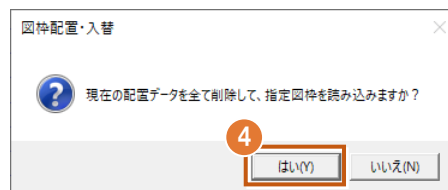


② 「図枠選択」ダイアログで、「A3 サイズ」の「Aタイプ」を選択します。

③ 「OK」をクリックします。



④ 確認画面で「はい」をクリックします。選択した図枠が配置されます。



図枠には図枠項目が配置されています。

工事名	福井 様 邸 新 築 工 事	会社ロゴ未登録	会社名は未入力
備考	フリーは未入力	会社住所1は未入力	TEL 会社TELは未入力 FAX 会社FAXは未入力

管理者	設計者	担当者	図面名	1面 図面印刷	図面 No.
日付	フリーは未入力	日付	フリーは未入力	縮尺	縮尺は未入力
日付	フリーは未入力	日付	フリーは未入力		1

7-3 図枠項目を設定しよう

図枠項目とは、物件情報などのデータから連動する項目です。既存の図枠にはあらかじめ配置されていますが、「図枠項目」で変更することも可能です。自社の図枠に項目を設定しておくことで、物件名や会社情報などを手入力する手間を省くことができます。ここでは、項目の設定方法と連動元について解説します。

図枠項目の設定方法

① 「図枠項目」をクリックします。



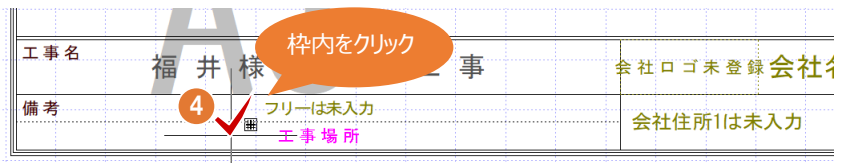
② 項目名をクリックします。

図面情報	物件情報	面積・高さ情報	施主情報	会社情報
図面名称	物件No	敷地面積	施主氏名	会社名
種別記号	物件名	建築面積	施主フリガナ	事業所名
縮尺	備考	延床面積	施主郵便番号	会社住所番号
ページ	担当者	各階床面積	施主住所	会社住所1
印刷日付	作成日	施工床面積	施主TEL	会社住所2
印刷時間	更新時間	容積延面積		会社TEL
	工事場所	建蔽率		会社FAX
	地名地番	容積率		会社URL
	工事種別	最高高さ		会社Mail
	顧客ID	最高軒高		
フリー	プランID			

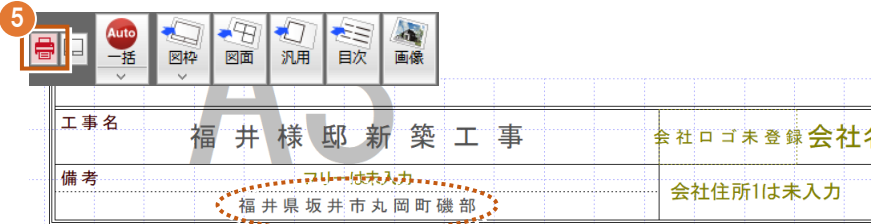
③ 項目を選択します。ここでは、「工事場所」を選択します。

文字の配置位置やフォントの種類を設定することができます。

④ 項目を配置する枠内をクリックします。



⑤ 出力モードに切り替えると、工事住所が表示されます。



※ 「工事住所」は「物件情報」の「工事場所/住居表示」から連動します。

情報	地名地番	福井県坂井市丸岡町磯部
面積	工事場所/住居表示	福井県坂井市丸岡町磯部
上甲種別	別荘	
建物開口		0.000 m
責任者	建物奥行	0.000 m
その他	外観タイプ	和風
	屋根形状	切妻
	玄関位置	東
	部屋数	0 LDK
	地盤高	0 mm
	最高高さ	0.000 m

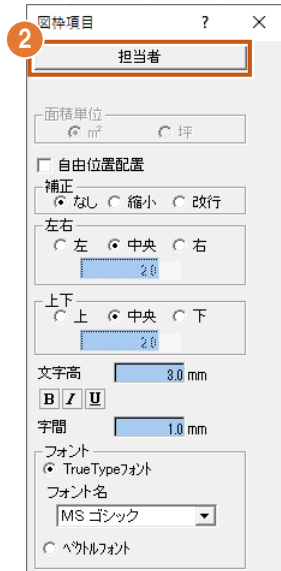
担当者を設定する

「担当者」の項目は「物件情報」の「担当者名」から連動します。ここでは、担当者の枠に「担当者」の項目を配置します。

①② 「図枠項目」をクリックして、項目名を「担当者」に設定します。



③ 項目を配置する枠内をクリックします。



④ 出力モードに切り替えて担当者を確認します。



日付を設定する

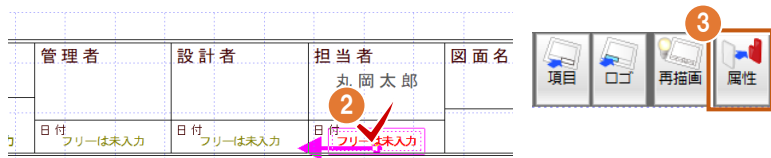
日付は「作成日」、「更新日」、「印刷日付」の3つの項目があります。それぞれデータの作成日、更新日、印刷の実施日が表示されます。出力モードに切り替えると、実際の日付形式で確認することができます。

ここでは、配置済みの項目「フリー」を日付に変更します。

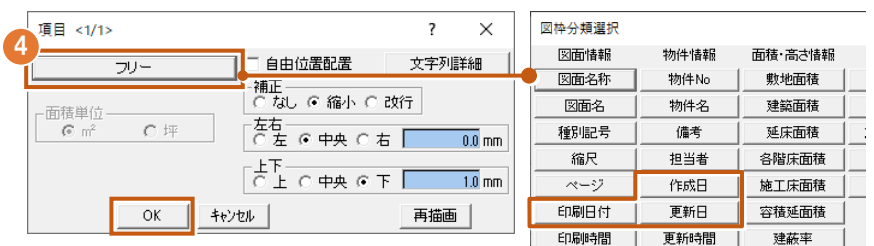
①② 図枠モードで「フリー」の項目を選択します。



③ 「属性変更」をクリックします。

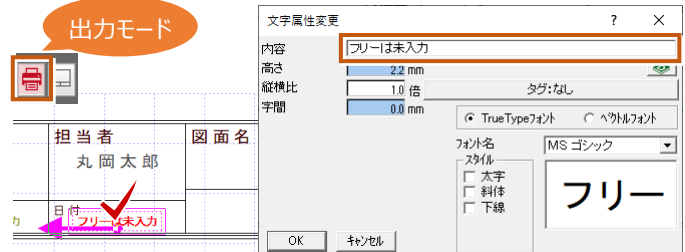


④ 項目名を変更して、OK をクリックします。



「フリー」について

「フリー」の項目は、任意の文字列を入力するときに使います。出力モードに切り替えて、「フリー」の項目の属性を開くと、文字列を編集することができます。



●「作成日」の場合

「物件情報」の「作成日」から連動します。新規に物件を作成した日付が表示されます。

表示する日付形式を選択することができます。

※ 「作成日」の場合、日付タイプから「入力値」を選ぶと、「物件情報」の「作成日」に入力されている内容がそのまま表示されます。

●「更新日」の場合

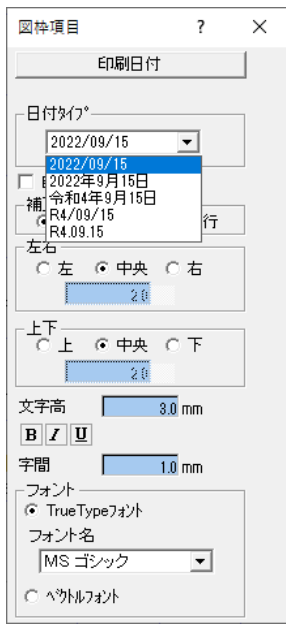
「物件情報」の「更新日」から連動します。開いている物件データを最後に更新した日が表示されます。

更新日の自動更新について

「図面印刷専用初期設定」の「項目」にある「更新日を自動更新」がONの場合は、物件情報の「更新日」の日付で図枠の「更新日」を自動更新します。OFFの場合は、物件情報の「更新日」が更新されても図枠の「更新日」は更新されません。更新するには「図枠項目再描画」を実行します。

●「印刷日付」の場合

図面を開いたときに、今日の日付がセットされます。



	管理者	設計者	担当者 丸岡太郎	図面名
未入力	日付 フリーは未入力	日付 フリーは未入力	日付 印刷日付(1)	

【 図枠モード 】

	管理者	設計者	担当者 丸岡太郎	図面名
未入力	日付 フリーは未入力	日付 フリーは未入力	日付 2022/09/13	

【 出力モード 】

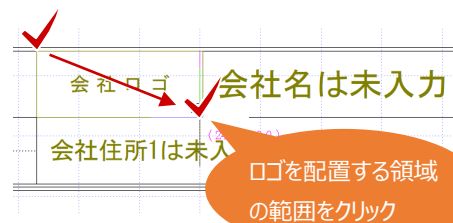
会社情報の項目を設定する

図枠に会社情報を設定します。ここで使用している図枠には、既に「会社名」、「会社ロゴ」、「会社住所 1」、「会社 TEL」、「会社 FAX」の項目が配置済みのため、設定項目を確認しておきます。

会社ロゴ未登録	会社名は未入力
会社住所1は未入力	TEL 会社TELは未入力 FAX 会社FAXは未入力



※ 会社ロゴは「図枠会社ロゴ項目」で配置します。



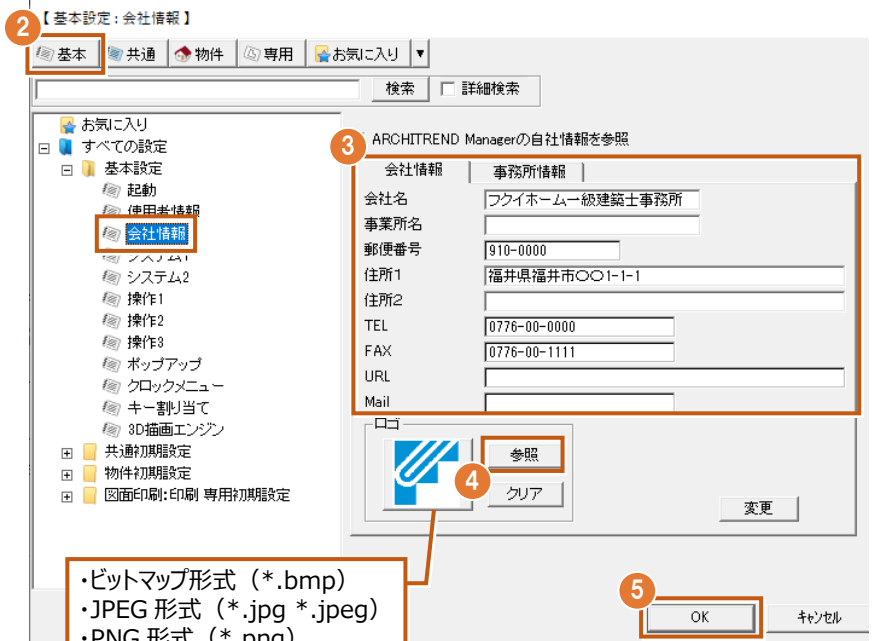
会社情報を登録する

「会社名」「会社ロゴ」「会社住所 1」「会社 TEL」「会社 FAX」の項目は「未入力」と表示されているため、連動元の設定が必要です。会社情報は「基本設定」の「会社情報」で設定します。

① 「設定」をクリックします。



② 「基本設定」の「会社情報」を選びます。



③ 会社情報を設定します。

④ 「参照」をクリックして、ロゴ画像を設定します。

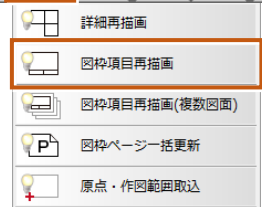
⑤ 「OK」をクリックします。

・ビットマップ形式 (*.bmp)
 ・JPEG 形式 (*.jpg *.jpeg)
 ・PNG 形式 (*.png)
 の画像を設定することができます。

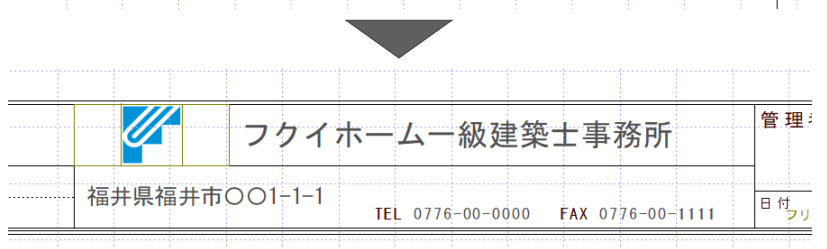
⑥ 出力モードに切り替えます。



⑦ 「再描画」メニューから「図枠項目再描画」を選びます。



⑧ 再描画する範囲を指定します。
 項目に会社情報が反映されます。



物件名の連動元を確認する

「物件名」の項目は物件情報の「物件名」から連動します。

工事名	福井様邸新築工事
備考	フリーは未入力 福井県坂井市丸岡町磯部

物件情報 [変更] ? X

物件 No 01 作成日 2022/9/13 更新日 2022/09/15

物件名 福井様邸新築工事

備考

担当者 丸岡太郎

物件マス 01: 木造 2階

在来木造

ベントハウス	0階
地上	2階
地下	0階



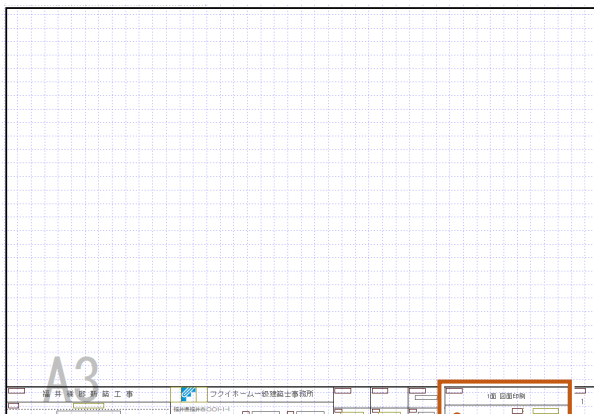
OK キャンセル

図枠分類選択					
図面情報	物件情報	面積・高さ情報	施主情報	会社情報	事務所情報
図面名称	物件名	敷地面積	施主氏名	会社名	事務所名
図面名	物件名	建築面積	施主フリガナ	事業所名	事務所総
種別記号	備考	延床面積	施主郵便番号	会社郵便番号	事務所登録
縮尺	担当者	各階床面積	施主住所	会社住所1	登録番号
ページ	作成日	施工床面積	施主TEL	会社住所2	郵便番号
印刷日付	更新日	容積延面積		会社TEL	住所
印刷時間	更新時間	建蔽率		会社FAX	TEL
	工事場所	容積率		会社URL	
	地名地番	最高高さ		会社Mail	
	工事種別	最高軒高			
	顧客ID				

図面名の連動を確認する

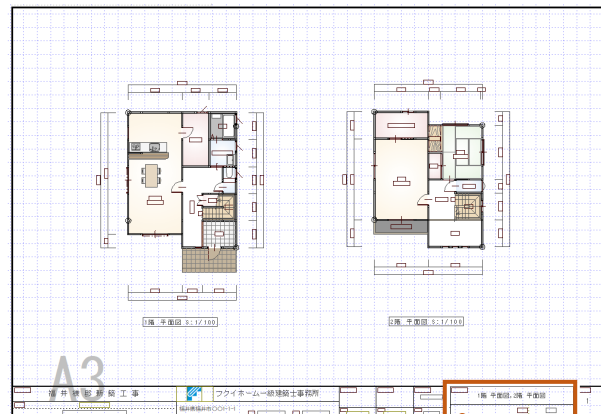
「図面名称」の項目には配置した図面の名称を表示します。図面配置前は「面名 図面印刷」で表示されますが、図面配置後は配置した図面の名称が表示されます。

【図面配置前】



図面名	1面 図面印刷	図面 No.	1
縮尺	縮尺は未入力		

【図面配置後】



図面名	1階 平面図, 2階 平面図	図面 No.	1
縮尺	1/100		

配置した図面の縮尺が反映されます。

図枠分類選択					
図面情報	物件情報	面積・高さ情報	施主情報	会社情報	事務所情報
図面名称	物件名	敷地面積	施主氏名	会社名	事務所名
図面名	物件名	建築面積	施主フリガナ	事業所名	事務所総
種別記号	備考	延床面積	施主郵便番号	会社郵便番号	事務所登録
縮尺	担当者	各階床面積	施主住所	会社住所1	登録番号
ページ	作成日	施工床面積	施主TEL	会社住所2	郵便番号
印刷日付	更新日	容積延面積		会社TEL	住所
印刷時間	更新時間	建蔽率		会社FAX	TEL
	工事場所	容積率		会社URL	
	地名地番	最高高さ		会社Mail	

7-4 自社用の図枠を保存しよう

図枠を保存する

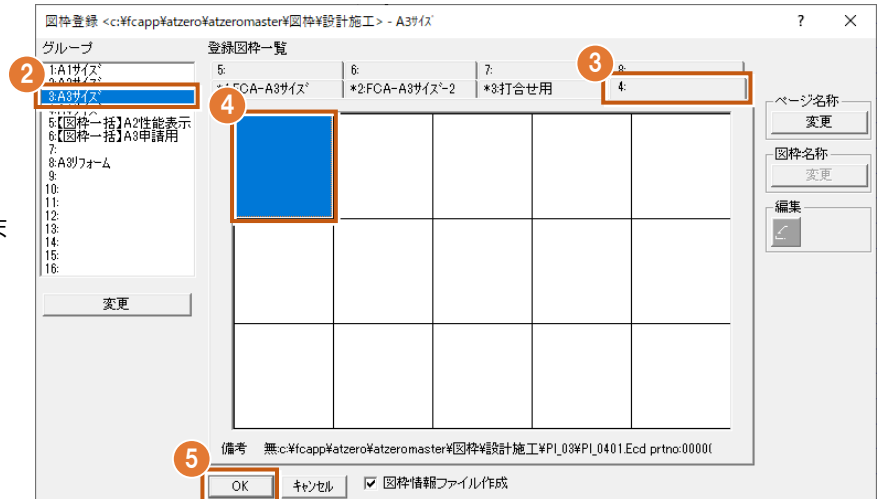
編集した図枠は、次回以降の物件でも使用できるように保存しましょう。図枠モードの「**図枠登録**」から一覧に登録します。

※ 図面を配置した状態で図枠を登録すると、配置図面の種類と位置の情報も合わせて登録できるため、図枠の配置と同時に図面を配置できます。

① 図枠モードで「**図枠登録**」をクリックします。



② 「グループ」から、図枠を登録するグループ名をクリックします。



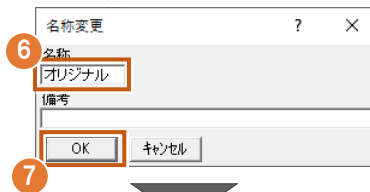
③ 登録したい「ページ」タブをクリックします。

④ 「登録図枠一覧」で登録する欄をクリックします。

⑤ 「OK」をクリックします。

⑥ 「名称変更」ダイアログの「名称」に図枠名を入力します。

⑦ 「OK」をクリックします。



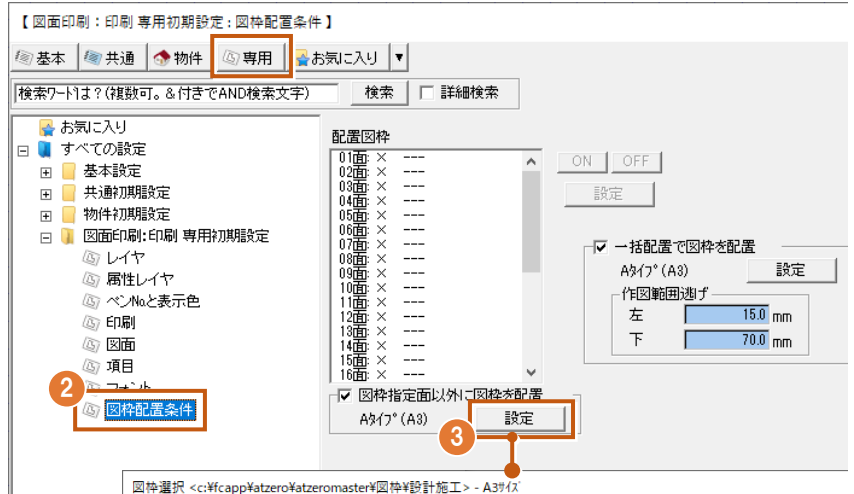
図枠を初期図枠に登録する

図面印刷で新しい図枠を開いた時に、作成した自社の図枠が自動配置されるように設定します。図枠の自動配置条件の設定は、「図面印刷専用初期設定」の「図枠配置条件」で行います。

① 「設定」をクリックします。



② 「図面印刷専用初期設定」の「図枠配置条件」を選びます。

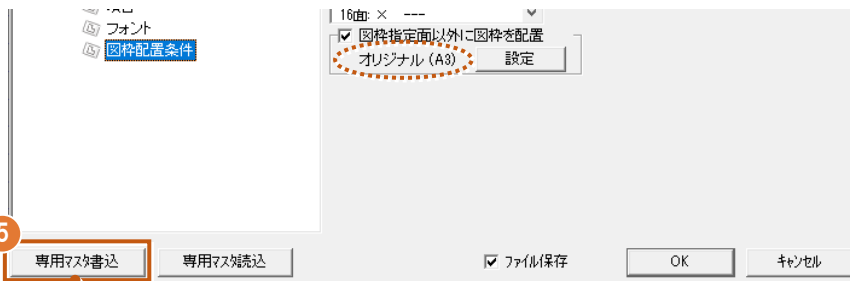


③ 「設定」をクリックします。

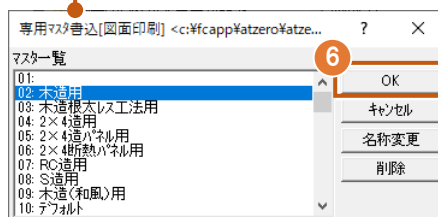
④ 登録した図枠をダブルクリックします。



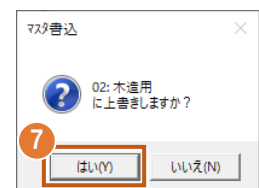
⑤ 「専用マスタ書込」をクリックします。



⑥ 使用している専用マスタが選ばれていることを確認して、「OK」をクリックします。



⑦ 確認画面で「はい」をクリックします。



「図枠配置条件」の配置図枠について

配置図枠は図面印刷の面ごとに配置する図枠を指定することができます。配置する図面ごとに図枠が異なる場合に設定します。
⇒ ヘルプ「専用初期設定：図枠配置条件」の「新規作成時に配置する図枠を変更するには」参照

図面印刷の方法はこちらでチェック！

木造初級編 7.図面印刷 P.57~62

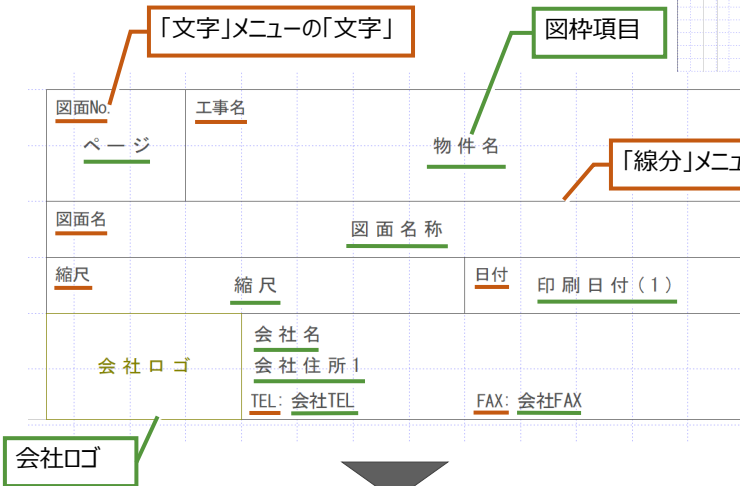
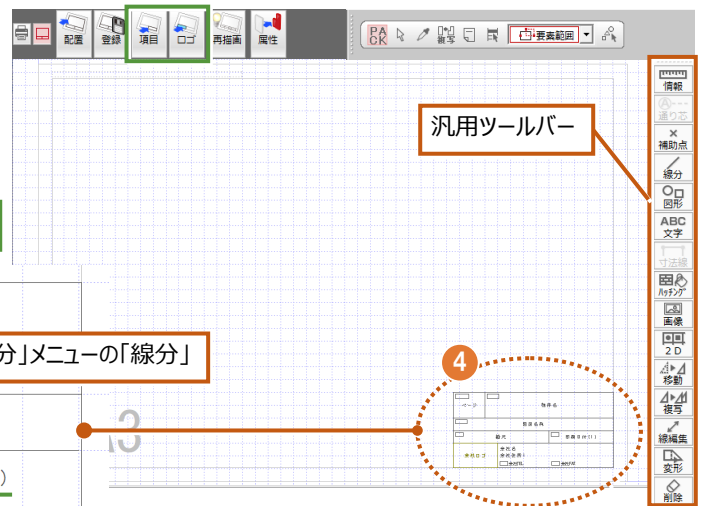
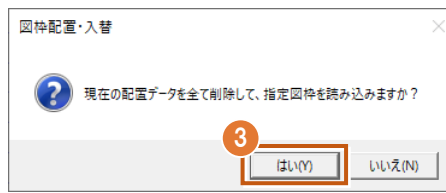
<https://www.fukuicompu.co.jp/mnl/ZERO/Ver9/guide/uss/m-syokyu.html>

補足

白紙から自社用の図枠を作成する場合

白紙から図枠を作成することもできます。

- 1 図面印刷の空いている面を開いて、図枠モードで「図枠配置・入替」をクリックします。
- 2 サイズを指定し、「図枠無し」をダブルクリックします。
- 3 確認画面で「はい」をクリックします。
- 4 汎用ツールバーの「線分」「図形」「文字」や図枠項目、ロゴなどを配置して作成します。



図面No. 2	工事名 福井様邸新築工事
図面名 2面 図面印刷	
縮尺 縮尺は未入力	日付 2022/09/16
	フクイホーム一級建築士事務所 福井県福井市〇〇1-1-1 TEL: 0776-00-0000 FAX: 0776-00-1111

Jw-cad で使用していた図枠を登録する

他社 CAD で使用していた図枠を ZERO の図枠として登録することができます。

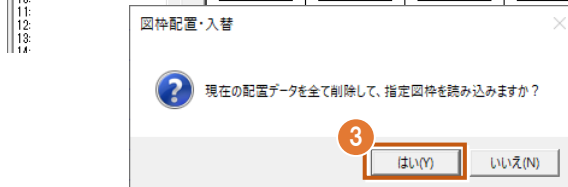
① 図面印刷の空いている面を開いて、図枠モードで「図枠配置・入替」をクリックします。



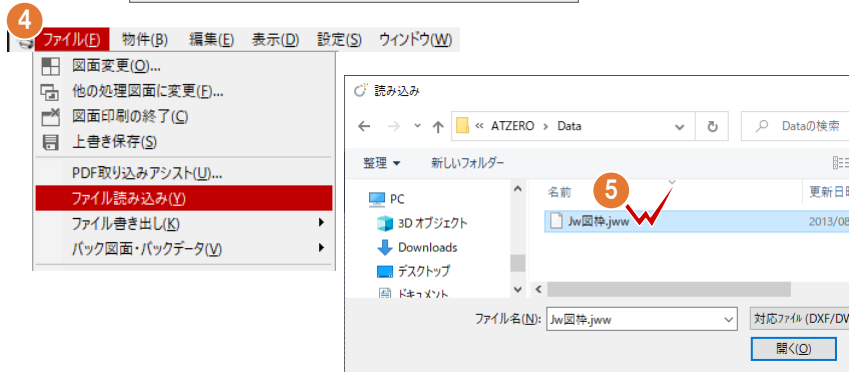
② サイズ（ここでは「A3 サイズ」）を指定し、右上の「図枠無し」をダブルクリックします。



③ 確認画面で「はい」をクリックします。



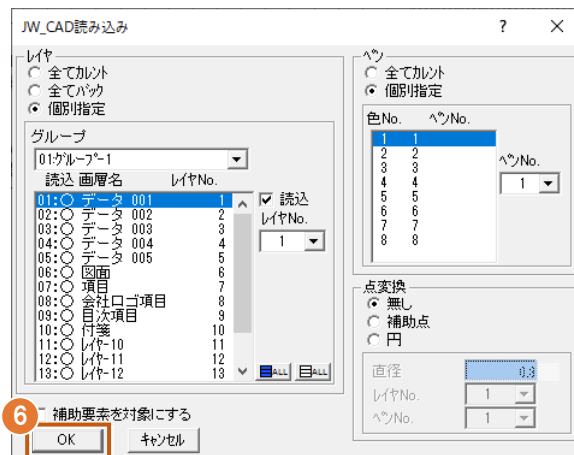
④ 「ファイル」メニューから「ファイル読み込み」を選びます。



⑤ 読み込むファイルをダブルクリックします。

※ DXF/DWG ファイル、SXF ファイルなども同様の操作で読み込むことができます。

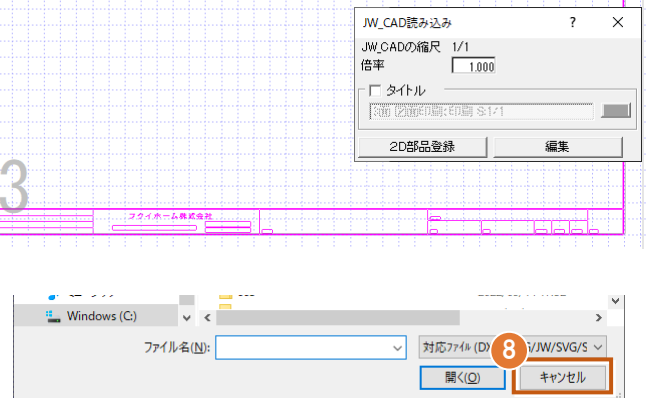
⑥ 「JW_CAD 読み込み」ダイアログで変換条件を設定します。ここでは、初期値のまま「OK」をクリックします。



⑦ データの配置位置をクリックします。



⑧ 再度、「読み込み」ダイアログが開くので、「キャンセル」をクリックします。



図枠項目などを配置して自社図枠を作成します。